

満洲に於ける東京商品

現在、日本の商品で、満洲に行つてゐないものは殆ど無いといつて差支へない。外國品など、今は全く本邦品に壓倒されて問題にならない。

この點は非常に嬉しく且つ心強く思ふが、只、品物を持つてゆく日本人がその品物をまるで押賣的に捌いてくる……この點は甚だ香しからざる事實だと思ふ。その結果、どうしてもお互に無理が生じる。結局、日本商品の供給過多、これは争へない事實である。

かくして、在滿邦商は頗る苦境に陥る。いゝ品物が来た相當にそれを仕入れる。と又次にそれに類似の格安品が来る、結局また仕入れ込む……こんな譯で、相場の維持が非常に困難となる。——お互ひ考ふべきであらう。

實際、満洲中どの町へ行つても、八九分の商品は日本品が占めてゐる状態だ。が、利率はといへば前述のやうな次第で實に薄いの。

で、満洲の購買力はどうかといふに、御承知の如く昭和七年は非常に廣範な水害に續いての不況であつた。また八年はやゝ景氣恢復したもの、例の満洲輸出品中の大宗——大豆が海外に出なくなつた、朝鮮か日本、乃至支那の一部以外には輸出禁止となつて了つた。こんな譯では購買力は……

續いて花王だ。ミツワとなると一寸高級品に屬するから一般向きとは云へなくなる。上流階級の人になると寧ろ日本人以上の高級品を使ふが、先づ大體が安いもの第一と謂へる。

満洲市場は全く日本品の獨占といつても些の過言ではない。

その代り、よく模造品も飛び出す。例へば、齒磨にしろ在來は大阪のクリンといふのが一番よく賣れてゐたのだが、すると直ぐ模造品が飛び出した。又、レートの模造品も出て來た。奉天あたりで造つてゐるらしいが、三塔牌といふ品で香から包装から何までレイトそっくりである。で、宣傳も何もしない、全くの無名品でありながら、實によく出でゐる。

宣傳といへば、向ふの宣傳は要するにチンドン屋式にやらねば駄目である。何しろ字の讀めぬ人が多いのだから、新聞廣告などは殆ど効果がない。花王の宣傳隊などは、この點で大成功であつた。賑やかに囀り立てながら賣物見本を頒布する、全くこの式に限るのである。

で、満洲人は一旦これと信用してしまへば、なか／＼それから離れない性向がある。で、先づ現品を見せて、これならと信じさせることである。前述した三塔牌の場合が矢張りそれであつた。

それから、満洲に於ける開墾だが、これは内地よりも總じて堅實である。一時の不景氣ですつかり淘汰されて了ひ、そして残つたものばかりだから、堅實も當然と言へよう。各地に大抵一二店位つゝあるが、然し二流ともう相當發達

へ入れるといふことは却々困難である。特に新京方面は殆どもう行詰りの状態であらう。先づ、小賣は別として、卸方面から云へば、どうしても奉天かハルビンといふことにならう。

外國品も、ハルビン邊へはチエツコ、ロシア等から相當いろ／＼なものが入つてくるが、値段の點で逆も日本品と競争は出来ない。

満洲人經營の石鹼工場も無いぢやないが、皆僅かな資本のものばかりで、大きい工場は無い。然も洗濯石鹼程度のもので製するのだから、先づ問題にはならない。又、化粧品製造所も極めて小資本のものは相當あるが、一般によく賣れてゐるものゝ製造所は、大い廣東香港方面にある。

現在最もよく賣れてゐる化粧品に双妹牌といふのがあるが、これも確か香港製だと思ふ。實際よく賣れてゐるが、その中でもローション花露水が一番よく賣れてゐるやうだ。大きな瓶入りで、二十錢位であるから、安いことも安い。

日本のクリームも、近頃は大部分は慣れレイトやクラブは相當出でゐる。

大體、満洲ではベジリンとかポマードとかいふ頭髪用品は多く使はれない。それから白粉も、粉は別だが、固練、水白粉となると殆ど賣れない。そして、先づ最もよく賣れるものはと云へば、クリームと石鹼なのである。

石鹼では、以前は大阪の九重が一番だつたが、今は矢張り大阪のビクトリアがその上位に立つやうになつた。それから

きめてかゝる彼等の先入感も手傳ふのであるが、事實は決してさう大した差のあるものではない。只、仕上げその他に優れた點があるのが高い、さうした事實を彼等は考へない。この意味から、東京商品はまだ／＼徹底的に宣傳する必要があると考へる。

大體、大阪商人は非常に熱心で進取の態度がある。見本市の如きも、恰も大阪の見本市の感があつた。私は大阪商人の態度に敬意を表するとともに、東京商人の猛省を希ふものである。

最後に、満洲人が一般に云つてわれ／＼日本人に對しては非常な好感、有つてゐるといふ事實である、それは寔に嬉しく思ふ。何事にまれ、總てを日本人に就いて習ひ、處したいと云ふ彼等の氣持、それだけ、われら日本人は大いに自重、その指導の立場に立たねばならぬことを痛感する。彼らになつてゐる際、實に指導は今こそが好期なのである。この點を満洲へ行かれる方は充分留意せられむことを切望に堪へない。

實際、各地を旅行しても、日本人としての肩身の廣さを痛切に感じる。以前の一種不快な鬱鬱に包まれての満洲旅行などを思ひ出す時、眞に感慨無量なものがある。「東京滿蒙輸出組合専事、山本太久藏氏談」

満洲の業界

日本品も、満洲へはもう大分入り過ぎである。だから、新しく進出して一店

一店開業しては、先づ新京の金泰洋行。こゝは小賣業の店、年に小賣百萬元以上の賣上を示す程の有力店、もう三十年餘の店歴を有つ。それから奉天では前田徳商店、これも三十年以上ならう九州から出、煙草の小賣から始めて今日の大をなした店、手廣いといふ點では恐らく満洲一であらう。敬服すべき成功者である。

ハルビンでは、中村商店。これも小賣業、さう大きいといふのではないが堅實は堅實な店である。安東では川勝商店と富屋洋行であらう。富屋洋行の方は新京へも店を出してゐる。それから大連では寺島商店と小泉商店、わけても寺島商店は盛大なもの。又、小賣業の店では、浪華洋行も算へられよう。

先づ、これから新しく満洲へ進出しようとする人は、よく向ふの事情を研究してからにしなければならぬ。既にもう大分行詰つてゐる状態なのだから、たゞ漫然と行つたのではしようがない。

で、私などは考へるのだが、むしろ廣告などは二の次に、先づ品質本位といふこと、却つてその方が効果的なのではあるまいか。【多田有平氏談】

北滿の業界

北滿ではハルビンが中心で、ハルビ未だ問題ではない。チ、ハルビは地形の關係上、商業地ではなく、すべてはハルビ

文し、日本化させるようにしなければならぬ。目先の利益だけを考へるならば満洲人向きのものを作つて賣り出せば儲かることは儲かる。しかし、國家百年の計を誤らないやうな商賣をするには、特別にそんなものを作る必要はない。どし／＼日本人向きの品を送つてそれを使ふやうに仕向けねばならないと思ふ。しかし、こゝに注意すべきは満洲行き品物だからといふので、程度を下げて粗悪品を送り込むことのないやうにすると云ふことである。日本で眞面目な品物を作つて出せば、これを喜んで使ふやうになつて來てゐるのだ。事變前迄は、白人種だけが偉いように考へてゐたが、事變後は日本人を非常に偉く考へるやうになり、日本人を眞似ることを以つて誇りとするやうになつて來たのだから、此際、満洲人相手だから粗悪品でよいといふやうな誤つた觀念を捨て、良い品物を出して信用せしめるやうにしなければならぬ。

私は、純然たる國粹主義者で、ハルビンに居ても、外國の商品は一品も取扱はないことにしてゐる。時々、外國の品で「……」は無いかと尋ねて來る日本人があると、こんな處まで來てゐるが、未だそんな頭では駄目だといつてやります。しかるに、ハルビンの有名な日本商店で、日本品にロシアのマークを貼つて賣つてゐるのがある。ロシア人その他在留外人相手にはその方がいゝかも知れぬが、情無いやり方だと思つてゐる。

【八年十一月十一日號商報・哈爾濱支店支店村澤新氏談】

しかし、化粧品でも頭飾品でも、満洲人向き、ロシア人向きといふやうに特別な品を作ることは、私は不賛成である。現在でも既にさうであるが、すべてがどし／＼日本化されつゝあるのであるから日本人向きの品物ばかりをどし／＼送つて、満洲人、ロシア人に日本の嗜好を注

満洲人の嗜好

わが業界品も満洲市場へと輸出し、今や同国内に産出するものも...

- 一、満洲人の好む文字及び圖標
先づ動物類ではどうか？
一、鳳凰 聖人が世に在る時、出現する...

- 五、蜂 蜂、封等と同意にして封は直ち立身を現はし、蜂喜よきものとされてゐる。
六、鶴 一名喜鶴と謂ひ目出度き鳥として喜ばれる。
七、蝙蝠 蝠は福に通じ、喜ばれる。
八、燕 安燕、燕喜等と云ひ、喜ばれる。

- 九、鯉魚 鯉は利に通じ、又老人鯉を抱へる圖を描き「漁魚得利」と稱して芽出たい圖とされてゐる。
十、龍 龍は昇天するものと云はれ高貴の意を現はす。龍に五爪龍、四爪龍、三爪龍があり、昔時は、五爪龍にして全身を現はしたるものは王室に、四爪龍は親王家に限つて用ふるを許され、一般には三爪龍に限つて用ふるを許され、必ず一部分を費でかくすものとされてゐた。
十一、鹿 不老長壽の意を持ち、鹿と同音なれば福祿等の一とされてたり、之に松柏を配すれば壽を意味するものとされてゐる。
十二、麒麟 鳳凰に同様。
十三、鴻雁 時季を違へず來去するを以て信義ありとされてゐる。
十四、馬 疾走速かなるために珍重される。
十五、獅子 剛毅、醒世、進歩等の意を表はし、就中、近來は諸種の商標に用ひられる。
十六、胡蝶 猫に胡蝶を配して描き、「老毛老至」と云ひ敬ばれてゐる。
十七、金魚 一面には吉祥の意、又一面には胡蝶とともに綺麗なるために珍重される。

- 十八、牛 大牢と云ひ、古來天地を祀祭する時には必ず用ひられ、吉と龍の意を現はすものとされる。
十九、孔雀 瑞鳥とされてゐる。
次に植物類ではどんなものが好まれるかと云ふと、
一、桃 不老長壽等のものとされてゐる。
二、葫蘆(瓢單) 子孫山の意で目出たものとされる。
三、牡丹 富貴高貴を現はす。
四、蓮 君子の意を現はし、蓮葉と並らべて描き並蓮と稱し瑞花とされてゐる。
五、橘 昔は吉に通じ福橘とも稱して好まれてゐる。
六、華 肥菊延年と稱し長壽の意を現はすものとされてゐる。
七、梅 梅花の魁として珍重される。
八、松 常緑を賞し、長壽の意あるものとされる。
九、佛手柑 壽を現はすものとされる。
十、桂花 西洋の月桂に似て花は日本の金木犀にちかく、昔科擧に級第した時用ひられたので、榮冠を得る意味とされてゐる。
十一、椿 他人の父親の壽を祝ふに用ひられる。
その他のものでは、太陽、月星の三つを三光と云ひ尊ぶ外、美人が一般に喜ばれ、斗も金斗滿と云ひ、豊年の意に用ひられてゐる。その他、配合して喜ばれるものには、
一、玉堂富貴 と云つて玉蘭牡丹、海棠、芍薬。
二、三多 又は三仙と云つて石榴、桃、佛柑が喜ばれ。
三、三祥 と云つて桂花、竹、海棠を好む。

四、羣花獻壽 と云つて、菊、臘梅、夜來香、僧鞋菊、玉針等が描かれる。
五、九如 と云つて詩經にある日月、四、陵、松、柏、南、山竹、山阜の文字も芽出たきものとされ。
六、棠上双白頭 と云つて海棠、双白頭翁もよく描かれ。
七、四靈 たる龍、鳳、鹿、鶴も尊ばれてゐる。
更に文字のみとして悦ばれるものには福、壽、貴、慶、利、貞、吉、順、順、茂、發、財、昌、隆、和、泰、義、協、合、悅、喜、德、仁。
二、満洲人の忌む文字及び圖標
動物類では次の如きものが、凶惡、不吉のものとして忌まれてゐる。
兎、鬼、魚、蛇、鳥、熊、鳥、鷹、狼、猓、蟻、蟹、鴨、蛇、蜈蚣(百足) 屎守、蜘蛛、蟻狗
植物類では忌まれるものには柳があり、これらの中には、往々日本の習慣と反對のものがあるから注意を要する。
三、満洲の宣傳機軸
大衆的な商品を満洲國の隅々まで廣告したいと思つても、満洲人は内地人とは違つて新聞を讀めぬものが國民の大部分を占めてゐるのだから、各本舗とも宣傳の方法には可なり弱つてゐるやうである。
所以の必要を充すべく出現したのが、満洲國に於ける機軸宣傳機軸を持つ満洲火柴公賣承継處の機軸宣傳機軸である。二千四百個八百箱を單位として料金は四十八圓、九十二圓、百二十四圓となつて居る。

満洲國主要國別輸出入額

Table with columns for Country, Year, and Trade Volume (Import/Export). Rows include Japan, Korea, China, etc.

備考 日本は臺灣を含む・本表には再輸出を含まず・本表は千海關兩未滿を切捨てたるため、計に符合せざるものあり。【滿洲國財政部報告から】

満洲に於ける宣傳の種々相

満洲の商店は、古くより賣物を擴大した看板を店頭に掲げて、自分の店が如何なるものか...

屋や壁に大型ポスターを一枚一枚貼つて見せたもの、或はペンキで商品名を煉瓦壁一ぱいに大文字で書き現はしたものと...

滿洲の小間物化粧品藥種雜貨商

Table listing various goods and merchants in Manchuria, including categories like 雜貨 (Groceries), 小間物 (Small Goods), and 化粧品 (Cosmetics).

Table listing various goods and merchants in Manchuria, including categories like 雜貨 (Groceries), 小間物 (Small Goods), and 化粧品 (Cosmetics).

東京業界品對滿輸出高

Table showing export data for Tokyo industry products to Manchuria, including categories like 袋物 (Bags), 藥・化粧品 (Medicine/Cosmetics), etc.

滿洲輸入組合

Table listing various import combinations and their details, including names like 大連市羽衣町一〇 and 大阪市北區中之島.

滿蒙輸出組合に關する資料

一、普及の狀態

府縣別設立狀態

Table showing the establishment status of Manchurian export combinations by prefecture and county.

組合員數及び出資總額

Table showing the number of members and total capital of the combinations.

二、各組合の内容

Table detailing the contents of various combinations, including names like 東京滿蒙輸出組合 and 神奈川縣東亞.

東京滿蒙輸出組合員

Table listing members of the Tokyo Manchurian export combination, including names like 天野源七 and 藤田盛眞.

Table listing various goods and merchants in Manchuria, including categories like 雜貨 (Groceries), 小間物 (Small Goods), and 化粧品 (Cosmetics).

Table listing various goods and merchants in Manchuria, including categories like 雜貨 (Groceries), 小間物 (Small Goods), and 化粧品 (Cosmetics).

Table listing various businesses and their locations in Manchuria, including categories like '雜貨' (Groceries) and '藥種' (Medicine types).

Table listing various businesses and their locations in Manchuria, including categories like '雜貨' (Groceries) and '藥種' (Medicine types).

Table listing various businesses and their locations in Manchuria, including categories like '藥種' (Medicine types) and '服裝' (Clothing).

滿洲の貿易商

Table listing various businesses and their locations in Manchuria, including categories like '雜貨' (Groceries) and '藥種' (Medicine types).

Table listing various businesses and their locations in Manchuria, including categories like '雜貨' (Groceries) and '藥種' (Medicine types).

Table listing various businesses and their locations in Manchuria, including categories like '藥種' (Medicine types) and '服裝' (Clothing).

Table listing various businesses and their locations in Manchuria, including categories like '藥種' (Medicine types) and '服裝' (Clothing).

關東州輸入業界 品數量及價額國 別表

品名及國名	價額
化粧品	1,634,022
日 本	2,182
中 華	231,806
日 本	22,264
中 華	2,641
日 本	2,933
中 華	3,157
日 本	17,829
中 華	53
日 本	26
中 華	180
日 本	614
中 華	2,565
計	1,920,272

品名及國名	價額
油脂	3,251,281
日 本	65,468
中 華	875,674
日 本	45,753
中 華	409
日 本	5,542
中 華	27,057
日 本	8,051
中 華	12,171
日 本	7,338
中 華	491
日 本	634
中 華	589
日 本	285,986
中 華	432,903
日 本	1,750
中 華	2,044
計	5,023,141

品名及國名	價額
藥材及藥品	2,976,487
日 本	137,681
中 華	286,819
日 本	289
中 華	554,394
日 本	633,791
中 華	78,188
日 本	5,461
中 華	4,529
日 本	224,703
中 華	7,991
日 本	152,074
中 華	19,041
日 本	3,168
中 華	234,344
日 本	742
中 華	503
日 本	315,273
中 華	3,011
日 本	41,859
中 華	5,680,298

昭和七年「關東州貿易統計」から
〔昭和八年十一月・關東廳刊〕

哈爾濱商陳列館一覽

館長 川角忠雄
館員 九名

所在地 哈爾濱東經緯街
創立年月 大正七年四月三十日
經營者 日露協會
土地建物 敷地六八〇坪
建物延坪數五四九坪五合

事業内容
一、露滿蒙向商品及び參考品の展示並びに説明
二、露滿蒙重要産物の展示並びに説明
三、各種の調査報告並びに通信
四、商品の改良指導
五、展覽會、見本市等の幹旋援助
六、貿易及び企業に關する紹介及び仲介
七、その他貿易企業促進に資すべき施設
八、圖書及び陳列品目錄等の刊行配布

出品種類 四、八三一種
出品點數 二一、三五二點
商取引仲介件數(昭和八年度) 七七五件 内成立六八七件
來館人數 昭和八年度 五、九六七人
邦人 四、八三三人
露人 二、六三七人
滿洲國人 一三、四八四人
その他の外國人 一三、四八四人
合計 一三、四八四人
刊行物 館報「露滿蒙時報」月刊
パンフレット 隨時

日滿電報の料金改正

滿洲電信電話株式會社の電報料は、九年四月一日より左の如く改正せられたり。

一、和文電報の七字一語制を五字一語制に改め名宛一語の計算を二語とし一通の最低語數三語を五語とす。

二、通常電報の一語料金を一般に左の通り減する。

日滿間和文電報 官報六錢、私報八錢、歐文電報 官報八錢、私報十錢
滿洲内又は滿鮮間和文電報 官報六錢、歐文又は漢文電報官報八錢

關東州 主要都邑人口一覽

關東州	人口	内地人	朝鮮人
郡邑名			
大連	三九、七三七	二一、九九九	一七、〇〇〇
旅順	三〇、七八二	二七、四四三	一、四三九
金州	一七、三三三	一、四三二	一、九〇一
滿鐵附屬地			七六

郡邑名	人口	内地人	朝鮮人	滿洲街	計
大石橋	五、七五二	二、〇八八	一、九一五	二、八〇〇	八、一五二
營口	六、四六六	三、四四五	七、九三〇	〇、八三三	二二、九四五
遼陽	七、三三三	三、五五六	一、九一五	〇、四二二	六、九七五
奉天	五、九一五	三、八〇〇	一、三〇〇	〇、九一五	六、九一五
鐵嶺	四、五七七	二、七五七	一、三〇〇	〇、五二〇	四、五七七
新京	五、一三六	三、三三三	二、六六三	〇、一四〇	六、二六六
安東	三、九二二	一、五三三	二、六六三	〇、一四〇	六、二六六
計	六七、〇三三	二二、三九九	二二、三九九	〇、八三三	一一一、〇〇〇

滿洲商標各圖登錄數
滿洲國政府が商標法を公布實施した昨年十一月廿日より今年同月同日に至る滿一ヶ年の各圖別商標登錄數は

▲日本一萬二千四百二二 ▲英國千五百五十四 ▲美國九百六十三 ▲ドイツ千四百七十七 ▲フランス二百九十五 ▲支那七十三 ▲カナダ十一 ▲イタリー十五 ▲ポーランド一 ▲スイス九十七 ▲スウェーデン八 ▲ノルウェー一 ▲オランダ廿八 ▲オーストリー二 ▲フィンランド五 ▲デンマーク十一 ▲ロシア十一 ▲チエツコ・スロヴァキア十八 ▲キエーバ四 ▲リトニア二 ▲ギリシア一 ▲アビシニア二 ▲オーストラリア三 ▲無國籍五 ▲滿洲國二百一 ▲合計一萬六千四百六十四

以上の如く非常な成績をあげてゐるが、滿洲國政府の未承認國である英、米、佛、伊、獨等の諸國を初め中華民國までが通商關係においては滿洲國の法令を認めざるを得ず、いづれも相當数の登録をしてゐるのばかり。

為美髮料



品質本位

京東 店油香屋筒井 舖本

ポーマド

最高品質の
純植物性ノ



メヌマ

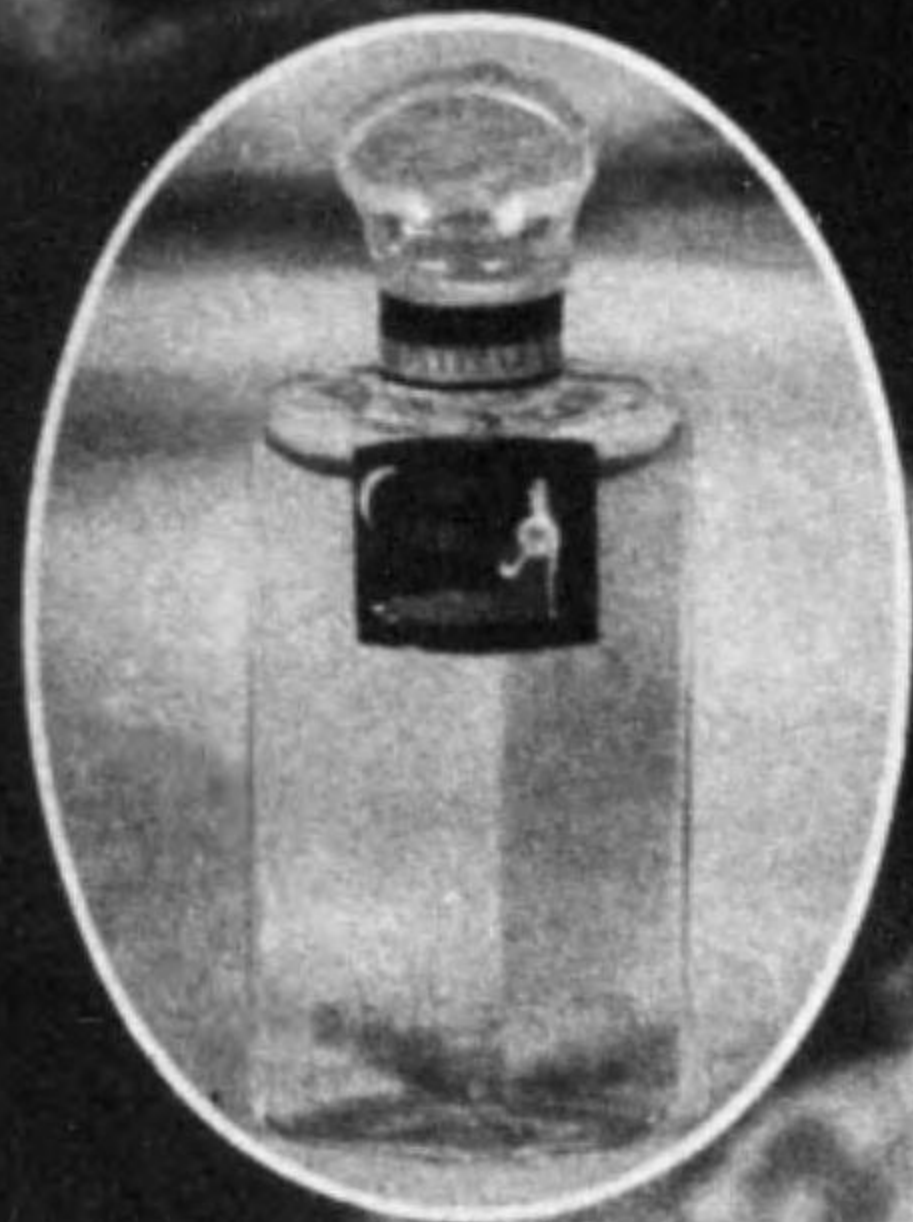


正に驚異!
眞價に聚まる
この絶讃!
この賣行!
ホマード界空前の
躍進!時代だ!良
品だ!メヌマだ!

堂榮京田井 元賣發

目丁二川豎區所本市京東 店本
五ノ五町後備區東市阪大 店支

月の友五百番香水



本舗 月の友化粧園
 東京市浅草区島越一ノ七
 電話浅草(8)七〇六二番



年一年
 躍進しつゝある
 純植物性の逸品

柳屋本舗

けいし香油
 柳屋化粧品 本舗
 純無鉛柳屋ぼつちり白粉

東京・日本橋・通二
柳屋本店
 電話日本橋(24)一八五九番




乾海荒
物草物

屋問

町網小區橋本市京東
店商郎三銀木駒
 番五〇六一・四〇六一町場茅話電
 番九二七〇一京東座口替振

鏡に映る美白な
お顔！

北風寒い今日この頃に
僕のお肌は生々々
はんと新鮮若さに満ちる
よア御一人で加自慢ね
それは私が教へてあげた
お化粧下のアレ止めに
いつもさらツとすつきり
あのマスターバニシングを
朝夕お愛用になるからよ
ウツフ鏡を曲けては僕の顔
切れると危いしつかり持つて

さらつと爽か！

マスター
ガンシニハ
 クリーム

大命五十五歳
中三十三歳



青樹醫學博士監製推獎

スチルチス

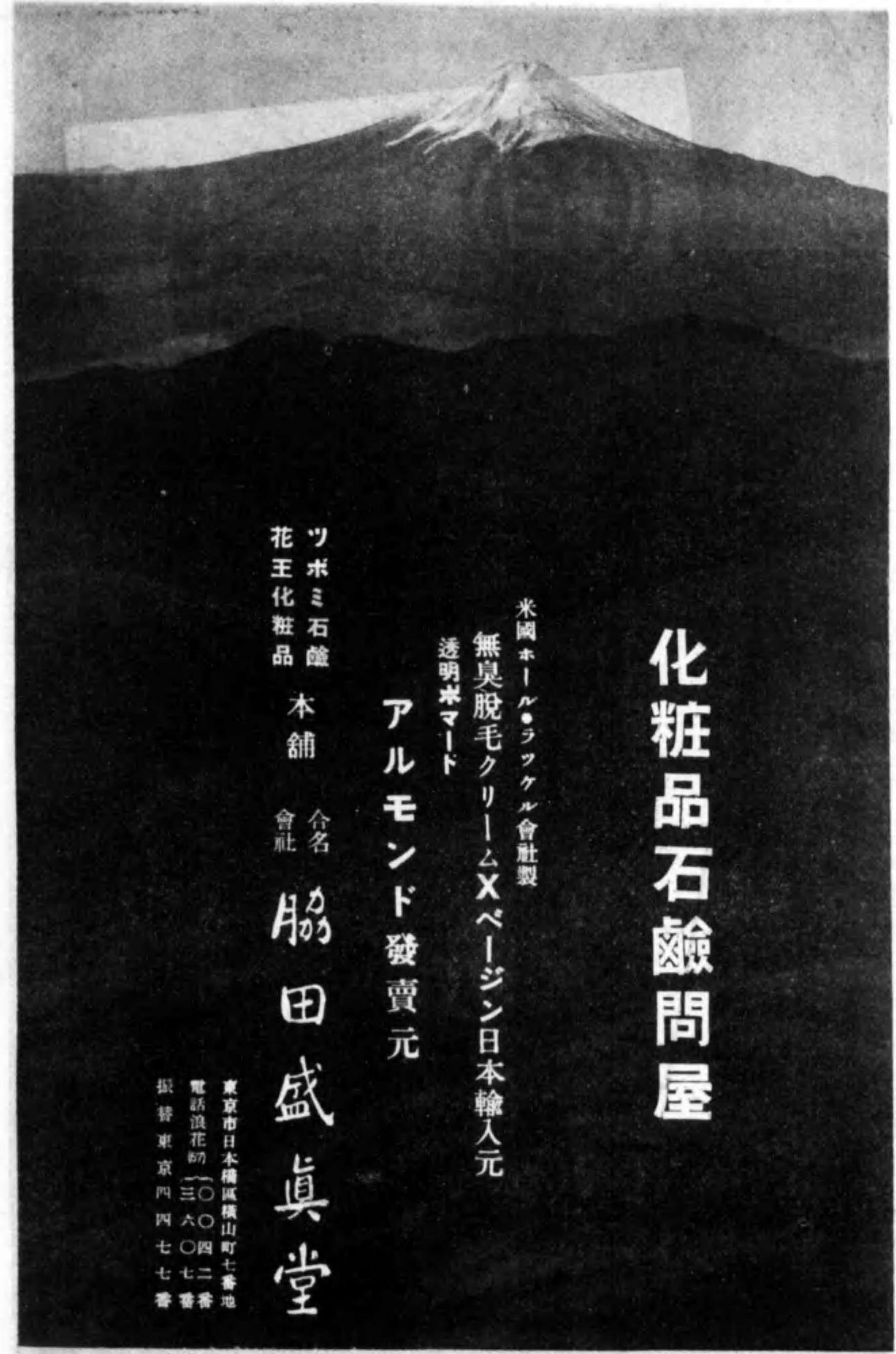
ムーリクルクツレフ
鹼石用薬ルクツレフ
かぬ粧化用薬ルクツレフ
粉洗新ルクツレフ
ンヨシーロルクツレフ



スチルマン・フレツクル本舗
マイヤー化粧品
ノートツクス化粧品 發賣元
ノヒルスキン

河田商店

東京市丸の内日比谷
電話 銀座 一七七六
振替 東京 三六七七二



化粧品石鹼問屋

米國ホール・ラツケル會社製

無臭脱毛クリームXベージン日本輸入元

透明ホマード

アルモンド發賣元

ツボミ石鹼
花王化粧品 本舗

合名
會社

脇田盛真堂

東京市日本橋區横山町七番地
電話 浪花 一〇〇四二番
振替 東京 四四七七番



BEAULA

Eyelash Curler

マツ毛と眼を美化する流行の美粧具
近代的の美容に絶対必要!

マツ毛をキレイに捲へて捲き上げ、眼を
パツチリと大きくし、美しい魅力と輝きを
興へる唯一の美粧具で、明眸美眼を第一要
素とする近代的の美容に絶対必要のもの。
近時いよ／＼すばらしい勢で普及され、需
要又一段と擴大しつつあります。
一層の御聲援を
お願ひ申上げます

山野千枝子女史
小柳浪子女史
その他美容諸大家
何れも本器を愛
用推奨せらるゝ



發賣元 東京本郷區
林町一四二
啓芳堂
總代理店 東京丸の内
クレオ研究所
代理店 東京万新商店・大阪
橋田商店・福岡商店

器ヴーエウの毛つま・許特

ラウビ

銀十五圓二價賣・人頭裝美・金銀メッキニ製屬金總



CK

製屬金・製ドイツ

器容鹼石

器容品粧化

スーケトツレガシ

賣販造製

元賣發器金貯立國

店本郎四小上井

目丁一橋草淺區草淺市京東
六四五四・七七〇四 草淺話電
番四〇三五京東座口替振

兒龍の界香線 物名東國

敷

島

香

東京敷島會
津川安正堂



あ

森友商店

株式會社

森友商店

東京日本橋區小網町

電話茅場町四四一〇・四四一一
振替口座東京二六二四番



湯上り
アセモ
タブレ
實用新案器

カシラオレイト

廻轉粉末抽出器附

B形

A形

パフセット附

發賣元
飯塚芳次郎東店
東京・大阪

中煉元祖
チエリー
齒磨

セルロイド雜貨
玩具・製造卸

東京市淺草區柳橋二丁目二十一番地
會社名 荻村龜太郎商店
電話淺草(84)四九三番
振替東京一五四一六番

東京市本所區太平町三丁目六番地
荻村セルロイド工場
電話墨田四三五〇番

百万弗

よく落ちる優良髪洗料

高級御化粧川
百万弗

本舗 木下商店

東京日本橋小堀町二丁目

髪

シャンプー

洗

粉



ウツマキ石鹸

若肌・柔肌
 この一品より
 洗類に入浴に
 是非!!



本舗
 近磯商店 石問屋
 東京市日本橋區横山町七

美髮に
伊豆椿ポマード
純椿煉

美髪は紳士道

ポマード界の
流線型！

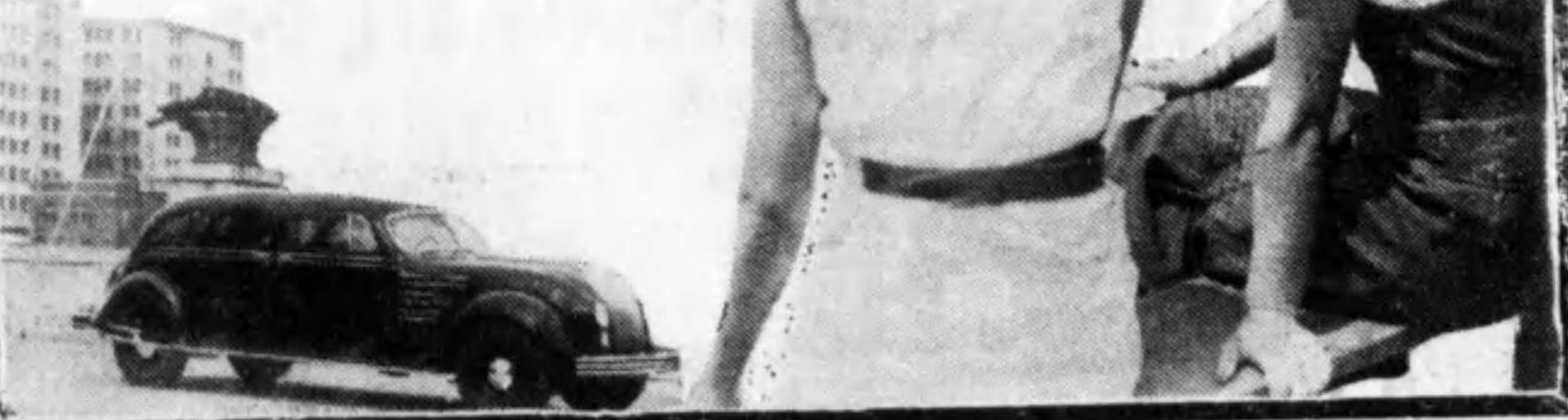
- A子「スバラシイ自動車ね」
- B子「流線型だ、最新式、最先端、近代的超モダン、シーク、アラモード……」
- A子「あ、ヤ、コレイだんぜん乗って見たいわ、一試乗を聞いて買ふつもり？」
- B子「値段を聞いて買ふつもり？」
- A子「それより先づキミの頭髪から手入れし給へ……」
- A子「そう言へばキミの髪は匂ひと云ひ艶と云ひスバラシイね」
- 何ポマードつけてるの？」
- B子「モナ伊豆椿さ、伊豆椿はポマード界の流線型だわ、これならすぐ手に入るよどこにでも買つてから……」
- A子「では買は急げこれからスグ買ひに行きませう」



¥、38
¥、55
¥、90

伊豆椿子ツク本舗
大槻彩芳園

大阪市東區内本町一



御婚禮
頭飾調度品と
花笄専門の店

莊重典雅な
御祝儀用
頭飾品
豊富取揃へ
せひ御用命をノ
品質の優良と
価格の低廉は
弊店の絶體的
誇りです

御祝儀用頭飾製造販賣
美術桐箱サツク製造問屋

時田湊商店頭飾部

東京市浅草區浅草三ノ一

電話浅草(84)三五六三番

花笄工場 東京市本區駒形二丁目 工場箱桐 埼玉縣柏市 電話一四一四番

かのこ手柄
京 吳 服
絞 服 装 品

本店

京都市五條通り富小路西入

松尾喜七

電話下 八二二番
四九四一番
振替大阪 八八七番

東京店

東京市日本橋區大傳馬町

松尾商店

電話浪花(67)〇七五三番
三六九七番
振替東京一〇二〇三番



東京市日本橋區横山町七番地

の カネノ 商店

松尾喜七
電話浪花(67)〇三三五番
振替東京 二一九三四番

最良の品質に
永遠の生命あり



ジュピター印洋装
製造附屬元品

舶來で日本人向きの三大製品!!

お顔のニキビが一つ一つ消えてゆく

マー・クリーム

五十一
八十一〇〇

歯と歯ぐきを丈夫にする

マー・煉歯磨

七十五〇

新製品

舶來液體シャンプー

マー・セーモー

十五〇(男用)
四二〇(女用)

本品は純植物性の油を主原料とするものにしてアルカリ・苛性成分を含有せず
か微細の木炭の持つ毛髪洗浄作用は従来の粉末シャンプーの如く濁又は水にて泡立
する手段なく、直ちにその全効果を發揮して、石鹼にては見ざる微細なる泡を生じ
心ゆく洗滌を容易ならしめて、洗滌後の爽快さは、毛髪をしなやかにしてアケを
去り更に特潤美肌なり。



マー・クリームの特効
ニキビ吹出物(特に春先や秋口の吹出物)
ツバカス、目やけ、あれ止め、シミ、ヒビ、アカギレ、シモヤケ、アセモ、タゲレ、水虫、毒虫にさされた時、
湿疹、痔、キリキズ、スリキズ、お化粧下に、脚背割跡に、其他皮膚症一切

製造元 元國米・コーポレーション社
輸入元 守屋合名会社

整髪美に

浄髪美に

國産中の代表的頭髪香水

丸善ベールム

特大瓶	¥ 2.60
大瓶	¥ 1.50
小瓶	¥ .85
平瓶	¥ .50

つけ心地・洗ひ心地は一番!

ベールムポマード

大¥ .60
小¥ .35

櫛通りよくスピード整髪に

ベールム
コスメチック

大¥ .90
小¥ .50

— 發 賣 元 —

丸善株式会社

東京市日本橋區通二丁目

MANUFACTURER

CIGARETTES CASES
SOAP BOXES
TOILET WARES

T. MORI. & CO.

No.4, 3CHOME HONJO
TOKYO, JAPAN

製造卸

金 屬 製
セルロイド

シガレッツケース

石 鹼 容 器

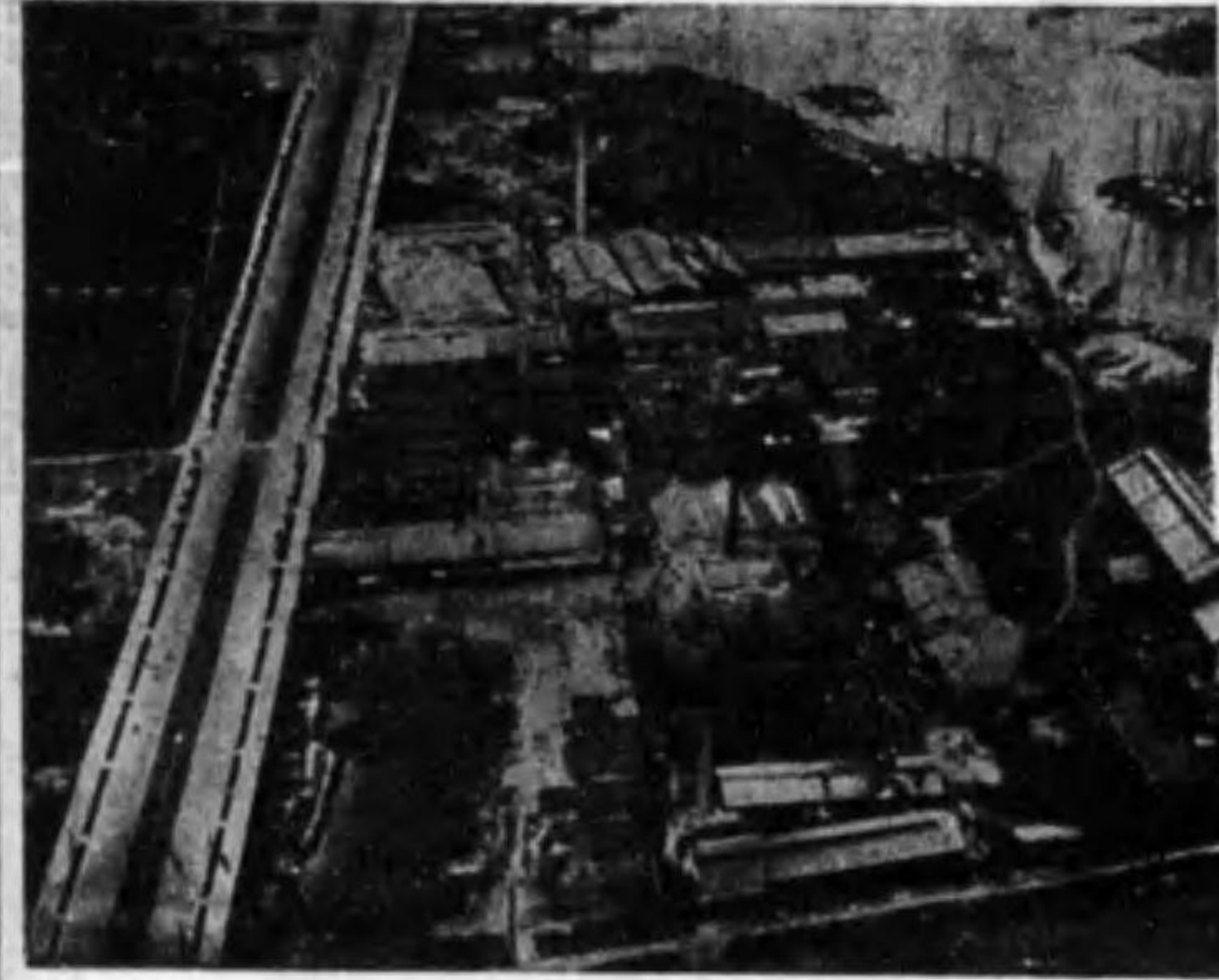
化 粧 容 器

森 留 藏 商 店

東京市本所區東兩國三丁目四
電 話 本 所 (73) 一 六 一 五



SAKAI CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.



(景全場工社本)



所張出京東

佛國アルベルベルレー香料會社
 佛國化粧用顔料 其他化粧用原料
 直輸入

亞鉛華

純良無鉛
 化粧用

堺化學工業株式會社

目丁一町綠區所本市京東・所張出京東
 三九八六・二九八六・一九八六 所本話電

店支海上 號五一二路川四海上 番八四三八一話電	所業營阪大 目丁二通上江堀南區西市阪大 六五六二 七五六二 川橋話電 八五六二	社本 (北表北) 丁五島戎市堺 〇一〇三 二一〇三 堺話電 二一〇三
-------------------------------	---	--

オチナイ櫛の

三大製品

おくれ毛の止まる
オチナイ櫛 (ウエーブ)
 實用新案登録一九一一〇二號

ハガネ製
 偽物アリ御注意

おくれ毛の止まる
アリマコーム

品質の
 賣行の
 利潤の
 絶対保証

オチナイ オサゲドメ
プラマ
 實用新案登録第189688

東京 オチナイ櫛製造元
 サカモト
 東京・浅草・柳橋・二ノ五

貨雑と物間小



絹パン
特別五十五錢
三二一八七十五錢
四一八十五錢
口紅
打二十二錢より
赤紅
打四十五錢より
打八十五錢まで



石鹼容器
七六割
打六十錢より
ニツケル四割より
打五十五錢より
ニツケル五割より
打六十五錢より
上品は半打より
五分割より
五分割より



物揃算極
金芝入
一組 三十五錢より
二組 三十五錢より
三組 三十五錢より
四組 三十五錢より
五組 三十五錢より
六組 三十五錢より
七組 三十五錢より
八組 三十五錢より
九組 三十五錢より
十組 三十五錢より





マスク
一組 五十錢
二組 五十錢
三組 五十錢
四組 五十錢
五組 五十錢



一ヤトツネ
一打 八十五錢
二打 八十五錢
三打 八十五錢
四打 八十五錢
五打 八十五錢
六打 八十五錢
七打 八十五錢
八打 八十五錢
九打 八十五錢
十打 八十五錢



樽ゲツ
ツケクロ、上等
和次、七〇
一、二、〇、〇、〇
一、五、〇、〇、〇
九、八、七、六、五、四、三
〇、〇、〇、〇、〇

の店は？

1935年形ノ必ス御満足ヲ與ヘル安イ良イ品ヲ御送り致シマス

店商一頑町後長 物間小萬 屋問卸貨雑

部易貿・部信通 地番七町山横區橋本市京東

番四四二〇三京東座口替振 番七-八四花浪話電

純質 **キヨス** 化粧石鹼
 純植 **キヨスホマード**
 冬の女王 **キヨス** 懷爐灰
 香りのよい **日陽** 香
 大衆向線香

金鳥香代理店
化粧品雜貨卸商

立川野立志堂

東京市深川區清澄町一丁目
電話本所(73)一四六七番



博覽會展覽會見本市

見本市の回顧

東京商工獎勵館が、初めて文房具學用品見本市を開催したのは大正十一年四月十九、二十日の兩日であつたが、これこそわが國に於ける「見本市」なるもの、嚆矢であつた。爾來、見本市の效用、使命と云つたものが漸次各業界の認識するところとなり、大正十四年九月に至つては小間物、セルロイド、玩具、運動具、文具、事務用品、メリヤス、洋裝附屬品、靴、襪物、硝子、金物等を網羅する第一回東京商品綜合見本市を大規模に開催し、また別に東京織物見本市を大正十五年四月から、羅紗及び既製服見本市を同年九月からそれ／＼開催し、爾來、年々春秋二季を期して定期的にこれら三種の見本市を開き來つたのであるが、羅紗及び既製品見本市は、昭和六年春季から東京商品見本市と合同し、その後何れも堅實な發達を遂げつゝある。

東京商品見本市は、昭和十年春季には第二十回記念見本市を盛大に開催の豫定であり、また、織物見本市も今春は第十九回を迎へる。東京見本市の方は、九年秋季二三五人の出品者で、入場者實數は五、三九二人、出來高は二九萬圓に及び、來觀者の地域から云へば内地一圓は無論のこと、滿洲、支那、その他少數ではあるがフィリピン、シヤム、佛領支那、マレー半島、蘭印、英印、暹洲、ハワイ、カナダ、北米等にも及んでゐる。また前季織物見本市の方は出品人八一名、入場者實數二五六四名、出來高六三萬圓であつた。

大陸「市」といふものは、わが國でも歐洲諸國でも随分古くからあつたが、何れも祭禮などの日、民衆の集つてくる處に開かれたことは東西その軌を一にして

ある。當時「市」なるものが現物の市、小賣の市であつたことは言ふ迄もない。然るに經濟組織は次第に複雑微妙、且つ廣大無邊のものとなり、生産と消費と、供給と需要と、その關係は前人の夢想だもしなかつた範圍にまで及んで來たのである。是に於いて從來の現物小賣の市の外、見本市といふものゝ旺盛を見ることゝなつたのである。

今日、世界に於いて獨逸ライプツヒの見本市は最も權威あるものとされてゐる。そのライプツヒの市も、從來は現物小賣市として歐洲に鳴り響いてゐたのであるが、時勢の進歩を見定めて、今から三十餘年前に從來の現物市から見本市へと、その組織を變更したのであつた。後、同見本市は漸次發達して今日の如き大規模のものとなり、春秋二期を定めて開設し、世界各國よりの出品人一萬五千に上り、四十餘ヶ國よりの買方二十萬人を算するに至り、以て巨額の賣買契約をなし、商業取引の最も進歩せる形式、最も權威ある施設と認められるやうになつたのである。

で、見本市が斯く重要視せられるに至つた理由は何であるかといへば、先づ、生産者が販路の擴張に關して多大の廣告費を投する必要なく、買込のために店員を各地に派遣するを要しないといふこと。續いては、出品者は短時間各地より集せる多數の買方に商品見本を展示して商談をなすことが出来ること。見本によつて多量の取引を契約することから、先物ならば契約高に應じ製造に着手することが出来、従つて原料の均一、生産費の節約、ひいては市價の低廉を期し得ること。買方としては短期間に商品の良否や價格を比較研究し得て、仲繼商人の手を経ることなく、良品を廉價に仕入得ること……等の諸點を挙げることが出来る。

即ち、見本市は賣買兩者の取引市場であるから、漠然たる參觀人は入場せしめざるを原則とし、その取引は打とかグロスとか、一定數量に於いてせられ、一個一品賣の如きは是をなさず、要するに見本市は廣大な

洋品雜貨
小間物
製造卸商
ゴム加工品

吉川伊三商店

經濟組織の下に於いて最大最良の需給調節機關であり生産者は品質を善良にし價格を低下して最少の利益に満足し、以て需要家一般社會の福利に寄與すること、なる處にその本領が存する譯である。【東京商工業獎勵館主事安本重治氏談】

博覽會に現はれたる業界品發達の跡

産業文化史上に於ける博覽會は、業界品に取つての進歩の階段でもある。以下、少しく博覽會を通じての業界品進歩の跡に一瞥を與へて見よう。

明治三十六年、同三十九年、大正十年及び昭和三年の白粉試験成績に見ると——東京衛生試験所の別表参照——進歩の跡實に歴然たるものがあるが、御園白粉などは確かに無鉛白粉の尖端をきつて出現したものであつた。

又、化粧品は以前はメチールアルコールを用ひ、博覽會出品物にも随分それがあつたが、問題にされなかつた。所が、明治四十三年頃、メチールによる中毒事件が起り試験の結果、その使用を禁止したため、現今では全くそのあとを絶つに至つた。

兎もかく、近年、總て化学工業の進展振りは驚異に價する。この項、東京衛生試験所長藥學博士衣笠登氏談】

昭和五年三月開催された「海と空の博覽會」にはわが香料、化粧品、石鹼類の出品人員は三四名、出品點數は三〇八點、それを各府縣別に見ると左の如くであつた。

地方別	出品人員	出品點數	賞有功	賞進歩	賞優良	計
東京府	三	八〇	—	—	—	八〇
大阪府	三	三三	—	—	—	三三
朝鮮總督府	—	—	—	—	—	—
臺灣總督府	—	—	—	—	—	—
北海道廳	—	—	—	—	—	—
計	六	一一三	—	—	—	一一三

があり、出品物中には液分と固體と相分離し、或ひはその稠度や軟きに失するものもあつたが、品質概して優良、香味も佳良であつた。

白粉には、水白粉、固練、粉白粉など、何れも主劑として酸化亜鉛を使用した、殆んど鉛分の含有はなく、且つその、のび等の品質に於いても概して優良であつた。なほ出品物中に酸化チタニウムを主劑とし、或ひは酸化亜鉛の一部代用とせしものもあつて、注目をひいた。

その他、化粧水、ボマード、香油、香水、クリーム頭髪液、頭髪香水、髪洗粉、白毛染等、何れも概して優良で、正に本邦化粧品製造業の一般的發達を物語るものがあつたが、その總點數も實に年三千萬圓に達し獨り著しく歐米製品の輸入を防止するに至つたばかりか、進んで滿洲、支那、印度、南洋等に輸出するに至り、漸次歐米製品を東亞、南洋の市場より驅逐しつゝある状態であつた。

香料、樟腦、薄荷類の品質はますます進歩の跡歴然たるものがあり、合成香料は諸所に於いて競ふて研究され、往時に比べて進歩著しきものはあつたけれども未だ國內需要の總てを製造し歐米品を市場から一掃するまでには相當の経路があつた。エッセンスもその技術よく發達を遂げ、歐米品に對照して更らに遜色なきものであつた。が、本邦特異の産物——天然樟腦

府縣別	出品人員	出品點數
東京府	二九	二七六
京都府	—	—
兵庫縣	—	—
廣島縣	—	—
愛知縣	—	—
計	二九	二七六

三倍の生産額を示してゐた。が、それにも拘らず、その頃の輸出額は約二百萬圓にして、輸出漸減の傾向に在つたことは甚だ遺憾である。加ふるに、約百二十萬圓の輸入とともに、將來之れが輸出の増進、輸入の減退に就いては大いに當業者の努力が希望されてゐたものである。

又、石鹼類に關しては、當時に於ける生産額は約四千萬圓、特に著しき發達を示せるは工業用マルセル石鹼であつた。その品質著しく改善され、その結果輸入の減退を來したのみでなく、進んで支那方面に輸出する等、大いに見るべきものがあつたのである。

香料工業も大いに進歩し、バニリン、ヘリオトロピン等の新製品の出品を見たことも、亦、當時における新業の進展を如實に物語るものであつた。加ふるに、その品質一般に著しく改善せられ、殊に臺灣樟腦の副産物たる樟腦を主原料とする各種香料の製造に努力し、内地は勿論海外まで輸出して、本邦樟腦業の維持發展に貢献しつゝあつた等、大いに稱讃されるべきものがあつた。

次は、昭和六年三月開催の第三回化学工業博覽會の概況に見る。

ゴム及びゴム製品は、全般に互り著しく進歩した。就中、ホース、エポナイト製品、自動車タイヤ、ゴム

とその副産物は、當時やもすれば合成樟腦により壓迫を感じる傾があり、その副産物の利用に就いて極力研究すべきことが切望され、且つ本邦天然樟腦工業の存立繁榮上、最大急務なりとされてゐた。更らに、石鹼及び蠟燭に就いては、その出品人は三〇名、出品點數は一七八、然してそれを地方別に見れば左表の如くであつた。

地方別	出品人員	出品點數	賞有功	賞進歩	賞優良	計
東京府	三	一一〇	—	—	—	一一〇
京都府	—	—	—	—	—	—
大阪府	—	—	—	—	—	—
兵庫縣	—	—	—	—	—	—
朝鮮總督府	—	—	—	—	—	—
北海道廳	—	—	—	—	—	—
計	三	一一〇	—	—	—	一一〇

化粧石鹼の出品人は總出品人の半數以上を占め、出品の種類も多様であつたが、品質は概して優良であつた。遊離アルカリを含有するが如き粗悪品は殆どなかつた。實際試験の結果に従ふも、その事實が立證されてゐた。

洗濯石鹼は、漸次粉末石鹼が多量に使用せられるやうになつた。同博覽會にも八、九點の粉末石鹼の出品があつたが、品質は概して良好で、著しい缺點のあるものを見なかつた。マルセル石鹼、絹煉石鹼、織物整理剤モノボール石鹼の類は、みな相當の経験ある製造業者から出品されたもので、品質も優良であつた。【此の項、第三回化学工業博覽會審査報告書に據る】

白粉試験成績【東京衛生試験所】

第一表

年度	場所	出品人員	出品點數	賞有功	賞進歩	賞優良	計
昭和三年	東京市	—	—	—	—	—	—
大正十年	大阪府	—	—	—	—	—	—
大正十年	二府十縣	—	—	—	—	—	—
明治三十三年	東京市	—	—	—	—	—	—
明治三十三年	東京市	—	—	—	—	—	—

靴、薄ゴム製品等は、比較的進歩顯著なるものがあつた。その他、型硫化自轉車タイヤの進出、ゴム雜貨品に於ける新案考案の増加等は、特筆すべき發達傾向にあつたけれども、なほ品位に於いて従來の域を脱せざるものがあつたことは遺憾であつた。

燻發物及び燻寸に於いては、出品者一名、出品點數五一九點で、その品質優良、生産額の多大なるは既に定評があり、安全燻寸としても發火の状況、燃焼の状態その他すべてに缺點と指摘すべき所はなかつた。

油脂及び蠟燭は、朝鮮方面よりの出品を除けば概ね品質良好にして、特に指摘すべき缺點も無かつた。殊に製品の脱色、脱臭に異常な進歩改善の跡を見出すことが出来たが、たゞ朝鮮方面の出品物中には未だ品質の改良を要すべきものが多かつた。

石鹼及び蠟燭は、ともに粗悪品なく、就中石鹼類は試験の結果によるも全くその事實を立證してゐた。然して當時は品質の改善といふよりも、寧ろ價格の低下に努力し製法と經營の合理化に因り、その實現が可なり懸望されてゐた。蠟燭は、合同油脂グリセリンから出品があつたのみで、品質もなかく優良であつた。

化粧品は、品質良好、全く歐米製品と優劣なく、その總生産額も六千萬圓以上に達し、歐米からの輸入を阻止せしめなからず、進んで海外に輸出し、東亞、南洋の市場から漸次歐米品を驅逐しつゝあつた。惟ふに本邦人は嗅感、觸感に於いて甚だ繊細なる感覺を有し化粧品の研究、改良等に對し最も天賦の能力を有するを以て、それが化学的技能と相俟つて然らしめられたものに外なるまい。

化粧品類に關する出品點數は四二一點、出品人員三名で、それを地方別に見ると左表の通りであつた。中、齒磨に就いて見ると、粉末及び煉齒磨は、炭酸石灰、炭酸マグネシウムを主劑として製し、粉末齒磨に於いては概して粉末度均一微細で優良であつた。又煉齒磨は、漸次需要を増し粉齒磨に代らんとする傾向

オブライト 山元オブライト 山口 徳小商店 手巾 中西儀典商店 朝子類 東京 朝子類 朝子類 東京セロファン 朝子類 高崎セロファン

輸出包裝展覽會

商工省主催、第九回輸出包裝展覽會は、十月十日より二十四日まで十五日間、上野不忍池畔日本産業館に開催、業界関係の主な出品物如左。

第一部 輸出品包装 化粧品の内箱及び外箱 化粧品の内箱 中山太一 化粧品の内箱 中山太一 ハンカチーフ内箱 合資会社 漢口 俊介 輸出縫針内、外箱 合資会社 三浦製針商會 第二部 輸出品包装材料 ライオン印刷支那行小袋十八木箱モライオン印刷支那行小袋十八木箱モ

輸出工藝展覽會

商工省にては、東京、大阪、名古屋の三ヶ所に輸出工藝展覽會を左記の如く開催した。会場及び期 東京市上野公園日本産業館十月十日至十九日、大阪市東區大正立賣場十月十五日至二十一日、名古屋市中央區愛知館十月十七日、各品類中區愛知館品類列所自十一月十七日至二十一日、尚ほ、同展出品の一部は前回通り巴里に送られ、十年を期して日本工藝品巴里陳列會が開催される豫定。

産業教育博覽會

産業日本として世界に勇飛するわが國に、實にその基礎をなした實業教育が實施されてより恰かも五十周年、清浦奎吾伯な

會長として組織された實業教育五十年記念會にては、その記念事業の一として、十月十三日から十一月四日までの三週間、上野公園東京科學博物館に、産業教育博覽會を開催。

臺灣煙草具品評會

東京臺灣煙草具製造販賣同業組合にては、その品質改善と販路擴大に資する目的を以て、十月十九、二十、二十一日の三日間、わが商報社樓上に於いて第四回臺灣煙草具品評會を開催した。出品物は第一部臺灣物、第二部煙草具、第三部金具類。

京城の口腔展覽會

朝鮮總督府、京城齒科醫師會京城府後援、丁子屋、尙事主催の口腔展覽會は、十月二十二日から京城府丁子屋四階ホールに開催された。

朝鮮の京都工藝展覽會

京都市主要生産品の朝鮮における販賣擴張を圖る目的を以て同市にては、十月二十六日から三日間京城、十一月二日から四日まで平壤に於いて、それぞれ京都工藝品展覽會を開催した。

京都の輸出工藝展覽會

十一月一日より五日まで、京都市大禮記念美術館に於いて、近畿六府縣聯合輸出工業試作品展覽會が開催された。

第二回發明展覽會

特許局主催の特許發明展覽會

は、出品申込九百餘點中より厳選の結果五百七十四點を得、十一月一日より十四日迄の二週間九の内商工獎勵館に於いて開催された。なほこの期間中、大衆教育の見地から、島津製作所製作の携帯用レントゲン装置、通信省のテレビジョン装置等の實演も行はれた。

東京時好會秋季展示會

毎年春秋二回、流行の指針として、趣味研究の成果を發表する東京時好會の展示會は、十一月一日より五日まで日本橋三越本店に開催されたが、之れに先立ち、例によつてその下見會は十月二十五日、わが商報社樓上に於いて開催された。

廣島全國發明展覽會

廣島發明協會にては、十一月十日より二十一日に至る十二日間、同市廣島縣産業獎勵館に特許法施行五十年記念全國發明展覽會を開催した。

初期の博覽會に於ける入場人員及びその經費	明治四年 京都博覽會
入場人員	一、四、五、五、八
經費	四、六、四、二、五、二
同 十年 第一回内國勸業博覽會	入場人員 四、五、四、一、六、八
經費	一〇、六、八、七、五、五、八
同十四年 第二回内國勸業博覽會	入場人員 九、二、一、二、六、一
經費	二、七、六、三、五、〇、一

廣告界の回顧

波多海藏

廣告の發達に關する歴史的考察といふやうなお話をするには、順序として先づ大體の時期を分けてかゝる方がいゝやうに思ふ。それには日清戰爭前、日露戰爭前、日露戰爭後と言ふ風に、矢張り他の文化の發達と同じく、戰爭がその段階をなして居るやうに思はれる。そこで第一期の日清戰爭前であるが、その頃の廣告に現はれた業界品で今日に残つて居る有名品としては、恐らく花玉石鹸だけであると言つて差支へあるまい。確かに明治十八九年頃に出來たと思ふ。

日清戰爭前の廣告宣傳

第二期の日露戰爭前のものとしては、ライオン歯磨がある。先づ今日、業界に覇をなして居るものとして以上二種であらう。次の第三期、即ち日露戰爭後となると、これはお話しするまでもなく、業界でも多く御承知の通りである。ざつと以上のやうに分けて一通りお話しをして見たい。

日清戰爭前の廣告宣傳

その頃には於ける新聞廣告としては、全く關係が稀薄で殆ど振はず、新年の初刷位には出るが、先づ昔斷の日に化粧品廣告が、新聞に定期的に廣告すると云ふやうなことは殆どなかつたと言つてよからう。

日清戰爭前の廣告宣傳

それなら、當時の宣傳法はと言ふと、多くは簡單な紙の印刷看板、それも賣藥等に比べると、化粧品は極く微々たるものであつた。

日清戰爭前の廣告宣傳

三六看板、などと言つても、今日何のことか知らない人が多からうと思ふが、三尺に六尺の金の板の看板それを三六看板といつた。その看板で廣告をしたものに齒磨ではダイヤモンド、大博士、それから平尾さん

る。會期は、櫻咲く三月二十六日から五月二十四日までの六十日間、會場敷地には國際色登かな同市山下公園及びその附近一帶の地約四萬坪を充て、その總數算百萬圓。三棟から成る本館の外に、開港と貿易の歴史館、横濱復興館、海洋交通館、貿易通商館、近代科學館、婦人及び子供館、觀光館、海外發展館、蠶絲織物館、海上館、道府縣各方面の特設館等があり、既に正式に同博に對する商工省後援の指令も下り、横濱市では全力を傾注してその盛大を期しつゝあるが、東京側も頗る乗り氣なものである。當然東京特設館の設置を見てもその豫想される。わが組合に對しては主催者横濱市並びに同市同業團體より後援依頼があつたので、前例により出品同盟會を組織したが、その會員は如左。

- 東京市立女子師範學校
- 東京市立女子商業學校
- 東京市立女子工業學校
- 東京市立女子美術學校
- 東京市立女子音樂學校
- 東京市立女子體育學校
- 東京市立女子職業學校
- 東京市立女子師範學校
- 東京市立女子商業學校
- 東京市立女子工業學校
- 東京市立女子美術學校
- 東京市立女子音樂學校
- 東京市立女子體育學校
- 東京市立女子職業學校

ライオンチツヒ見本市から招待状

一千九百三十四年の春を彩る世界的序曲と言はれるライオンチツヒ國際見本市が、わが東京小間物化粧品卸商同業組合に對し、その會期——三月四日から十一日まで——に先立ち、左の招待状が寄せられた。

ライオンチツヒ見本市が始まつたのは、少くとも過去十三世紀のことだ、或いはもつとつと以前であるかも知れせん。それから年々時代を遷るに從つて、各國の商取引に際し、名譽を増しつゝあるものであります。假令戰時の場合にも、經濟恐慌の場合に於いてきへもさうなものであります。かうして長年月に亘つてライオンチツヒ見本市の重要性と目的とは、全く國際的のものとなつて來て居るのであります。年に二回、三月の始めと八月の終りに、二十五ヶ國より集る七千七人の出品人と七十六ヶ國から集る十三萬の來訪者を、名譽ある顧客として歓迎するのであります。貴國に於いては、さうでありませうが、もしこの海外に向つて商賣をしやうとする人があるならば、その人は又家路の消費用として、或る若干の外國品を買はねばならぬことは、自明の真理としてよく知られて居ることでもあります。如何なる種類の商賣と雖も相互の交換によるものであります。この三月四日から十一日まで開催される一千九百三十四年ライオンチツヒ國際見本市の商品陳列の用意は、すでに二十五ヶ國の出品人によつて作られてあります。友年の秋の見本市は非常に成功でありまして、又、これに全世界の顧客に對する招待状を發することを喜んで居る次第であります。ライオンチツヒに來つて、膨大な國際的商取引の便益を得られた。何かの機會に、貴下がライオンチツヒの世界見本市を訪ねるべきであると思はれたならば、貴下の土地の代表的名譽官又は貴國に手紙を送つて、それによつて「訪問の注意」の冊子を買上るか貴下は知識を備へられた。ライオンチツヒを一度訪れた顧客は商業的見地から、その價值を認めて來訪を繰り返へします。公認ライオンチツヒ大使 Dr. Reinhard Kahler.

の小町水などが、今も尙私どもの目に残つて居る。序に申上げて置くが、當時の看板としては三六看板の外に柱懸看板、額看板、此の三つがよく用ひられた。

日清戰爭後・日露戰爭前

處が、次の時代、即ち日清戰爭後に入るや、急に三六看板旺盛時代を現出するに至つた。三六看板の外には彫り看板なども出て來た。此の彫り看板としては大山看板店などが有名であつた。大山庄兵衛と言つて京橋にいたり、小傳馬町にもゐたことがあり、江戸つ子で面白い男であつた。字を彫つてそれにペンキを塗る、當今では別に珍らしい看板ではない。それから切抜看板、鐵道の沿線などに立つてゐるあれであるが、その頃天下を風靡した有名な巻煙草のヒーロー、サンライズなどの間に介在して化粧品廣告も、ぼつ／＼現はれて來た。

倍、看板以外の廣告としては、新聞廣告も此の期間に著しい發達を遂げて來たことは、言ふまでもない。今日の電車廣告、あれなども鐵道馬車時代からあつたのだから、古いには古い。また勸告の宣傳法としてはヒロメ屋式樂隊なども盛んに出始め、西條だの亡くなつた歌舞伎屋の高阪老人など、業界にも關係の深い街頭宣傳家が現はれた。初荷の先途には必ずつけたもので、チン／＼／／と雖しながら市中を練り歩いて大いに人氣を博したものであつた。大阪にも栗丸、芋助など、言ふ有名なチンドン屋があつたが、此の街頭宣傳と業界品との關係などを調べて見たら、きつと面白い材料があると思ふ。

此の頃の日報新聞としては、陸羯南の名文で天下を鳴らした日本新聞、黒岩操の萬朝報をはじめ、都、中央、國民、時事等が非常の勢力があつたもので、今日から見ると全く隔世の感がある。大阪では大阪朝日が優勢で、大毎が必死となつてそれに追及しようとしてゐる時代であつた。

廣告宣傳

その頃、芝居を利用したものは引幕廣告があつた。大抵は聯合廣告で雪月花に現はしたり、段だら築にしたりしたもので、流行る芝居になると、それが十枚も十五枚もの幕があつて一晩には引切れなかつた風であつた。さすがに歌舞伎座には少なかつたが、二流の劇場、明治、新富、宮戸座邊が、殊に利用されたやうだつた。

日露戦争後の第三期時代

眞に各種の廣告設備なり、機構なりが、急激に發達し出したのは、何と言つてもそれは日露戦争後のことである。それは獨り廣告界のみならず、戦後文運大いに興り、國威の發揚國力の伸張ともに百般の文化的施設が一時に備はるに至つたので、新聞もまた通信機關の完備に伴ひ、その發達は非常に目覚ましいものがあつた。

隨つて新聞經營の上にも變化を齎したことは言ふまでもない。就中著しい現はれとしては、従来の如く單に購讀料のみを以てしては、その經濟が立たなくなつたので勢ひ廣告面を擴張して、その財源を廣告料に求めることになつて來た。その爲めに新聞社としては廣告の誘致に努め、一方また商品そのものにも力が出來て來たので、自然各種商品の廣告が、新聞に現はれるやうになり、廣告媒體としての新聞の宣傳が大いに認められるやうになつたため、新聞廣告以外の他の廣告方法は一切補助機關たるの位置に轉落した。

而して新聞に一月月いくらと言ふ風に、定量の契約廣告も此の頃から現はれて來た例へば都新聞の一面の下を利用して現はれた佐々木のローヤル水の如きは即ちそれである、毎月同じ日に同じ廣告を定期的に載せるといふ傾向が、はつきりと現はれて來た。量としては少なかつたが、定期廣告の先驅をなしたものであつた。

定期廣告の大量契約をしたものは、丸見屋であつた。

仕掛けたものとしては、矢張り丸見屋が早く、それが廣告の補助機關としてそれから用ひらるゝに至つた。

新聞廣告の處で言ひ渡らしたのが、明治時代も初期の新聞は七段制といふ、今から見ると殆ど四段活字みたいな感じのする大きな活字を用ひたもので、それで一頁の廣告行數が約六百行。今日の十三段制二千五百行に比べると、約三分の一強にしか當らなかつたものである。その頃を顧みると全く隔世の感に堪へない。

最後に一言したいのは、廣告文案家のことであるが今日でこそ英才雲の如く、圖案文案、何れにかけてもそれ／＼の専門家に不自由しないが、昔は廣告文案といへば先づ戯作者の畑のものであつた。古い時代のことは兎も角、明治の初期から中葉へかけて廣告製作者として文名を馳せたものに西森武城翁があつた。東京高報初代の主筆としてその創業に功勞があつた人で骨皮道人と言へば、その頃知らない人はない位であつた以上、記憶に残るまゝをお話したので、或ひは多少記憶の誤りもないとも限らないが、それは次の機會に加へたいと思ふ。(續)

廣告界を賑はした業界品

- 大博士 水 花王散 (丸黄散)
- 伊勢吉黄散 小瓶 一等散 白光散 三
- 三角齒磨土 目 めざまし 萬 金 はみへ 鹽
- 赤箱煉齒磨 (子ニエノ先祖) 伊勢吉 へび薬 齒磨
- 鹿 印 シカゴキやげ象印 モアール
- グアイヤモンド ばら つばめ
- スマイル齒磨丹 百齒磨磨 日の丸齒磨丸
- ライオン齒磨 クラブ ミツロ
- クリーン 仁 丹
- 石 鹼
- 三熊石鹼 花王石鹼 蜂室石鹼 木

廣告 宣傳

明治四十二年頃、その頃丸見屋で扱つて居た御園化粧品の廣告を一ヶ月三十段出すといふ約束が出来た。これが恐らく定期の大量廣告の濫觴をなしたものかも知れない。最初は東京では都新聞、地方では名古屋新聞九州日報の三社であつたが、後には引續いて全國的に擴めた。新聞の方はさう言ふ状態だつたが、此の頃から電氣の光りが廣告の領域に入るに及んで重大な影響を廣告界に與へるに至つた。例のイルミネーション即ちそれである。これの一番早かつたのは、大阪ではツバメ齒磨、大學白粉等で有名であつた矢野芳香園であつた。東京ではそれより或ひは少し後になるかも知れないが、ライオン齒磨が須田町に電氣應用の廣告看板を出した万惣の屋上全部を利用して設けられたもので、太陽の出る景色を見せたりしたものであつた。

今日のネオンサインの藝術的な照明法から見ると、全く見事に類したものでしかないが、夏目漱石の『虞美人草』にも、博覽會のイルミネーションを見物に行くなど、書いてある位であるから、當時としては何の位珍らしがられたかは判るであらうがこれが日本に於ける照明廣告の最初であらう。

それからまた博覽會の出品などに新らしい趣向の試みられるやうになつたのも此の頃のことである。丁度明治三十六年、大阪に第五回内國勸業博覽會が開催せられた時東京の組合から共同出品をしたのが、業界としては共同出品の初めであらう。時の組長の三輪善兵衛氏や平尾登平氏等が出張して大いに馳騁されたものであつた。

今日廣告のタイプアップが、如何にも新らしい形式のやうに言はれてゐるけれども、化粧品と出版物との關係は、随分昔からのものでなか／＼古い歴史を有つて居る。それだけの研究でも、相當骨の折れることだらうと思ふ。

例の『仙本香』の廣告などは、昔から草双紙を賑は

- 無水石鹼 磨 アルボリス ミツロ石鹼
- 都の花石鹼 村 驚石鹼 (強力 磨粉の初) 西見
- 高評石鹼 小林 パーシオン石鹼 井
- ラッヂ石鹼 ローヤル石鹼 ホーサン石鹼 磨
- 二王石鹼 ウヅラ、ウヅマキ石鹼 鶴の玉子石鹼
- ライオン洗石鹼 シスター シーザー
- ホーム浮石鹼 磨
- 洗 粉
- 樂屋あらび粉 磨 磨 ミルク洗粉 クラブ洗粉
- カメリヤ洗粉 ケイラン洗粉 乙女肌
- あせ知らず
- 化粧水
- 小町水 キレイ水 帝國堂 キメチンキ
- 美顏水 二八水 ローヤル水
- テキメン水 ケンソ液 ホーカイ液
- 白 粉
- 水晶おしろい 御園白粉 白百合白粉 井出製
- 都の花白粉 たつた白粉 仁屋堂 やまと錦
- 美顏白粉 スミレ白粉 赤門白粉
- 大學白粉 ホワイトロース 山
- 香水、香油
- 百日香水 花王 井筒油 ランラン香油
- パール煉香油 ナエリーオイル
- 人造麝香
- トキノール 風野 麝香水 仁屋堂 麝香水 金鶴
- サヤ香水 蜂香水 ムスク香水 磨

昭和九年の業

界宣傳廣告界

この年は内外ともに多事であつた、新興滿洲國に對する承認、國際聯盟脫退、三陸の大津嘯、岡田非常時内閣の成立、關西地方大風水害等は、その主なるものであるが、業界もこれ等の所謂非常時に刺戟されてか、

したもので、川柳にも「仙本香やたら顔出す本のはし」とあるやうに、草双紙には「仙本香の廣告が殆どつきものゝやうな觀を呈してゐた。仙本といふのは三代目瀧川路考の俳名であつたが、それを取つて白粉の名をつけたものである。兎に角さう言つた具合に藝人と化粧品との關係は長い歴史を有つて來て居る。が然し目立つて來たのは、何と言つても御園白粉が俳優の藝談を載せたのが、廣告界に於けるその最たるもので明治、大正、昭和に於けるタイプ史を飾るものとして忘れてはならない。

俳優に對して角力を使つたのが、ライオン齒磨本舖である。一方を優美を現はすものとすれば、これは剛健の象徴として見る可きもので、その頃は常陸山、梅ヶ谷の兩雄が相對して相撲の全盛時代、その角力とがつちり手を握つて業界に宣傳陣を布いたライオンであつた。最近ではそれが文士や武人にも及び、いろ／＼と宣傳の具に使ひ出したことは、敢て説明するまでもあるまい。

明治時代に勢力があつた宮城梅葉亭の樂屋づかひ名類洗粉なども俳優を用ひたといふ點では、可成り古いものである。それから化粧水ではキレイ水、名古屋キメチンキなども、その頃の廣告に現はれた有名なものゝ一つであつた。

次にこれは直接廣告とは言へないが、お得意を旅行に招待するといふ、所謂清遊は、これも化粧品界が生んだ宣傳方法の一つで、これが今は化粧品界を風靡して酒、醬油界へ移植したのは、記憶すべきであらう。何れにせよ、化粧品の廣告は、遠くない過去では常に廣告界の尖端を切つたもので、他の商品廣告が、何時もこれに追従して來たのは廣告界に關心を持つものゝ、洽く知る處であらう。

抽籤特賣はホーサン石鹼の松澤常吉氏が、矢張りその頃、初めてその先鞭をつけたものであり、觀劇も大

可成りの活況を呈した。殊に滿洲に對する各商品の進出振りは目覚ましいものがある。

宣傳廣告界に就いて見るに此の年程一般消費者に對する催物の多かつたことは曾つて無かつたと思ふ。

空箱による映畫、觀劇への招待、特殊の廣告劇の巡回開催、宣傳映畫の映寫、廣告祭、美容祭の催し、映畫女優のサインデー、タイボンに依る見本進呈、懸賞標語募集、名稱賽入れ等々、殆んど毎日の新聞廣告に何かしら現はれて居るといふ盛んな状態であつた。

段々これが盛となるに従つて各本舖はその催物や景品を良しやうとして劇的な競争を行ひ、よくもあんな費用が出せるものだと考へさせられるやうなものも無いではなかつたが、一般の愛用者側からは可成り歡迎されたやうであつた。たゞこれがある程度迄進んで行くと、普通のことでは満足しなくなることになるし特別のことをやれば採算上の不利が生じる譯で、その限界迄は何れにありやといふことは今後に於いても可成り研究を要し、且つ興味ある問題である。

商品を買はせる爲の廣告手段として空箱、包紙等を送らせることは一番簡單で効果のあることであり、その爲に素晴らしく賣上を増した商品は多い。大阪のある小賣店等では、中身と空箱とを別々に販賣したりするものが出來たりして問題となつたが、兎に角、この方法は、タイボン法ともはまだまだ續くと思はれる。今その主なるものを擧げて見ても、二月から四月にかけて行つたライオン齒磨の二十萬人大懸賞は、驚くべし締切迄に百六十二萬三千六百人といい莫大な懸賞者を得て居るし、七月の花王シャンプー十萬人懸賞は五十萬人の懸賞者、三月ヘチマコロン十萬人懸賞は又數倍の懸賞があり、業界の友人仲間でも「よくもこんなに集まるものですか」と驚く程の勢ひであつた。その他、催物招待では花王パールのチャップリン映畫へ一萬人招待、ミツロ、サーワの三里塚招待、クラ

ブ齒磨の映畫招待、仁丹ハミガキ、ウチナの各種招待會、レイトの國技館二萬人招待、御園、ピタオール等の各催物大會、ライオン納涼トキキ大會、クラブ齒磨納涼大會、ラブミーの活多摩川撮影所見學等各種の催が次々へと發表された。

従つて一般愛用者の方でも、この次には何かあるだらうと思つて催物を持つて居るものが多く、爲に一時興行界でも可成り影響があるやうに云はれたが、結局その爲にフアンの数をも増すことになり、興行界は却つて活氣を呈したと云ふ結果になつて居る。

タイアツプ

このために興行映畫界と、廣告商品とのタイアツプが盛となり、遂にはその弊害論までも持出される始末であつたが、大勢の趨く處、中々止みさうにも無くこれも今後飽和點に達する迄は續くものと思はれる。良い意味でのタイアツプは永久に續き、そして益々發展することを望んで居る。たゞ下らぬ政策的な、何等相關性のないやうなもの結合は、意味なく且つ浪費であると思ふ。

新聞紙面を賑したタイアツプの大廣告は、花王の「街の灯」さくら音頭」クラブの「月よりの使者」外數種ミツワの三里塚招待、ヘチマコロン海とレビユウ、マスターの松竹少女歌劇との常時的タイアツプ等であつた。

クラブ練磨磨の日本野球五千名招待、千代田ボマードのベブルースサイン入バット進呈と野球招待等は時宜に適したものに可成り人氣があつた。殊に千代田の新聞廣告は大小とり交ぜたスペースを使つてニュースを取り入れた矢張り早の巧みなものであつた。御園の幸福の五懸賞は、セブンよりも更に當籤率の多い新味あるものとして可成りの反響あり、仁丹ハミガキはこの本舖獨特の漫畫式小廣告で注目を惹いた。ピタオールは新聞欄型の廣告にこの商品の獨自性を強調

して若人向の國策宣傳を使用してをり、オリヂナル、安福石の全額拂戻も思ひ切つた試みで、相變らず一頁巨額主筆を切つて居る。

廣告文化運動としては六月四日——（この日はムシに通ずる故に選定されたもの）——に於けるムシ齒磨防デーに於けるライオン齒磨の活動で、商品廣告といふよりも寧ろ一つの社會教化運動とも云ふべきもので、社會一般からも、學校からも大いに歓迎されて居る。ムシ齒磨防展覽會、講演會、學童齒磨教練、ボスター全國小學校配布等、素晴らしく大掛りなものである。芝公園に集る全市の學童數萬人。これが一齊に齒磨を磨く教練は中々の壯觀である、今年は丁度その第七年目であつた。

クラブ齒磨でもムシ齒磨防デー就學兒童獎勵會贈呈並びに東京大阪に於ける愛用者招待のムシ齒磨防講演展覽會等をしてこれに相呼應し仁丹ハミガキその他でも、同じ目的に向つてそれ／＼の教化運動を行つて居る。

これは實に國民保健の上から見て非常によいことであつて、單に商品を賣らんが爲めばかりの催しが多い際に、社會を益し商品の正しい使ひ方、運び方を教へるといふことは廣告の本道であり、最も喜ばしいことであるに違ひない。凡ての商品にこの種の運動が擴大されるならば、廣告の持つ社會教化の使命は益々重大となつて來るのである。

花王では健康週間に於いて市内各所に手洗場所を寄贈、都下の各美容師、婦人團體等の應援を得て「先づ手をキレイに」の立看板を出して手洗サービスを行ひ又、本所深川等の貧しい人々の子供さん達の頭髪を無料で洗つてやる等の清淨運動に着々歩を進めて居る。

全國巡回の催しもの

又花王石鹼社長の寄附金を基礎に作られた家事科學研究所では、谷孫六氏を所長として婦人の生活向

上座率増進をモットーに東京名古屋を始め全国各地に講演演説と映畫の巡回を行ひ、無條件で婦人を招待して洗濯と美容の實際知識の普及に努めた。

資生堂では一ヶ年間特別に養生したミス・資生堂の美しい娘さん達七人から成る近代美容劇五幕を東京大阪名古屋の各デパート、その他全國各都市に巡回公開して好評を博した。

ラブミーの美粧祭も可成り大がかりなもので、渋谷のり子の獨唱、木下朴兒の漫談、その他數種デイトリツヒの映畫等、豊富な番組で東北から九州迄、全日本各地に満員の盛況を呈した。

レイトは日本劇場のレビユウ團に映畫を加へて愛用者招待に各地を巡回ウチナ本舖では全國各地に亘り招待會を行ひ、その他の本舖も續々と地方的の催物に力を入れ始めて居る。

ライオンは古く演藝團を組織して各地を大々的に巡回して歩いたことがあつた。クラブでも各地でよく映畫會を開いて居る。

かくの如く、各本舖が競つて地方的に進出するやうになつたのは、一つはあまりに愛用者率の催しが、東京、大阪といふやうな大都市にばかり集中して、地方の人々はたゞその廣告だけを見て羨しがつてゐるといふやうな不公平から、その要求が盛んになつて來たこと、又一方には、地方的に新聞紙のみの力ばかりに頼らず、むしろこれと協力して實質的な催しをすることの有効であるといふ機運が熟して來たこと、販賣部と廣告部とのより密接なる連絡等が、主なる原因でその結果は直ちに販賣に反響する爲に、今後も益々發達することと思はれる。

滿洲進出

滿洲に對する最近日本商品の進出振りは素晴らしいものである。以前から仁丹、味の素等は盛んに宣傳されて商品も廣く賣れて居たが、業界ではレイトクレ

ムが早くから知られ、花王、ライオン、クラブ等の商品も漸次需要を増加する程度であつたが、滿洲國獨立續いて承認の後から、頗る活氣を呈して、宣傳も大々的に行はれるやうになつた。花王の宣傳隊の活動を始め、各本舖の宣傳廣告も目立つて活況を呈して來た點がある。この新興國の大きな販賣領域に對する販賣戰、廣告戰は益々熾烈となるであらう。

愛國運動

一九三六年を目標して時あたかも非常時、國をあげて軍國氣分になつて居る十一月、大日本飛行少年團主催で海軍飛行機國兒童號を献納するといふ一頁廣告は、可成りのセンセーションを呼んだ。これはライオン齒磨の使用済空テューブを集めて、之れを以て飛行機購入に當てやうと云ふので、ライオン本舖協賛であるが、空テューブの受箱を全國各小學校に置くのであるから巧い方法である。

嘗つて森永製菓が負傷戦士を勇ませせうと云ふ運動で、この種の愛國計劃を行つたことがある。

クラブ齒磨ではその商標に因んで先年は早川雪洲の楠公父子の映畫を巡回公開したが、今度は大楠公といふ映畫を作つて忠君の思想を普及せしめやうとして居る。又ステルマン本舖が各百貨店に於いて行つた愛國セール即ち實上純益を陸海軍へ献納するといふ運動も新しい企てであつた。

宣傳映畫

純然たる宣傳映畫は本當によいものを作ることが中々難かしいこと、費用が相當にかゝること等でその進歩も遅々として居るが、ライオンの九年度新作「あなたはどこら」は、春夏秋冬の四部から成る輕いユーモア物語で、業界最初の廣告トキキであるといふ。他の商品では、ホロ酔ひ人生、純情の都等、常設館にかゝる程度のものでドシドシ出て居るのに業界のものには全くない。しかしニュースや教育物としてはライオ

ンの齒磨教練、花王の石鹼の出来る迄、お洗濯の仕方其他數種のものがあるが、もつと映畫界は今後も利用されるべきである。P.C.L.社、映畫製作所、セカイフィルム社等、競つて製作に精進して居るやうであるが、その發展を望んで止まない。

廣告の訴求

廣告面から見たその内容に就いて云ふと、あまりその種類が多くて一々之れをあげることは出来ないが、一般的に見て可成り進歩して來たと思ふ。

しかし相變らず美人ばかりである。婦人を相手とする化粧品廣告であるから、その對象たる美人を使ふことは勿論結構だが、中には随分マンネリズムに陥つたものも見受けられた。たゞ美人の挿畫を入れて、漫然と之れに商品を配し感傷的な文句や、どの商品にでも置きかへられるやうな文案を入れたものや、徒らに断定的に「私の品に限る」と云つてゐるものや、必要以上の大スペースを使つてゐるもの等もまだ／＼少くないが、それにしても、昨年、一昨年あたりのストラップを出して比較して見ると、はるかに美しく、覗ひ方もハッキリして來て居る。

競争が劇しくなり、不況が深刻になつて來ると、必然的に悪いものが残されて、良いものが盛になつて來るといふことも考へられるが、廣告主も、文案家も、販賣係も廣告に對する理解が増して來た結果だと思ふ。レイアウト、組合せ等の巧妙になつたことは非常なものであるが、あまりタイアツプものが多かつた爲にその方の大廣告が多く、純然たる商品廣告としては割合に大物が少かつたやうに思ふ。

併しその中でも特に目立つたものは、矢張りライオンのムシ齒磨防デーに於ける「齒を磨け」子供大會の「子供の時から」非常時に際しての「御園を守れ」等守れ」等の教育運動、クラブのムシ齒磨防デー、巡回映畫のサーピス廣告、これ等はその後立派な奉仕

運動が伴つて居るばかりではなく、廣告面に於いて人々に「良いことを教へる」といふ廣告本來の使命を含んで居り、社會の爲にも有益なもので立派な行き方である。

婦人雜誌の廣告

花王は、石鹼の選び方、正しい入浴法、風邪を引かぬ法でありながら、いつも忘れ勝ちなことに對する警告と、教育を整然たる計劃の下に行つて居るし、丸見屋も亦ミツワ文庫を復活して、化粧衛生に對する智識の普及に努めて居る。これ等の大本舖が貴重な紙面を費して廣告教化運動を競つてゐることは、やがて全廣告界に一大革命を齎らすものとして、二三年の將來は最も興味深いものであると思ふ。

二大主力たる主婦之友、婦人俱樂部に於ける、ウチナ、マスター、ヘチマの三つ巴の戦は目醒ましいものであつた。ヘチマ、ウチナがそれ／＼二誌の裏表紙を占據してゐるに對して、マスターは獨特のセックス・アピールをねらつた明朗な男女漫畫を用ひて、いづれも内部には目次二色挿入等十數個の紙面を用ひて互ひに應戦してゐる。その他の諸婦人雜誌にもこの三者は素晴らしい進出をして居るが「オール女性」といふ廣告主が作つた無料配布共同誌にも可成りの力を入れて居る。内容的に見て昨年より目立つた變化は認められるが、やはりこの種の階級層をこの視ひでシツカリ掴んで居るのであらう。昭和十年の轉回振りが期待される。

王、レイト等は相變らず大所の賞録を見せて居るが、カガシ、白美液、モダンシャンプー、等の躍進振りも見事である。

その他、花王がキング、文藝春秋、中央公論等の裏表紙を占めて居ることは、大衆インテリ兩方面の視ひ方として面白と思ふ。婦人雜誌利用の大きなりな愛用者カード懸賞も、莫大な懸賞者があつた。

その他

特に華々しいスタートを切つたものは、三月に於ける花王の洗濯石鹼「ビーズ」五月に於けるライオン歯磨の潤製新發賣であつたらう。何れも新聞雑誌ホスタ、パンフレット、マネキン等あらゆる媒体を總動員して、新發賣の特賣を以て大量出荷を開始した。

デパートに於ける化粧品宣傳は殆んど休みななく次々とは行はれ、むしろ常設的になつて居ると云つても良い位で、その賣子としてのマネキンもそれ／＼躍張り云ふか、得意がほど定まり、三越は誰々、白木屋は誰々と云ふ風になり、昔の裝飾的存在から實用的の役目を果すやうな傾向になつて來てゐる。

「宣傳賣出し」といふ言葉の感じも、従來は特賣とか景品付とか、誇大とか云ふやうなことをすぐ聯想せしめたものだが、現在では「紹介賣出し」、「説明販賣」といふ風になり、お客の方がよく瞭解して來たと、デパート賣物の専門家は語つてゐる。

大阪のデパート、小賣店等ではお客の間はない前に勇敢に商品を始める販賣法が盛んに行はれてゐるが、この年の始め頃からポツポツこの傾向が東京の各所にも現はれ始めて、販賣員即ち宣傳員の二役を努めるものが多くなつて來た。昔に小賣店に限らず、製造本館の販賣員にしても、催物、廣告行列看板、チラシ配布進行ふやうになり、益々廣告と販賣との接近を見るやうになつて來た。

パンフレットに就いては、各本館とも、それ／＼そ

の商品に關し、又事業等に關して種々の有益なるものを發行し配布してゐるが、月刊としては資生堂グラフィック等は美しいものゝ一つであらう。

商品賣物見本配布はそれが實戰であるだけ効果も多く、花王のビーズ、シャンプー、ライオンクラブの各齒磨、サーワ、レイト、御園の各白粉、ウテナ、マスターのクリームメスマボマード等の各本館は益々盛んに之れを利用してゐるが、モンココ洗粉は、大量廣告に依らずして之れに可成りの努力を拂つたやうである。井筒ボマードはタバコ挿入廣告の最初の利用者であつた。

この年の始め、日比谷に落成した東京寶塚劇場は、小林一三氏獨特の經營振りで大松竹に對抗したが、その東京一を誇る七十尺の大舞臺には、絢爛目を奪ふクラブ本館寄贈の大帳帳が懸けられた。續いて御園の帳帳が見事に出来上つた。廣い廊下には各種のショウケース、化粧室等があり、之れにも業界から多數出品され博覽會とは又、異つた劇場内展覧場の先駆けがつけられた。

その他、多事なる業界の宣傳廣告については、廣告紙面、催物發表等の外面的でない方面に於いて、各種の計劃が行はれ、秘術が交錯して、宣傳戦が展開してゐるのであるが、その内部的な詳細に至つては到底知る由もない。

此處にはたゞ求めらるゝまゝ目に見、耳に聞いただけの概略を記述してその方向を眺むのみである。素より淺學寡聞、足らざるもの多々ある點に就いては、何卒御諒願ひ度と思ふ。(九十一・十五・水田利夫)

雜誌廣告に於ける化粧品の傾向

一、化粧品廣告の傾向

過去一ケ年間に於ける婦人雜誌に現はれた化粧品廣告の傾向を見るに、諸外國雜誌の影響を受けてか、グラフィック印刷及び二色刷オフセット廣告が非常に殖えたことに氣がつく。

この傾向は、勿論、兩三年前から見られるところではあるが、こゝ一ケ年間に於いて殊の顯著のやうである。

その理由は、小規模經營の化粧品廣告主が、新聞廣告を利用することなくして、たゞ婦人雜誌のみで宣傳しやうといふ傾向が濃厚になるにつれ、一流化粧品の廣告主が、これらの小廣告主と互して、普通貨を使用するを潔としなかつた結果であると思ふことが出来る。

新聞廣告と違つて、雜誌廣告の場合にあつては、小廣告主にとつても全一頁廣告の掲載は、頗る容易である。そこに、右のやうな結果を招來したのである。

と同時に、グラフィック印刷といふものが、一般讀者に於ける高尚な印刷のやうな印象を與へてゐることも、それが相當高價——高價には相違ない、一流婦人雜誌の一頁グラフィック廣告は八百七十八圓から九百圓する一であると思はれてゐるところから、一流廣告主はその商品の權威のために之れを使用し始めたのであらう又、その印刷面の美くしいことも、この種廣告の需要を刺激した理由の一つであつて、化粧品廣告が、挿畫に美人寫眞を配することの多い點から見て、此の最後

新聞廣告に於ける化粧品の地位

化粧品廣告がわが國新聞廣告界に於いて重要な地位を占めてゐることは、今更暇を要しない所であつて、新聞廣告中大量廣告主が多いのにも明かである。殊に歐州大戰後に於けるその活躍伸張には實に著しきものがある。今日日本電報通信社調査に據る昭和八年度に於ける化粧品廣告の掲載行數を見ると左の如くである。

- 一、東京大阪十五新聞總行數 六、一六、七〇六
- 二、地方九十六新聞總行數 一、三、八、四〇三
- 三、全國百十新聞總行數 三、三、〇〇〇
- 四、化粧品廣告 一、〇、〇〇〇

即ち東京大阪新聞に於いては總行數の一割四分一厘、地方九十六新聞に於いては一割五分二厘、全國百十新聞に於いては一割四分九厘で日本新聞廣告總行數の約一割五分を占めてゐる。之れを新聞廣告料總計壹億圓と見れば一ケ年實に千五百萬圓の投資を見つゝある譯である。而してこの化粧品廣告は東京新聞に於いては藥品、圖書廣告に次いで第三位にあるが、東京を除く全國新聞に於いては藥品に次いで第二位を占めてゐるのである。實に昭和八年度に於いては東京大阪に於ける廣告は前年即ち昭和七年度に比較すれば、何れも八十萬行の増加を示してゐるが、一方地方新聞に於いては約二百萬行以上の減少を來たしてゐる。これは最近に於ける廣告主が都會紙集中主義を採つた一證左とも謂へるが、又當時の業界に於ける景氣如何をも物語

の理由はグラフィック廣告増加の相當重要な要素であらう。

二、特筆すべき事項

過去一ケ年間に於ける婦人雜誌廣告中、化粧品乃至之れに類する商品の廣告について、特に從來と異つた點を擧げるならば、廣告が著しく口繪化して來たこととあり、口繪と廣告との區分が甚しく不分明になつて來た點である。例へば「婦人俱樂部」昭和九年五月號の口繪「十一大畫伯傑作集」初頁の新家進曲の如きは、その最も極端なもので、本目次にも堂々掲げられ、その第一頁にはその爲に特別の二色刷原までついでゐるが、これは一面廣告の進歩であり、又一面廣告の墮落でもある。

此の傾向も、すでに前年あたりからあつた處のものであるが、此の一ケ年間に於いて、之れが、所謂口繪と屢々混淆して眞に現はれて來るやうになつた。口繪であり、見方によつては廣告であるといふやうな、一種流行のタイプアップ的のものが時々あつて、今や、讀者は、廣告とは、さういふものといふ觀念の下に置かれてゐるかのやうである。

婦人雜誌が相互に口繪の多きを競ひ、冊子の厚からむことを争ふやうになつた結果が、かゝる廣告を生み出すに至つたのである。

慶すべきか、憂ふべきか、私は之れを知らないものであるが、兎もあれ、斯くして婦人雜誌の廣告、頗る殷盛を極めてゐて、主編之友の如きは、最近、雜誌組合の規約改正により、廣告收容口數の制限を實行してゐますので、到底御申込廣告の全部を收容し切れず、現に十一月號では、御申込中二十一頁半だけは不本意ながらお断りするの止むなきに至りました。それにまた雜誌界第一の發行部數を擁してゐる關係上、お申込みが遅れると印刷上にも困難を來し、遺憾な點が出来ませんとも限りませんから、右の事情御諒察の上、今迄以上、二日でも三

つてゐる。勿論地方新聞に於いても増加を示すものあるは云ふまでもない。昭和九年に入り九月までの電通統計によると、東京を初め全國三十四新聞の化粧品廣告は、千四百八十三萬五千行であつて總行數の一割六分を占め、その伸張の度は著しきものがある。而して注意すべきは、化粧品廣告が最近の傾向としては、所謂映畫とタイプアップ廣告の著しく増加したことである。勿論化粧品以外の商品に於いてもこの傾向はあるが、商品の性質上他に比しては化粧品に於いて殊に著しきものがある。同時に廣告原稿の形式も従來の平面的靜的表現より動的となり、商品の性質を懸命に説明するより、寧ろ單的に自分の廣告に惹きつけやうとする傾向が多い、即ち深刻なる迫力の訴求を要望したものである。

〔東京日日新聞廣告部長・島田昇平〕

日でも早めにして、御申込み下さいますやう特にお願ひ申し上げます。

といふ通知を一般廣告主に發してゐるほどであつた又、最近の婦人雜誌廣告の一特徴として見出すことの出来ないのは、掲載廣告に關して、廣告代理業なり、雜誌發行者なりが、讀者に對して、各種の懸賞を附する試みが行はれて来たことである。例へば、昭和九年六月號「婦女界」の七次商品愛用者優待の四頁グラビヤ聯合懸賞廣告が代理業の手によつて試みられた如き、或ひは「主婦之友」昭和八年十一月號に發表せられた「フランス人形贈呈」懸賞付廣告の如きが、その良き實例である。

三、化粧品廣告の特質

ひとり雜誌に限らず、新聞に於いても化粧品廣告の大部分は所謂意匠廣告であつて、記事體のもの、多少の藥品の化粧品のものに見るに過ぎない。而して、殆んどその全部が「ツキが良い」「モチが良い」「スツキリする」「爽やか」「魅力」「近代的」「明朗」「美しい」等々のおさまり文句を一步も出ないところの文案を美女の寫眞又は繪畫に配したもので、僅かに或る化粧品が常に異性を配してセツクス・アピールの味を見せて多少の異色を示してゐるが、更に、一步進んで「何故？」と反問したものは少い。

これは、現代に於ける化粧品廣告の特質の最も著しい處のものであつて、これでも賣れるといふのが今日の化粧品界ならば、又何をか言はむだが、そこにまだ「考ふべき幾多のものがあるであらう。

一流婦人雜誌を披いて、廣告目次を見るならば、化粧品廣告と、藥品及諸療法の廣告とで全廣告の半數を占めてゐるのを知るが、化粧品廣告と藥品及諸療法の廣告とが著しく違ふ點は、その廣告面の構成の上のみではない、藥品及療法の諸廣告が、それ／＼小ぢんまりと一頁乃至は二頁を使用してゐるのに反して、化粧品

品廣告は實に一冊の雜誌のあらら、こちらに數頁にも亘る同じ種類の廣告を掲げてゐるといふことである。尤もこれは同じ化粧品にも粉白粉あり、水白粉あり、煉白粉あり、クリームあり、更にそれ／＼何々と分かれてゐるといふ處からであらうが、かくして、同一本誌の廣告が一雑誌の十數ヶ所にも掲げられるに到るのである。それも所謂新興化粧品に多くの例を見る

ところであつて、常に最も多きはウテナ、マスター及び稍下つてヘチマであり、クラブ、美顔等は之れに次ぐかのやうである。

マスターの如きは、先づその雑誌廣告政策の持續によつて遂に成功したと云はれてゐるほどであり、化粧品廣告主中には、新聞その他の廣告を二義的のものとし、先づ一流婦人雜誌への連續廣告によつて、業界に進出し、以つてマスターその他に倣はむとするものが集出したが、そのために却つて失敗したものも相當にあるであらう。例へば××××の如きものが、その一例で、二頁見開きの雑誌廣告を何ヶ月か連續してスタートし、今日尚一頁乃至半頁の雑誌廣告は繼續してゐるが、一方雑誌廣告のみでは思ふやうに行かぬところから利用し始めた新聞廣告料の支拂ひに停滯を來してゐる。等々、この旺盛なる婦人雑誌廣告の盛には成功するもの、落伍するものも又多いのであつて、此の過去一ヶ年を通じて、やはり同じことであつたらう。

四、雜誌廣告の量

新聞廣告に關する統計はわが國にもあるが、雑誌廣告に關する數字は、これまで絶無であつた。そこで、東京小間物化粧品商會の委嘱によつて本稿を草するに當つて、私は、數年間日本一流と稱せられて来た三大婦人雜誌について自から人をして簡單な統計を作成せしめ、業界年鑑の間の本稿をして、多少とも年鑑用らしくあらしめやうとするものである。幸ひにも

Table A: 三大婦人雜誌化粧品廣告統計. Columns: 月別 (十一月, 十二月, 一月, 二月, 三月, 四月, 五月, 六月, 七月, 八月, 九月, 十月), 合計. Rows: A (頁), B (頁), C (頁).

Table B: 三大婦人雜誌ハミガキ廣告統計. Columns: 月別 (十一月, 十二月, 一月, 二月, 三月, 四月), 合計. Rows: A (頁), B (頁), C (頁).

昭和九年の店鋪改装傾向

近時、六大都市のメインストリートを歩いて、吾人の眼に一つの傾向として著しく映ることは、何の商賣に限らず、店鋪の改良、改装である。殊に藥局方面に於いて多くこれを見受けるが、これはまことに良い傾向であると思ふ。

從來藥局には、その昔から、ある一つの店がまへと言ふのがあつた。小間物店にも、化粧品店にもそれぞれ一つの形式があつたのである。然るに近來は、百貨店等の進出に連れて、藥局方面のその店がまへの改良は非常な速度を以てなされ、而も從來の形式を破つて著しく特色的に改善された。特に店内に於いても、一カウスターの配置、二、商品棚陳列の効果的配列の合理化、三、キャツシ、レヂスターの設置、四、店内の照明等の注意、五、客に對する店頭用語の改良並びにサービス等に關する研究等にさう言つたやうなことが整備されて、その昔からこれを見ると、驚く程の變化を思はしめるものがあるのである。

店がまへが斯くも改善、且整備された結果として、その店に於けるウキンドウの位置に就いても、又相當關心を持たざるやうになつて来たことも一つの事實である。而もその形に於いて、その向き方に於いて、高さ、廣さ、奥行、床の高さ、永久バツタ板の色等の研究、ガラスの選定——成る可く一枚ガラスを使用——照明設備に對する注意等に於いて、全く一變したかの感を持たしめる。

一體、小賣店店頭に於けるウキンドウの位置は、いづれの方角にあるのが合理的であるかと、實を言ふと

今日まで残された問題であつた。即ち、行人の眼に呼びかける効果的な職能を發揮し、而して積極的な力を持つて、客の心を誘致するウキンドウの位置は、その店の右にあるのが本當か左にあるのが良いか、又中央に一個あるのが理想であるか。それが近來改良された店鋪を見るに、期せずしてその店の左側——道路から店へ向つて、右側にある。これは今日の主要都市の交通整理か原則として、左側通行であるから、人は轉道を歩くにしても左側を歩く、従つて店の左にウキンドウのあるのは、常に行人の眼に對し接し易い、又ある場合は、いつもウキンドウに眼を投じつゝ歩く、……と言ふのに歸着するのである。従つて店鋪（店がまへ）の改良に主要な役割となるウキンドウ設計及び設置等に對する吟味は、その店頭の掲出看板の關心と相まつて、今日重要なものとされて来たことは、喜ばしいことである。

ウキンドウの中に陳列されるものに、意匠及びその主張等に就いては近來の販賣店の傾向として時の流れに特に結んで内容的に切實なものを見るやうになつたのである。例へて言へば、その日の新聞等に掲載された、懸賞募集、及び催しもの等に關してその商品の販賣店は、直ちにたくみにこれを取入れて陳列をなし、而してその商品を出積して、行人の眼を新に呼び起し又店内に於いても、ウキンドウと連絡して前進陳列をすると言ふやうなことは、從來の本舗からの利用をまたないで、自ら積極的に働きかけて来た。かゝる事實は些細のことではあるが、經營者の自覺により從來の他動的から自動的になつたことはたしかに飛躍的變化であつて今後益々々々、傾向に進むものと考えられる。斯くして商賈はいよ／＼尖鋭化し、口よりも頭腦を働かすものが、結局最後の勝利を占めるであらうと信ずる。(ライオン本舗・平野次郎)

C・三大婦人雜誌石鹼廣告統計

自昭和八年十一月—至昭和九年十月

Table C: 三大婦人雜誌石鹼廣告統計. Columns: 月別 (十一月, 十二月, 一月, 二月, 三月, 四月, 五月, 六月, 七月, 八月, 九月, 十月), 合計. Rows: A (頁), B (頁), C (頁).

雜誌及び寄物の大きさ

Table of magazine and mail order sizes. Columns: 雑誌 (雑誌), 寄物 (寄物). Rows: 菊半載列, 菊相判, 三五列, 大形菊半, 大形菊相判, 大形菊半載列.

B・販賣店に對する廣告宣傳

Table with columns: 本館名, 種類, 特賞, 觀劇招待, 販賣店に對する援助. Rows include categories like 本ヘチマコロシ, 本みづ、香油, 花王石鹼本舖, etc.

業界關係廣告團體

新聞廣告獎勵會

東京市京橋區西橋町七ノ二 日本電報通信社内

廣告界の有力者を組織して全國日刊新聞に掲載の廣告に就いて審査を行ひ、優秀作廣告主に對して賞牌を贈呈する、昭和五年組織

- List of members for industry advertising groups: 井筒屋 服部榮次郎氏, 中山太郎堂 中山豊三氏, etc.

Table with columns: 化粧品本舖, 化粧品本舖, 化粧品本舖, 化粧品本舖. Rows include categories like 化粧品本舖, 化粧品本舖, etc.

日本廣告協會

東京市京橋區西橋町三ノ五

- List of members for Japanese Advertising Association: 水田利夫氏, 野元伊太郎氏, 江本護氏, etc.

Table with columns: 建坪, 賣場坪數, 比率%. Rows include data for various locations like 三軒同屋, 宿屋戸松, etc.

各デパートに於ける建坪と賣場坪數との比率を表示すると如左。

昭和九年中・業界品新聞廣告品種別行數表

〔白昭和八年十一月至同九年九月・日本電報通信社調査〕

Table with columns for industry (e.g., 農産, 林産, 畜産, 工業, 化学, 洗滌), shop name, and monthly sales figures from November 1920 to September 1921.

Table with columns for industry (e.g., 洗滌, 化粧品, 香料), shop name, and monthly sales figures from November 1920 to September 1921.

マネキン發達史

こゝに云ふマネキンは、マヌカン即ち廣告人形のことではない。店頭宣傳に於ける生きた媒體としてのマネキン嬢のことである。我國に於けるマネキンの歴史は今日尙十年に満たないが、今や店頭宣傳に於ける有力なる媒體として、廣告界に重要な地位を占めるに至つた。今日ではその出現當初に於けるが如き好奇的な人氣は、都會地に於いては求めることは出来ないが、それだけ地味に、その商品の特質、使用法を大衆に親しく呼びかけ説明する、商品の話し手としてはマネキンの宣傳技巧はいよゝ／＼向上し、マネキンそのものに對する興味を離れて商品の紹介者として、販賣者としてのマネキンは堅實なる發展を示しつつあるものと云ふことが出来る。

わが國に於けるマネキン發生の濫觴とも云ふべきは、大正十五年二月、前年來都下の美容家を結成し、初代遠藤波津子氏を會長として設立されたる東京婦人美容協會の役員會の席上、山野千枝子氏の提唱によつて協會の事業として日本最初の「マッシュヨウショウ」を開くことに決したる時であると云へやう。美容協會は同年九月に至つて分裂するに至つたがため「マッシュヨウショウ」は實現を見るに至らなかつたが、山野氏は獨力計畫をすすめ翌昭和二年四月に行はれたる東京高島屋百貨會招待の席上、熱心に「マッシュヨウ

ショウ」時代の要求たる所以を述べたがこの案は高島屋小川支配人を動かし、秋浪子の二人をモデルとして、マッシュヨウショウの形式を以て、始めてマネキンなる名稱によつて新廣告媒體としての婦人モデルが廣告界に紹介されることになつた。

この種の婦人職業をば歐米では單にモデルと云ひ、マヌカンと云へば、廣告人形のことであるが、我國では神戸商大教授平井泰太郎氏の命名によつて、マネキンと名づけられ、廣く行はれるに至つたこの最初のマネキンに續いて、昭和三年東京に開かれた御大禮記念博覽會に於ける百貨店協會館に高島屋ではマネキンの使用を計畫し、山野氏に依頼したが、當時はマネキンなる言葉は既に生れてゐたが、これを職業とする者は未だなく、山野氏は彫刻繪畫のモデル周旋業宮崎よりモデルを雇入れ靴履をなした。この時のプランは高島屋木村宣傳部長の發案になり、令嬢の扮装をせる數個の人物が、生きた半裸體のマネキンをモデルに寫生を行つてゐる畫室の場面であつたが、今日のマネキンに見る如き、動的、引力が少しもなかつたにも拘らず、生きた人間を使つてゐると云ふことが非常なる人氣を呼び、新廣告媒體としてマネキンはいよゝ／＼有視されるに至つた。

然し、これまではマネキンとは云ふもの、いづれも女優、モデルに依頼せるもので、眞のマネキンとは云ひ難いもの

であつたが、新しき職業婦人としてのマネキンが初めて出現したのは、昭和三年十一月九日丸菱製菓店が新聞廣告によつて、素人より募集せる九名のマネキンガールを以て嚆矢となすべきであらう。丸菱製菓店の依頼によつて、これが指導に當れる山野氏は、この集まれるマネキン志願の女性を基礎としてマネキンクラブの創設を圖り、高島屋廣告部故本庄氏等の肝入りによつて準備を進めたが、種々の障害によつて遂に昭和三年を送り翌四年を迎へるに至つた。

山野氏はこれまで、會員制度による俱樂部組織のマネキン團體の設立を志してゐるが、後援者たる各百貨店側の注意によつて、これを營業的の團體となすことに決意し、當時三越の廣告部長たりし松宮三郎氏、高島屋小川支配人、松屋佐久間廣告部長、松坂屋小林事務等の後援により、日本に初めてのマネキン團體は、東京マネキン俱樂部なる名稱の下に、二月發會式をあげたのであつた。かくて三月初旬には、高島屋、松屋、三越と各百貨店に於いて相次いでマネキン使用の宣傳が行はれ、六月には資生堂の新齒磨ニ「マッシュ」の宣傳に使用され、又大阪に招聘される等、マネキンの需要は愈々昂まるに至つた。而してこの當時マネキンとして婦人の新職業職線に先驅したのは、最初より山野氏の下にあつた、大崎千代子、田中清子はじめ東京マネキン俱樂部結成と同時に参加した新田光十外六名、六月より加つた駒井玲子等十餘名で

あつた。

斯くマネキンが華かなる廣告界の寵兒として社會的注目の的となるや、幾何もなくして所謂マネキン事件なるものが起り、誕生したるばかりの東京マネキン俱樂部は解散の止むなきに至り、その生みの親たる山野千枝子氏は、社會的諒誼の矢面に立たされるに至つた。この事實は昭和四年八月マネキンの一人が家庭的の事情より自殺（未遂）せることに端を發し、折から夏のニュース枯れの時期でもあり、全國の各新聞報つて、當時社會的話題の中心たりし、マネキンの内幕暴露なる記事を誇大的に報導して、センセーションを起したもので、これを動機として、田中、大崎、駒井等の花形マネキンは山野氏の下を脱退、丸菱製菓店廣告部宇田川氏を參謀として新たに會員制度の東京マネキン俱樂部を創立、山野氏は舊東京マネキンを日本マネキン俱樂部と改稱、ここに兩俱樂部の對立を見るに至つた。

これより東京マネキン俱樂部は分裂脱退相次ぎ、銀座マネキン俱樂部、フナムフオム協會を分ち、更に銀座マネキン俱樂部よりは不二マネキン俱樂部分れ、不二マネキンより昭和マネキン俱樂部分れ、別に双葉マネキン俱樂部、井關千世子氏の主宰するマネキン俱樂部等相次いで創立を見るに至り、マネキンの質も次第に向上し、和洋舞踊の嗜み、音楽、發聲法、エロキユーション、販賣術、美容法、作法等の各課目についての研究態を進み、

廣告 宣傳

年とともにマネキンはあらゆる商品に亘つて普ねく利用せらるるに至つた。

かくて昭和八年の四月に至り、日本マネキン、東京マネキン、銀座マネキン、双葉マネキン、不二マネキンの五俱樂部は集つて大日本マネキン協會を創立し、山野千枝子氏を會長に推し顧問に北田三越、山田白木屋、村松高島屋、小林松坂屋、内藤松屋、香月美松及びはては屋の各百貨店事務を推薦して各有名化粧品本舗、雜貨食料品本舗を評議員として各マネキン俱樂部の大同團結なり、協定料金の設定、各俱樂部の親睦をはかることとなり、昭和四年以來、分裂に分裂を重ねたるマネキン界は、再び圓滿なる協調の下に進むこととなり、進んでマネキンスターの開設、公認マネキン章の設定等が議が熟しつゝあり、春秋二回マネキンショウを行ひ、東京に於けるマネキン數は、百人乃至百二十人を算するに至つた——増減常なく確定數は不明——

一方、東京以外の地に於いては、昭和四年六月、舊東京マネキン俱樂部が資生堂齒磨ニユミックス宣傳に下阪したるを機として先づ大阪に支部を創立し、その後、需要の擴まるにつれて、京都名古屋にもマネキン俱樂部設立せられそれぞれ發展を示しつつあるが、言葉の訛り等の關係より、東京に於ける各俱樂部の如く、未だ隆盛なる需要を見ぬもの如くである。

他方、各本舗商店に於いて、專屬のマネキンを養成せるものには、先に森永製

市内盛り場の店舗の照明度

東京市産業局においては、東京の盛り場たる淺草、上野、銀座、人形町、新宿、澁谷、麻布、神田、神樂坂の九商店街につき商店の點燈數及びその明るさ等に関するいとも興味ある實測を試みた、その結果の數字を摘記して見ると次の如くである。

街	平均點燈數	平均電力
淺草六區本通	六三	八八二
同 仲見世	八	一三六
銀座 本通	一六八	二五〇
上野廣小路	七五	一〇〇
新宿 本通	四一	一九九
新宿 三越横通	三四	三八八
麻布 十番	二一	二一六
人形町本通	一七	四四八
道支坂本通	一八	四九二
神保町	一五	三一九
神樂坂	一二	二八三

以上、全盛り場を通じて見ると

電燈 數	一〇三	四二一
調査 戸數	二	五八八
一月平均電力	五五九	四〇
一月平均電力	五五九	九五〇
一月平均電力	五五九	六〇二

懸賞又は景品附販賣の方法

懸賞又は景品附販賣を行ふ場合には、廳府縣令により、豫め所轄警へ届出づることを要する。その書式並びにこれに就いての注意すべき事項は左の通りである

- 一、目的
- 二、方法
 - 發賣品運送に運送料及び景品の送附は主催者之全負担す
 - 抽籤の方法
 - 抽籤の時期
 - 抽籤の場所
 - 抽籤の監督
 - 抽籤の結果
 - 抽籤の結果
 - 抽籤の結果
- 三、抽籤の方法
- 四、抽籤の場所
- 五、抽籤の時期
- 六、抽籤の結果
- 七、抽籤の結果
- 八、抽籤の結果
- 九、抽籤の結果
- 十、抽籤の結果

以上の届書を提出すると、もに、東京、大阪に於ける取締規則に抵觸しない爲めには左の各節を遵守するを要する。

一、懸賞の場合

字號、繪圖、寶號、謎解き、判じ物等懸賞に關する提案はその最高賞金又は賞品の金額、若しくは價格が警視廳管

下では合計三十圓以内なることを要する、大阪府内では二十圓以内なること

但し、學術技藝を要するものは最高五十圓迄、公共的の目的により行はれる時は五百圓迄、新聞紙が催すと

きは五百圓以内なること

賞金又は商品の送附又は荷造費を當選者に負擔せしめないこと

二、景品の場合

景品の最高價格が自ら贈與するものと他人の寄贈に係るものとを問はず、警視廳管下では合計三百圓以内、又は取引金額の二十倍を超過しないことを要する。大阪府内では五百圓以内又は取引金額の十倍を超過せぬ事を要する

但商人間相互の取引では取引額の廿倍又は千圓を超過しない事を要する

送料荷造費に就いてはこれを當選者に負擔せしめざること

三、警視廳管下たる東京はじめ、大阪、愛知等の大府縣に於いては、射倖行為取締は甚だ嚴重を極めてゐるが、地方の小縣に於いては、未だ取締寛なるところから、その實狀に乗じて臨時に地方に支店又は代理店等を設けて、こゝより出願し、全國に廣告して、巧みにこれを利用するといふ方法も此頃は行はれてゐる。

四、受用者優待又は景品附販賣の方法等については、本社抽籤係に御照會されれば、詳細にお答へする。

尚、取締法規については、本書「法規・法令」の部に収録してある。参照されたい

業界の著作・出版

昭和九年、業界及び商賈関係者により出版されたる著作及び刊行される商報、店報、パンフレット等を掲載し、父とその事業【伊東榮著】先代伊東榮氏の事業の全貌を傳へる當主の著作、一面わが化粧品發達史への貴重なる資料でもある。非賣品、伊東胡蝶園發行。

養育十年の思ひ出【山野千枝子著】著者が養育界に入つて創業十年を記念する思ひ出の記録。非賣品、山野千枝子美容研究所發行。化學工業年鑑【昭和九年版】化學工業に關するあらゆる資料を網羅して各部門、それ／＼一流の専門家の執筆を得たる昭和八年の記録。定價一圓、化學工業時報社發行。

アシカの曲藝師【平澤克巳著】仁丹本舖理事岩橋義典氏息子の著者の第一の基督教教員集。定價一圓、新書堂發行。寶鏡法全書【川崎近雄、鹽見伊八郎共著】十一班標記寶鏡並びに部外品、化粧品方劑をも包含するもの。定價金五圓、大阪商業新聞社發行。

全九州の市勢一覽、同業者名鑑、組合名鑑、有名商店一覽、清遊地案内等を収録して九州業界の全貌を描ける大鑑。非賣品、九州商報社發行。大阪石鹼商報 四月より日本石鹼新聞と改題。東京化粧品小問物月刊 十一月十五日改題。瀧澤商報 十周年記念號 五月大阪小問物新報發行。

廣告及び販賣研究の參考書

- 1. Advertising and Selling 海外廣告販賣研究雜誌 North West Corner 6th and Chestnut Streets, Philadelphia, Pa. U. S. A. 2. Printers Ink Weekly 185 Madison Ave. N. Y. City. 3. Printers Ink Monthly 185 Madison Ave. N. Y. City. 4. System and Business Management Management Publications Inc. 330 West 2nd St. N. Y. City. 5. Gebrauchs Graphik 6. Die Reklame 7. Neue Dekorativ Art 8. Commercial Art 9. Sign of Times News 10. Modern Packaging 11. Package Advertiser 12. Postage and Mail Bag 13. L'Affiche Paris 海外販賣廣告研究會 米國のPrinters Ink社が廣告研究家、廣告主、代理業者等に廣告關係の良書を配合したる結果得たる推薦書十八冊中の十冊。

Table with multiple columns listing various books and their publishers, including titles like 'Advertising and Selling', 'Printers Ink Weekly', and 'System and Business Management'.

廣告 宣傳

煙草廣告の開始 煙草專賣局ではその増收の手段として昭和九年春より剛切煙草チエリ1及びパットの二種に、美しい色刷カード廣告の箱中挿入を開始し、廣告媒體に一新生面を開いた。業界に於ける最初の利用者は井筒屋香油店であつた。



自昭和八年十一月一日
至昭和九年十月三十一日

十一月(昭和八年)

歌舞伎座の御開會——四日
明治座の御開會——五日
健康週間——六日より十三日迄
花王本舗の手洗ひサイビス並びに清淨
明色美顔白粉愛用者を新聲公演
に招待——八日
中津屋本店のミコエ石鹸宣傳ア
——十一日より十五日迄
クラブ蘭房愛用者東北地方映畫
招待會終る
ヘチマコロシ愛用者より募集の
新女優千恵プロ作品にアピユ
1
ワテナクリーム愛用者優待の懸
賞發表
クラブ蘭房愛用者優待の懸賞
額招待會——十六日
安福石鹸愛用者優待の安福石鹸
デー——二十日より二十ヶ月間

十二月

資生堂パーゲンセーレ——二十日よ
り二十六日迄
クラブ化粧品愛用者優待の當籤
者發表
ミツロ石鹸愛用者映畫招待二回
久能水石鹸愛用者感想文懸賞募
集發表
マスタート化粧品愛用者優待懸賞
發表
東朝漫畫廣告懸賞募集當選者發
表
御開つばみ白粉愛用者映畫招待
歌舞伎座ミツワ會——一日
明治座の御開會——五日
東京パーバー・チエーンにレ
トリ製料サイビス週間——一日よ
り七日迄
クラブ化粧品大阪愛用者映畫招
待會——八日
昭和九年花王こよみ配布
クラブクリム愛用者優待懸賞
締切
オリザナルクリーム愛用者優待
懸賞第一回抽籤
マスタート化粧品北陸地方愛用者
優待懸賞發表
昭和九年

一月(昭和九年)

花王パート愛用者一萬名映畫招
待
仁丹本舗の非常時對策論文懸賞
募集發表
小間物小賣商新進俱樂部顧客サ
ービス演藝大會——十八日
クラブ化粧品阪神地方愛用者
ラブミー化粧品阪神地方愛用者

二月

實演會——二十七、八日
ヘチマコロシ愛用者優待劇劇カ
ルメン招待會——三十日
クラブ蘭房愛用者優待「笑ひの
會」招待會——三十一日
歌舞伎座のミツワ會——二日
仁丹蘭房愛用者優待の大坂高島
屋福當り賣出し、並びに映畫
招待會——四日
ワテナ化粧品愛用者優待映畫招
待會——七日
レイトクレーム愛用者優待福引
セール發表
御開化粧品愛用者優待京都府南座
招待會
カオール愛用者、全額拂戻し優
待發表
姫の友洗粉週間、銀座松坂屋に
開く——九日より一週間
蜂蜜固形洗粉愛用者優待懸賞發
表
白美液愛用者優待留連早發表
花王パート・スキー地宣傳
ハリウッド化粧品銀座三越宣
傳會
歌舞伎座の御開會——九日
ライオン蘭房愛用者二十萬人優
待懸賞發表
電通社の新聞廣告獎勵會昭和九
年度審査會——七日
御開化粧品古屋愛用者優待招
待會——十三日
御開化粧品古屋愛用者優待招
待會
クラブ化粧品愛用者優待値上品
前替直段奉仕デー——二十一日よ
り三十日迄

三月

ロイヤル化粧品試用品贈呈週間
二十三日より月末迄
日本廣告研究會第一回例會——
二十四日
ワテナ化粧品愛用者優待招待會
——二十四日
白美液愛用者優待萬年筆連早發
表
仁丹蘭房愛用者優待白米一千俵
贈呈懸賞發表
ビクトリア愛用者優待懸賞發表
スチルマンの愛國セール各百貨
店に開く
井筒コスメチックたばこカード
挿入宣傳
ヘチマコロシ宣傳漫談懸賞募集
發表
大阪歌舞伎座に仁丹蘭房デー——
二十八日
歌舞伎座のミツワ會——二日
花王シヤムプリーの地下鐵とタイ
アツプ宣傳
丸見屋の今年度女學校新卒業生
招待會——三日
スチルマンの新橋ダンスホール
宣傳——三日
姫の友洗粉の淺草松屋宣傳——
一日より七日迄
ワテナ化粧品古屋愛用者招待
會——四日
明治座の御開會——六日
ヘチマコロシ愛用者優待十萬人
懸賞發表
御開化粧品愛用者優待大阪歌舞
伎座招待會
花王パート愛用者優待映畫招待
中山文化研究所講演會——十三日

四月

クラブ蘭房愛用者優待さくら音
頭大會——二十四日
ミス・シセイドウの試演會——
二十四日
多摩川園小國民傳ヘライオン兒
童園科出張
ミツワ・サイロ愛用者優待さく
ら音頭大會並びに村山山口貯
水池招待——二十五日
レイト化粧品愛用者二萬名兩國
園技館新開招待——二十八日
ワテナ化粧品愛用者優待演藝舞
踊會——三十一日

五月

ワテナの新興キネマ女優募集
ワテナボマード愛用者帝劇劇編
招待——十二日、十八日
モンゴ洗粉園西愛用者寶塚招
待會——十四日、十五日
ワテナ愛用者仙臺招待會、築地
座公演——十五日
御開愛用者松本招待會——十五日
ヘチマ愛用者大阪あしへ踊招待
會
クラブ蘭房愛用者優待懸賞募集
發表
ワテナ愛用者優待懸賞募集發表
レイト本舗大阪白粉祭招待
會——十五日
クラブクリム愛用者懸賞當籤
者發表
レイトの白粉祭、市内小賣店々
頭宣傳——十五日から
ワテナクリム愛用者、映畫「激
情の嵐」上映各館——十七日
ラブミー愛用者東寶劇場招待會
——十七日
ワテナ阪神愛用者寶塚招待會
——十七日、十八日
マスタート愛用者名古屋(學生舞
臺)招待會——十九日
吸染ボマード白木屋宣傳——十九
日、二十七日
花王パート愛用者「カルメン」の
夕一招待會——二十日
ラシランボマード愛用者優待懸
賞締切——二十日
風島メル愛用者優待懸賞締切
テレビアン市内小賣店演藝宣傳
日本廣告研究會例會——二十一日
資生堂化粧品デー、全國販賣店
ミツワ、サイロ愛用者三星塚招
待

六月

久能水石油煎盤に久能水石鹸景
品
ユキワリミン愛用者映畫招待
J.G.ヘミング氏商業美術展、
資生堂ギャラリー——二十三日、二
十五日
エ・ピアン各百貨店宣傳
クラブ美的素石鹼市警バスとダ
イアツプ買物進呈——二十五日、
三十日
日本劇場モダンシヤムプリーデー
一日
ユキワリミン名古屋愛用者映畫
招待會——一日
レフ玉子粉石鹼名古屋愛用招待
會——一日
歌舞伎座ミツワ會——二日
ヘチマコロシ愛用者金禮會「忠
臣蔵」劇へ招待、日比谷公會
堂——二日
ワテナボマード愛用者帝劇招待
會——三日、九日
マスタート大阪愛用者松竹少女歌
劇招待會——四日、五日
明治座御開お土産デー——五日
メヌマボマード愛用者優待懸賞
募集發表
ミス・シセイドウ東京百貨店初
出版
クラブ化粧品の日、シ祭、大阪
南海沿線演説——六日
ラブミー愛用者映畫招待會
新宿三越有名化粧品宣傳會——七
日、十七日
ヘチマコロシ愛用者懸賞抽籤會
——七日、十日
テレビアン愛用者優待日進連

早發表
クラブ本舗の楠公史蹟映畫完成
御開愛用者大阪映畫招待會——八日
新橋演藝場御開お土産デー——九日
マイスキン上野松坂屋宣傳——九日
十五日
ラブミー愛用者映畫招待——十日、
十六日
小樽全國廣告競技大會——十一日、
二十五日
クラブ、シセイドウ新聞廣告人々
アツプ
ミス・シセイドウ新聞廣告人々
招いて初公演——十二日
蜂蜜洗粉愛用者名古屋招待會十
二日
ピタール愛用者大阪招待會十
二日
高島屋香りの會、六香料店出品
——十三日、十七日
J.O.B.K.廣告講座開講——十四日、
三十日
ワテナ愛用者映畫招待會、日比
谷公會堂——十四日
ミツワ本舗の都下結婚業者化粧品
講習會——十四日
大阪商報社製標語懸賞當選發
表——十四日
東部日本資生堂デー、各資生堂
チエーン
千代田ボマード名古屋愛用者松
竹少女歌劇招待會
ミツワ、サイロ愛用者、大阪、
京都、神戸、福開映畫招待會
ライオン蘭房二十萬人懸賞締切
懸賞數百六十二萬三千六百六
十九名
ワテナボマードデー、新興映畫
「河の上の太陽」封切館——十七日
ラブミー蘭房愛用者映畫招待

ミツワ・サイロ愛用者名古屋映
畫招待——十七日、二十三日
ワテナ愛用者東劇招待會——十九日
日本廣告研究會例會——十八日
白美液愛用者優待懸賞發表
墨染ボマード横濱野澤屋宣傳十
九日
千代田シヤムプリーデー、日活、忠
臣蔵——上映各館——二十日、二十三日
ミツワ・サイロ愛用者映畫招待二
十二日、二十九日
ユキワリミン愛用者映畫招待二
十三日、二十五日
靖國神社臨時大祭に花王石鹼廣
告塔九段下に建設
花王シヤムプリー東京近郊シヤズ
バンド宣傳
日本廣告研究會春季總會二十六日
ミス・シセイドウ横濱松屋出演
——二十六日、二十九日
ミツワ本舗の女學校新卒業生招
待洗滌講習會——二十八日
久能水石鹼愛用者優待發表
マスタート愛用者松竹少女歌
劇招待——三十日
ライオン蘭房愛用者映畫招待會
大阪天王寺公園音響堂——一日、
三日
横濱開港記念廣告行進、七本舗
參加——一日、五日
カガシクリーム名古屋愛用者映
畫招待——一日、七日
スチルマンフレックル川崎市宣
傳——一日、六日
アモンパヤ銀座三越宣傳——日
十五日
クラブ蘭房愛用者招待「初夏の

夕一日比谷新音樂堂 三日
ライオン本舗ムシ齒防ボスマ
ライオン本舗東大阪名古屋學
童齒防訓練 四日
クラフ本舗ムシ齒防ア、就
學兒童獎勵金贈呈
クラフ齒防東京、大阪愛用者招
待講演會 四日
ウテナ愛用者會「ラ・ボエー
ム」招待會 七日
御園愛用者會招待會 七日、十三日
丸見屋の美容大會、軍人會館八日
ミス・ハリウッド白木屋宣傳
ユニオン香水高島屋宣傳 九日、
十七日
ビタオール上野松坂屋宣傳 九日
エ・ピアン愛用者會招待會
ヘチマコロソ名古屋愛用者招待
舞踊大會 十日
室蘭市ボスマー展 十二日、十七日
ウテナ愛用者會招待會 十一
日
歌舞伎座ミツツ會 十四日
千代田本舗廣告作品展、銀座紀
伊國屋 十五日、十七日
クラフ齒防愛用者招待會、軍人
會館 十七日
ウテナ愛用者會公開劇場招待
花王パト愛用者會招待會
仁丹三大懸賞當選者發表
家事科學研究所(花王)講習會、
日比谷公會堂 十九日
御園愛用者招待會、日本青年館
イワヤシヤンブー愛用者會招待會
大毎主催第四回廣告圖案募集當
選發表
日本廣告研究會第六回例會、矢
野正世氏講演
帝國ライオン齒防ア、二十三
日、二十五日、二十六日
マスタール北陸愛用者招待會 二十
三日、二十九日
オリガナル香水青バスターとタイ
アツプ 二十五日、三十日
讀賣主催廣告競技會、地下鐵街
讀賣本店四國各地宣傳
レイト愛用者會東寶日活スター賞
演招待會 二十六日
ラプミー本舗九州美粧祭
ウテナボマード愛用者會招待會
會 二十八日、二十九日
クラフの松竹映畫「街の暴風」
適役募集發表
御園愛用者大阪映畫招待會 二十
九日、七月五日
マスタール愛用者「學生舞臺」公
演招待會 三十日
レイト愛用者大阪東洋劇場招待
會 三十一日、七月六日

七 月

ラプミー兩毛地方美粧祭 一日、
十五日
ビタオール、ウテナ、エブクラ
ーム、鎌倉ビートストア宣傳
柳屋本店景品附賣出し 一日、十日
花王シャムプー十萬人懸賞發表
一日
名古屋新聞主催三十萬人招待大
賣出し七本舖參加 一日、三十日
家事科學研究所東京市各市民館
にて家事講習會
ミツツ、サード愛用者大阪松竹
少女歌劇招待
選發表
日本廣告研究會第六回例會、矢
野正世氏講演
帝國ライオン齒防ア、二十三
日、二十五日、二十六日
マスタール北陸愛用者招待會 二十
三日、二十九日
オリガナル香水青バスターとタイ
アツプ 二十五日、三十日
讀賣主催廣告競技會、地下鐵街
讀賣本店四國各地宣傳
レイト愛用者會東寶日活スター賞
演招待會 二十六日
ラプミー本舗九州美粧祭
ウテナボマード愛用者會招待會
會 二十八日、二十九日
クラフの松竹映畫「街の暴風」
適役募集發表
御園愛用者大阪映畫招待會 二十
九日、七月五日
マスタール愛用者「學生舞臺」公
演招待會 三十日
レイト愛用者大阪東洋劇場招待
會 三十一日、七月六日

八 月

ラプミー愛用者築地小劇場招待
會 三十一日、八月二日
オリガナル化粧品商店サードピス
レイト關西愛用者夏の旅招待
マスタール愛用者「學生舞臺」公
演招待會、日比谷公會堂 五日
モダンシャムプー名古屋愛用者
招待會 五日
ヘチマコロソ愛用者海水浴と松
竹少女歌劇招待會 六日、三十日
クラフ齒防、P.C.L映畫「只野
凡兒」主演者懸賞募集
モダンシャムプー東京飛行機宣
傳 七日
歌舞伎座ミツツ會
マスタール愛用者優待比佐良畫伯
ユイモア人形贈呈懸賞發表
ライオン潤製齒粉地下鐵とタイ
アツプ 九日、十九日
ラプミー愛用者松竹少女歌劇招
待 十日、十三日
ウテナ愛用者映畫舞踊招待會、
日比谷公會堂 十一日
美顏愛用者懸賞募集發表
御園愛用者映畫招待會 十二日
マスタール愛用者映畫招待會 十三日
エ・ピアン愛用者優待懸賞募集
發表
クラフ阪神愛用者寶塚招待 二十
一日
ウテナ、モダン本舗兩國川開き
宣傳 二十二日
ウテナ東北愛用者招待會 二十四日
ビーマン演習講習會 二十四日
モダンシャムプー大阪飛行機宣
傳 二十七日
黒若實演會 二十七日
花王石鹼滿洲各地宣傳
實業集當選者發表
日刊新報主催大阪小賣店飾
寫競技會 十五日
ラプミー愛用者優待日活多摩川
攝影所招待 十四日
丸見屋京王電車タイアツプ日活
多摩川攝影所招待
エ・ピアン愛用者優待公開劇場
招待會 十九日、二十一日
ライオン齒防愛用者優待京阪神
招待會 十九日、二十一日
ライオン齒防本舗集小學生成
色競技當選發表
色競技當選發表
ウテナ愛用者、關東、中部、東
海道愛用者招待會
ウテナ愛用者、關東、東北、中
部、四國、中國、九州招待會
二十一日、二十二日、二十四日
日本廣告俱樂部主催廣告講座開
講 二十三日、二十七日
マスタール愛用者優待舞踊と映畫
招待會、日比谷公會堂 二十六日
新聞廣告業界關係者共同主
催波多海濱氏慰勞會 二十七日
歌舞伎座ミツツ會觀劇會 二日
クラフ東京愛用者映畫招待發表
ゾイン粉石鹼愛用者日活映畫
へ招待
フレンドバンド愛用者映畫招待
發表
ウテナ化粧品愛用者大阪歌舞伎
座招待
名古屋化粧品小賣組合及び中
古屋化粧品小賣報社主催の販
賣助成運動「映畫と舞踊美粧
大會」三日
ライオン齒防本舗販賣進法懸

九 月

レイト愛用者豐島園招待會 二十
六日
御園化粧品橫濱百貨店宣傳 二十
六日
モダンシャムプー景品附優待特
賣
レイト愛用者優待映畫意匠贈呈
懸賞發表
クラフ齒防愛用者招待會、軍人
會館、二十九日
一七八
一七九
東京劇場ミツツ會 三日
美人かつら愛用者松竹レビュ
招待會
ラプミー化粧品九州美粧祭 八日
ラプミー本舗專屬マキーン懸賞集
發表
ウテナ本舗專屬マキーン懸賞集
發表
ライオン齒防販賣進法懸賞集
發表
カガシ化粧品大阪愛用者招待會
十二日
花王石鹼愛用者優待懸賞發表
ラプミー雪肌クリーム新發賣記
念懸賞發表
クラフ化粧品大阪愛用者映畫招
待 十四日、二十日
スチルマンのロケーション特賣
發表
マスタール愛用者優待映畫招待
マスタールのユイモア人形懸賞追
加發表
日本廣告研究會例會 二十一日
丸見屋のP.C.L映畫配發募集發
表
ミツツ、サード愛用者京阪神映
畫招待會 二十二日、二十四日
ウテナ愛用者優待販賣サイン入

十 月

手拭連星、東京各百貨店 二十
三日、二十七日
ビタオール愛用者日本劇場招待
資生堂石鹼景品附特賣
御園愛用者優待ラッキーストーン
懸賞募集發表
ラプミー化粧品青バスターとタイ
アツプ週間 二十七日、十月三日
ライオン齒防子供大會 二十九日
日比谷公會堂
レイト愛用者優待中部、東北招
待會 二十二日、十月一日
一七九

十 月

演會 十五日、二十四日
日刊新報主催大阪小賣店飾
寫競技會 十五日
ラプミー愛用者優待日活多摩川
攝影所招待 十四日
丸見屋京王電車タイアツプ日活
多摩川攝影所招待
エ・ピアン愛用者優待公開劇場
招待會 十九日、二十一日
ライオン齒防愛用者優待京阪神
招待會 十九日、二十一日
ライオン齒防本舗集小學生成
色競技當選發表
色競技當選發表
ウテナ愛用者、關東、中部、東
海道愛用者招待會
ウテナ愛用者、關東、東北、中
部、四國、中國、九州招待會
二十一日、二十二日、二十四日
日本廣告俱樂部主催廣告講座開
講 二十三日、二十七日
マスタール愛用者優待舞踊と映畫
招待會、日比谷公會堂 二十六日
新聞廣告業界關係者共同主
催波多海濱氏慰勞會 二十七日
歌舞伎座ミツツ會觀劇會 二日
クラフ東京愛用者映畫招待發表
ゾイン粉石鹼愛用者日活映畫
へ招待
フレンドバンド愛用者映畫招待
發表
ウテナ化粧品愛用者大阪歌舞伎
座招待
名古屋化粧品小賣組合及び中
古屋化粧品小賣報社主催の販
賣助成運動「映畫と舞踊美粧
大會」三日
ライオン齒防本舗販賣進法懸

廣告用品材料店

白鳥堂 淺草區淺草橋三の十一
イサミヤ 神田區五軒町一
串間製作所 神田區淡路町二の二
イサミヤ看板店 神田區錦町
六
日本廣告工業會社 大阪府北區
曾根崎上町四の四七
大同廣告社 東區石町三の五〇
木山標記本店 住吉區阿部野筋
四の四八
アイチ・スタヂオ 名古屋市中
區錦町三八
裝飾・餘興
カブキヤ 東京市淺草區猿蓑町
三の二
廣目屋 京橋區銀座一の六
日本裝飾株式會社 神田區錦町三
の二
各種廣告宣傳用品
五十嵐商店 告・立看板 東京
市日本橋區茅場町六一
日本廣告用品會社「ベリチス」
神田區小川町聖橋通
白神商店 大阪府港區泉尾竹ノ
町一の七
田中旗店 告・幕 東區瓦町四
の六
鐵道電車自動車廣告
ヒロヒ興業社 東京市日本橋區
吳服町三の一
折込廣告社 京橋區銀座六の三
の五
巴廣告社 神田區淡路町一の二
櫻華社 牛込區神樂町二の二
精進廣告社 芝區濱松町二の九
鐵道廣告社 淺草區向原町一の二
鐵道廣告社 大阪府西區北堀江
御池通一の三
電柱廣告
電燈廣告會社 東京市京橋區銀

廣告物取締法施行細則

大正三年警視廳令第100號
昭和七年十月一日改正

第一條 左の地域内に廣告物の表示その他之れに關する物件を設置することを得ず但し公益の爲にするものにして警視廳の許可を受けたる場合は此の限に在らず

一、宮城、離宮、東宮御所、青山御所、麻布御殿の各附近

二、各皇族邸附近

三、武藏御陵墓地及各皇族御墓附近(ろ)

四、社寺、佛堂、説教所境内

五、公園地及その附近

六、勝區(向島、荒川堤、井ノ頭、小金井、道灌山等)

七、墓地及その附近

八、都市計畫法第十條第二項の規定に依り指定せられたる風致地區(ろ)

前項第四號の地域内に於いて祭典、法要、説教その他社寺佛堂、説教所の類かその事務の爲にする場合は前項の規定を適用せず

本條の許可を受けたる後に於て之れを移轉、改造、變更若しくは設置を繼續せむとするときは更に警視廳の許可を受くべし但し設置を繼續せむとするときは期間満了十日前迄に願出すべし

第二條 左の地域内に廣告物の表示又は之れに關する物件

(廣告場廣告塔を除く)の設置を爲さむとする者は所轄警察官署に願出許可を受くべし之れを移轉、改造、變更若しくは設置を繼續せむとするときは亦同じ但し設置を繼續せむとするときは期間満了十日前迄に願出つべし

一、東京市

二、八王子市

三、社寺、佛堂、説教所境内より願望し得べき場所

四、公園及勝區より願望し得べき場所

五、鐵道停車場附近

六、鐵道、軌道の沿線及之れより願望し得べき場所

七、平地より願望し得べき高臺

八、前各號の外特に告示したる場所

前項に該當せざる場所に設置せむとする廣告物と雖もその長さ又は幅三・六五米(約十二尺)を超えぬその面積六・六〇平方米(約二坪)を超ゆるものに對しては前項の規定を適用せず

第三條 前條の地域内に廣告場又は廣告塔を設置せむとするときは警視廳に願出許可を受くべし之れを移轉、改造、變更若しくは設置を繼續せむとするときは亦同じ但し設置を繼續せむとするときは期間満了十日迄に願出すべし増築其の他の建造物に六六〇平方米(約二坪)第一條乃至第三條の規定に依り廣告物の表示又は之れに關する物件の設置の許可を

受けたる者はその廣告物の見易き箇所に自己の住所、氏名及許可期間を表示すべし以上の場所を占め又は五箇以上の他人の廣告物を表示若しくは設置するものは之れを廣告場と看做す

第四條 第一條乃至第三條の願書には左の事項を具すべし

一、出願者の族籍、住所、職業、氏名、生年月日但し法人に在りてはその名稱、事務所所在地、代表者の氏名(第三條の場合に在りては定款書添ふべし)

二、設置の場所及期間

三、廣告物の材質、形状、寸法、色彩、構造の方法等を記せる圖面及工事仕様書

四、設置の状況を知り得べき圖面

五、表示の文字、圖畫

六、設置せむとする場所か他人の所有若しくは管理に係るときはその承諾書

七、工事落成期日

出願者他府縣管内に住所を有するときは東京府管内に住所を有する管理人を定め前項の願書に連署せしむべし

第五條 第一條の地域外に於いて電柱(軌道用の柱を包含す)若しくは街燈柱の柱に廣告物を標示せむとするものは第二條の規定に拘はらずその許可を受くることを要せず但し支柱支線柱及電車の中央柱には之を標示すべからず

前項の廣告物は地上二・二〇米

(約四尺)以上三・六五米(約十二尺)以下に於いて之れを爲し、その色彩は白、黒又は青を使用すべし但し繪畫を標示すべからず

第六條 第一條乃至第二條の許可を受けたる者左の各號の一に該當する場合に於いては五日以内に許可を受けたる官廳に届出つべし

一、族籍、住所、氏名を變更したるとき(法人なるときはその名稱、事務所、所在地、代表者の氏名、定款を變更したるとき)

二、管理人又はその住所氏名を變更したるとき

三、廣告物その他之れに關する物件をその表示又は設置期間内に除却又は廢止したるとき

第七條 廣告物の表示その他之れに關する物件の設置者にしてその許可を取消され又は當該事業を廢止したるときは十日以内に廣告物その他之れに關する物件を撤却すべしその表示又は設置期間の満了したるとき亦同じ

第八條 廣告物其他之れに關する物件にして汚染、褪色、剝離若しくは破損したるときは速かに改修すべし

第九條 廣告物其他之れに關する物件にして本則に依り許可を受けたる場合と雖も土地状況の變遷等により美觀又は風致を害するに至りたるときは速かに除害の處置を爲すべし前項の規定は許可を要せざる

第十條 本則に依り警視廳に差出すべき願出書は所轄警察官署を経由すべし

第十一條 廣告物を表示しその他之に關する物件の設置に關し他の法令に規定ある場合はその規定に依るの外本令の規定に従ふべし

附則
本令は公布の日より之れを施行す

本令施行の際現に存する廣告物その他之れに關する物件にして新に第一條に規定したる地域内に在るものは昭和八年二月末日迄に之れを撤却すべし但し第一條第一項但書の規定に依り願出許可を受けたるものは此の限に在らず

第二條第三條の規定に依り新に許可を要すべし地域内に在るものに付いては第四條の事項を具し昭和七年十一月末日迄に届出つべし

前項の届出ありたるものは本令に依り許可を受けたるものと看做す但し設置期間は届出の日より一箇年を超ゆることを得ず

第四項の届出を爲さざる廣告物其他之れに關する物件は昭和八年二月末日迄に除却すべし

本令施行の際現に存する廣告物その他之れに關する物件は昭和七年十一月末日迄に第三條の二に依り所定の表示を爲すべし

業界清遊の傾向

視察 清遊 旅行

古い起源を有つ業界の清遊ではあるけれども、然しながらその清遊の持つ内容的意義や、形式方法に於いては舊態依然として昔のままの清遊であるのみならず選ばるゝ處の清遊地も、殆ど今は行盡されたかの感がある爲めに、折角の名所も温泉場も、最早見飽かれてその清新味を失ひ、旅情を慰むるに足るだけの興味を惹かなくなつた處さへ多く、主催者としてはその清遊効果の上から、頻りに新らしき方面にこれを求め、秘められたる處女地を發見するに、非常な苦心を拂つてゐる向も少くないやうである。随つて最近の清遊が、これを地理的に見る時、そのスケールの非常に擡げられて來て居るのは、即ちその新らしき清遊地を物色してはその方面への招待が行はれつゝある證據と見てよからう。

然し交通の便、大いにひらけた今日、鐵道のスピードアップとともに遠方へ出かける計畫も、容易ではあるに相違ないけれども、其處にはまた自然時間や經費の問題も伴うて來るわけであるから、極めて細密な計算の上を立てらるゝ業界の清遊としては、如何に珍らしい處女地だと言つても、さうく遠くへのみ突つ走

るわけにも行かない事情もあるから、矢張り東京は熱海が箱根が、一番足場が便利でもあり、温泉が豊富でもあり、それに旅館の設備やサービスの點に於いては初めて出かける處よりも氣安いといふ點に於いても、優ぐれた條件を備へて居るので例へば古くした風景ではあつても、業界の清遊地としては、相變らず此の方面が多くを惹ける力を持つて居る。試みに昭和九年の清遊地方別表を見ても、箱根の十四回が一番多く、それに次ぐは伊豆の各温泉場であることがわかる。近年東武電車の宣傳によりて一躍流行兒となつた鬼怒川は、淺草雷門から三時間、その峡谷美と、温泉情緒と、更にその近くに控へた日光とタイプアップすることによりて最も有効な小旅行が味はれるといふ點から、可成り出かける。水上温泉は清水隧道の開通とともに遠かに知られ出した利根峡谷温泉群の一つ。下呂温泉も高山線の開通によつて紹介せられた處、名古屋を中心とした清遊地としては新らしくて便利な處といへるだらう。

關東の熱海や箱根に對するものに、關西には白濱温泉がある。黒潮の洗ふ處、美しくしき南紀の風景に包まれた景勝、加ふるに大阪からは三時間の快速列車もある。旅館の近代的設備とともに全く明朗な海の温泉地である。北陸地方では山中山代、宇奈月温泉が指を屈せられる。かく見來ると清遊は温泉に限られたるかの感があるけれども、然しさうとは限らず、海では以上に擡げたるものゝ外に松島、鹽釜、東京灣、大洗、房州、江の島、蒲郡、志摩、和歌の浦、有明海等があり朝鮮の月尾島がある。山にはまた層雲峽山形の山寺、昇仙峽、香澤峽、金剛山等々、湖水には富士五湖、琵琶湖、河には日本ライン、長良川、保津川上等が昨年に見られたものゝ主なるものであつた最後一言、忘る可からざるは伊勢参拜の七回を算すること、これである。祖國意識に燃え、日本精神を反映せる清遊計畫としては、これに越すものはなからう。

以上は清遊の地理的、或ひは風景的考察としてのその大體を述べたに過ぎない

續つて清遊の内容を少しく検討して見た
と思ふが、然しながらそれが特種清遊
である限りに於いて、殆ど型に嵌まつた
やうに、そのやり方が共通的であるとい
つてもいゝやうである。例へば――驛集
合、車中サービス、宴會、一泊、翌朝朝
食後解散、お土産、歸京旅費、といふ風
に、これが一般的な清遊の定型であ
る。是れに於いてかわれ等は屢々清遊改
善論を耳にする。中には清遊廢止論さへ
なすものがある。然らば清遊といふもの
はそれ程、弊害の伴ふものであらうかと
いふ問題になつて来るが、これを改善論
者に言はしむれば

一、車中サービスは廢止し度い。長い
輿場なら退屈もするだらうけれど、
二時間や三時間で行ける處にはその
必要がない。殊に貸切車で、もあれ
ばいざ知らず、他の客の混合してあ
る車中、わが物顔に難いでは、會に
客の迷惑であるの少なからず、却つて
反感を買ふ場合がないとも限らない
それを恐れる。
一、長距離の場合、例へば北海道の場
合は青森か前橋集合、近畿の場合は
大阪集合、中部日本は名古屋集合と
いふ風にしたら、どつちも都合がよ
からう。
一、目的地へ着いてたゞ一夜の酒興を
肆にするといふだけでは、意味がな
さ過ぎる。それと同時に何か意義づ
ける方法を講ずるやうにし度い。
一、工場や會社等の見學を行ひ、業界

知識をひろめることも一方法であら
う。

一、お土産等には何づれも苦心するや
うであるが、これは廢止する方がよ
くはないか。

以上の如く、改善論にも可成りその筋
道が立つてゐるやうにも考へられる。廢
止論者に至つては、たゞその弊害のみを
見るに急にして清遊本来の主旨を没却し
たものとも言へるやうである。楯の両面
を見ずして説を立てるのは早計の感なき
を得ないが、然しその言ふ處も一應は傾
聴するの必要はあらう。

清遊は何時頃から

加藤 化粧品ではいつ頃から招待を始め
たのですか。
村上 招待は二十年前であります。平尾
さんが一番早かつたやうです。
緒川 今から十五六年前、特賣による清
遊招待の一番盛んな時分、東京商報社
では主幹と見習社員が残つた切りで社
員が清遊招待のお供に出つたことが
あります。猛烈なのは一人で二座敷掛
持ちと云ふのもありました。大正十二
年の大地震後はズット少なくなりまし
た。(東京商報主筆名古屋出張の一節)

清遊地方別表

Table with columns for region (e.g., 北海道, 東北, 関東, 中部, 中国四國) and number of destinations. Includes a list of specific destinations like 小樽, 札幌, 仙台, etc.

日本風景案内

東京中心の新コース

近年、或ひは昨年発見せられた新しいコース、主とし
て周遊の形式によつて割出された交通費の概算と、そして
所要時間を挙げる――。

Table listing travel routes from Tokyo (e.g., 日光, 奥日光, 和田峠) with details on transportation, time, and cost.

全國清遊地
旅館案内

此處に挙げたるは「グリーン
トビエウロー」(グリーン
取扱店)のみに限る。
東京大阪、京都等の都市は
除く。
旅館名の下に記入せるは電
話番號である、但し距離加
入の記載は省略する。

Table listing travel routes from various locations (e.g., 草津高原, 浅間山麓, 菅平) with details on transportation, time, and cost.

- List of inns and their locations: 湯ノ川, 湯山, 定山溪, 定山園, 登別温泉, 第二湯本館, 湯本ホテル, 洞爺湖, 洞爺湖ホテル, 十和田湖, 十和田観光館, 世界公園館, 和井内ホテル, 大湯温泉, 松島旅館, 白鷺樓, 東洋館, 松島ホテル, 観月樓, 海濱ホテル, 花巻温泉, 千秋閣, 東山温泉, 二八屋.

Table with columns for '羽越温泉めぐり' and '蔵王山山寺めぐり'. It lists various hot springs and temples with their respective travel methods and costs.

Table with columns for '遊 南知多' and '遊 北海道'. It lists hot springs and travel routes in the southern Kanto and northern Hokkaido regions.

- List of inns and accommodations including 向瀨旅館, 飯坂温泉, 岩本樓, etc., with their addresses and phone numbers.

Table with columns for '周遊' and '満遊'. It lists various travel itineraries and their associated costs.

Table with columns for '祖谷溪' and '道後温泉'. It lists hot springs and travel routes in the Iya Valley and Doi region.

- List of inns and accommodations including 東屋旅館, 長岡温泉, 山田屋旅館, etc., with their addresses and phone numbers.

Table with columns for '東京中心の清遊地'. It lists hot springs and travel routes centered around Tokyo.

Table with columns for '寒霞溪' and '道後温泉'. It lists hot springs and travel routes in the Kasegawa Valley and Doi region.

- List of inns and accommodations including 梅屋旅館, 観光旅館, 仙郷樓, etc., with their addresses and phone numbers.

視察清遊旅行

Table with columns for destinations (e.g., 水原寺, 勝浦温泉, 那智瀧) and associated travel details like routes and costs.

Table with columns for destinations (e.g., 大坂, 宇佐, 津) and associated travel details like routes and costs.

- List of travel agencies and their contact information, including names like 武蔵屋旅館 and 松坂屋旅館.

大阪中心の清遊地

Table listing various hot springs and travel routes around Osaka, categorized by distance (e.g., 一、二圓, 三、四圓).

團體の清遊・視察

Text detailing group travel and inspection activities, including dates, destinations, and participant counts.

視察清遊旅行

- List of travel agencies and their contact information, including names like 橋本旅館 and 米屋旅館.

清遊・觀劇一覽

一、昭和九年中、全国各地に於いて行はれたる業界の清遊、觀劇を商店別に調査したものである。

Table listing various shops and their activities across different regions like Hokkaido, Tohoku, Kanto, and Kansai. Columns include shop names, addresses, and dates.

Table listing various hot springs (onsen) and their locations, such as '木暮旅館' and '古久屋旅館'.

市川文平商店 名古屋

Table listing various shops and their activities in the Nagoya area, including '石倉商店' and '伊藤伊三郎商店'.

愛用者サービスの傾向

業界に於ける愛用者サービスの傾向は、現在行はれてゐる觀劇會、映畫招待、レビエリ招待などが、行詰つてきたために、今後は、クレーボンとか、懸賞とか、又は見本贈呈など、云ふやうに、その形を變へることは、或ひはあるかも知れませんが、一般の傾向としては、招待競争はまだ行はれるものと思ひます。

Table listing various hot springs (onsen) and their locations, such as '清芳閣' and '水明館'.

旅行の相談

旅行相談所
旅行、清遊、スキー、登山、その他海外旅行の場合、そのプランや費用の概算に就いては、左記の相談案内所で相談に應じてくれる。乗車券も發賣する。

東京出張部 三越内
大阪出張部 三越内
名古屋出張部 三越内
京都出張部 三越内
福岡出張部 三越内
仙台出張部 三越内
青森出張部 三越内
岩手出張部 三越内
秋田出張部 三越内
山形出張部 三越内
宮城出張部 三越内
福島出張部 三越内
茨城出張部 三越内
栃木出張部 三越内
群馬出張部 三越内
埼玉出張部 三越内
千葉出張部 三越内
東京出張部 三越内

料金二十銭

配達場所
東京市東區新大塚 電話二二七二、二二七三、二二七四
東京市東區新大塚 電話二二七二、二二七三、二二七四
東京市東區新大塚 電話二二七二、二二七三、二二七四

特別團體

人	第一期	第二期
三十人以上	二割五分	四割
百人以上	三割五分	四割五分
二百人以上	四割五分	五割
四百人以上	五割	六割

普通團體

人	第一期	第二期
三十人以上	一割	二割
百人以上	二割	三割
二百人以上	三割	四割
四百人以上	四割	五割

客車・自動車
客車、車室又は自動車賃切とするには別に定めある場合を除き、使用者の定員に對する大人普通運賃の八割、若し定員の八割を越えて乗車するときは實際乗車人員に對する大人普通運賃を要する。最低料金は客車及び車室は五〇軒分、自動車は一車十圓といふのがその一例。

急行料

特別急行列車	一等	二等	三等
普通急行列車	一等	二等	三等

客車・自動車の賃切

一等	二等	三等
四等	五等	六等

汽船の運賃

一等	二等	三等
四等	五等	六等

携帶品一時預料
預り品の保管料は預け入れ當日より十日迄は、一日に左の通り、十一日目より左記料金の二倍。

自來水料
自來水料は、毎一週、世帯右以外のもの、毎一週、十銭。

乗車券の適用期間
一、片道乗車券 百軒迄二日、以上一日を加ふ。
二、往復乗車券 片道乗車券適用期間の二倍。
三、週遊乗車券 各片道に片道乗車券の例に依り計算したる合算。
四、割引その他特殊乗車券 別段の定めある場合を除く外原則に依る。

行先や経路の変更
乗車券面區間の途中から方向を變更して他驛へ行く時、又は着驛に向つて二つ以上の経路が異なる場合、券面記載外の経路に變更するときは、變更區間の運賃と比較して若し不足の場合は不足額を支拂ひ、過剰を生ずるときは、手数料十銭を差引いて拂戻しをする。但し方向變更の場合乗車券發賣の日より二日な過ぎた時、及び實際乗車區間が三百軒未満の時、又経路變更の場合すでに経過した日数が實際乗車區間に相當する日数を経過したとき等は、戻拂しをしない。

- 一九〇
- 常盤館 三三番
對山館 四五番
城崎温泉 二二番
西彦旅館 三六番
竹乃井 七四番
ゆとう屋 二六番 一四〇番
道後温泉 七六番 四六一番
道後ホテル 三五四番
大和屋旅館 九五〇番 甲四五六番(本店) 一〇三二番 乙四五六番(支店) 平
備前屋旅館 九番
虎屋旅館 一〇番 一二五番 二〇九番
琴平花壇 一二七番
櫻屋旅館 一四番
敷島館 二五番
別府
川正旅館 四五六番
高砂 五五〇番 五八八番
鶴の居旅館 四一二番
鶴田旅館 五八番
豊前屋旅館 九二八番 一三五六番
武雄温泉
東屋 二〇番
かど折旅館 三番
雲仙公園
雲仙ホテル 二二番 二五五番
九州ホテル 九番
宮崎旅館 三〇番
新湯ホテル 二〇番
鳥原
南風樓旅館 一〇五番
國岩屋旅館 五〇番
霧島温泉
霧島館 二番

美容服飾流行

昭和九年の流行界回顧

流行色

流行色と云ふものは、最も敏感にその時代の國民的感情を現すもので、和やかな時代は明るく朗かな色が好まれ、戦争でも接近して國民が情熱的に昂奮した時代には、何時も強烈な色彩と強烈な反対色の對立が好まれるものである。

昭和九年度の流行色も、フアツショと非常時氣分が、幾分落ちついたらしく、東宮殿下の御降臨によつて、世は非常に和やかになつたから、明るい朗らかな色が受けると思われる向きも一つの解釋ではあつたが、一九三五年三六と云ふ危機を控へて相當濃色が迎へられた。

顧みるに昨年は明るく朗らかな淡色を持つて世の中の景氣を建て直さうと云ふ極く能動的な概念から出發し、淡色は遂に白になる迄極端化されて行つたが、黄色人種の顔の色は淡色によつて、實質よりも淺黒く醜いものに見える結果となつたので、結婚衣裳を控へての秋のシーズンには、早くも淡色を訂正して餘程濃化して行かなければならなくなつた。そして、秋のシーズンには殆んど流行界から影を消した。

そこで昭和八年度の流行色は根本的に建て直され、六六デパートの發表を見るのに

和服

昨年は着物の色調一帯が薄すぎて、半襟の色合をきめるのに困り、やむなく薄い色の着物に納戸やエンジの反対色の半えりをかけるやうなごちなさを現出したことも少なくなつたが、昭和九年度は一般に色調の濃化で、半えりやその他の附屬品のあしらひによい結果を見るやうになつた。

模様としては従來歐風趣味を加味したモダン調のもの、純日本趣味とが對立して居たが、最近モダン調は洋服に移つて、和服は日本趣味、それも御所解や加賀調、或ひは新傳統美調と云つたやうな

傳統的な古典味を新らしく再生して行かうとするいはゆる服飾國粹主義が主流をなして來た。

中形は湯上りと相場が定つて居たが、世の中が世智辛くなると云ふのか、又經濟生活が徹底したと云ふのか、特に外出着の中形と云ふものがはつきりした存在を主張して來た。そのため一口に中形と云つてもどの用途の中形をさすのか判らないと云つたやうなことにもなつて來た。

純然たる湯上りの方は夕涼みにふさはしい藍一色あがり、然かもすつきりとした柄、いはゆる江戸趣味のものが流行をリードして居るか、單に江戸趣味と云つても、いやに古典風に凝つたものより俳味の溢れたもの等、古風のうちに何か知ら新鮮な感覺を盛り込める單なる草花から鳥魚や昆蟲等の動物的感覺を加味して近代人らしい生きた感覺を感づたものが歓迎された。

外出用のものには、縮中形、縮中形、ボイルの三種があり、縮中形は極く上物だけが外出向きとされて居るが、これには地風の關係で長襦袢を必要とするので、極上物以外は餘り歓迎されない。縮中形の方は最近の改良で、體裁も相當に良いので、値段は多少高目だが好評。ボイル中形には縮のボイル、レイヨンのもの、レイヨンを縮、レイヨンを縮と種類はあるが、すべてよりが強く、夏向きで冷つとした感觸があるので大いに受けた。

色合は納戸系統が一番で、他の色合は

鼠、鳩羽等は配色に使つて居るが、藍の香高い紺と黒とは忘れられない勢力を持つて居た。

飾 物

柄から云へば模様のものが殆んど七分通りを占め、あとは緋、地はお召風に見える縮が人氣の中心で、従来の平織は比較的少ない。色合は濃目で納戸、紫紺の二系統の何れか、その間に鼠が入つて居る。配色としては紺、エンヂ、コバルト、黒、茶等が用ひられ、一つの柄の中に色数がごちゃ／＼と入らず、せい／＼三色か四色の範囲のものが好評。尚セルは着る期間が短いため、春秋を通じて同じ傾向であるが、派手向きとして縮が目立つ。色目は温い感じが狙ひ處、人絹交織、人絹、天絹、木綿等の綿をからませ織つたものが壓倒的。

洋 服

男子服 春の色合は鼠と茶の淡色、殊に淡鼠が最も多い。そしてそれ等の色氣を用ひて小格子縞、杉綾縞などの縞が全盛であつた。従来見受けられた大柄の格子縞は極く特殊な好みとなり、一概に云へば、何れも餘り目立たぬ柄で、少し離れれば無地に近いと云つたおとなし向きのものがシーズンでの流行柄の特徴。國産服地など右の要旨を捉へて進出著しい。型の變遷で主要な點はいはゆるスクエ

アショルダの傾向はなほつゞいて居るが、極端に角張つた肩は影をひそめ、肩幅は廣目ながら、やゝ丸味を持つて、胸は上目にグツと絞つて腰に軽くつく程度。ボタンの位置はやゝ高目で、上部は自由に寛ぎ、上衣の丈は長目に、殊に片前型と兩前型では片前型が流行。えりは劍襷、並襟ともに勢力伯仲、専ら個人の好みによるやうである。然し運動服だけは必ず並襟。ボタンの数は二つか三つ、但し三つボタンの場合は中央のボタンがウエストラインの上に来るのが春の特



同様の髪型によつて、若き女性間に日本髪に似た傾向があつた。これは春の髪として代表的なもの。高山美容院高山大け女子校考案。

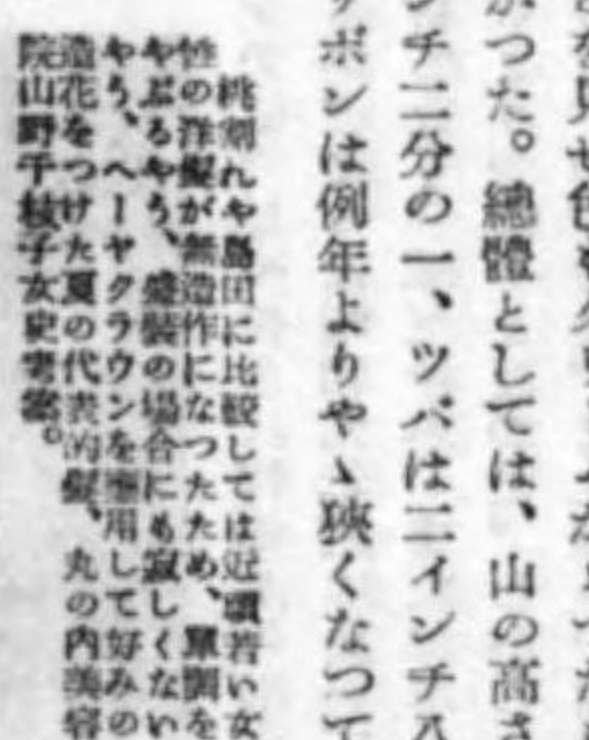
徴。袖口は二つボタンで、袖は總體に細目になつて来た。ズボンの裾口は膝下から幾分細目にして股下全體を長く見せるのが狙ひ處の中心。生地はウイステッドが主でツイード、スコッチ、サキソニの類と云つた毛の立つもの、ホームズパン風のざくつとした感じのものが人氣の中心を占めた。秋の色合ひは一般的に濃い色で明るい感じの色と云ふのが建前で濃茶が第一線濃紺とグリーンがそれに次ぐ。しかしグリーンだけは赤味を帯びた濃潤たる白人

の顔色には相當効果的であるが、生白いは青黒い東洋人にはどう慾目に見ても之は向かず、そこで日本では濃茶と紺が今秋の流行色。

型はまづ肩幅を廣目に見せることに注意が拂はれて居るが、従来の窶さも特か看纏縮の制服みたいなピンと上に突つ張つた形式のモダンボーイ然としたものと異つて僅かに肩線を入れてもこれに十分の柔かみを持たせ、春幅、胸幅たつぷりとして上半身はゆつたりとして居るが、腰の上につゞいて相當につめ、腰の處ではつかず離れず、従来より心持長目にお尻へかぶせると云ふ程度。ボタンは二つと三つとあるが日本人向きには二つボタン、また秋からダブルボタンの洋服も流行の舞臺に上つて来た。チョッキには技巧をこらさぬのが普通で、上衣のボタンをかける、丁度チョッキのボタンの最上のが一つ見ると云ふのが標準。袖は太くなく、袖先を一寸細目に絞り、袖のボタンは若向きには四つボタンが迎へられて来た。ズボンは股上を深目に、腰廻りを極くゆるやかにして、その調子で膝迄おろし裾口をちよつとつめる。即ちルーズ・フィットテングで一目ゆるやかに然もその中にスマートな男性美を發揮するのが新しい傾向。生地は春と大して變りがなく、ウイステッドとツイードの全盛、柄合は杉綾、崩れ格子、小格子等。

婦 人 服

と調和を見せやうとする意圖からに外ならない。形はセーラー型とケープリン型といふ兩型がもつとも普通型で變り型には、フチが角張つたもの、丸いフチでもピンと一直線に眞平にのびたもの等。秋の婦人服は背縷を踏みつぶしたやうな幅廣のペンヤンコ型。殊に大型のベレーが撞頭して来た。多のものは、またベレーが流行、わけても大型のベレーがその代表的であつた。しかしこれはあまり日本婦人には向かない、所謂ハンティング・ベレーと稱されるものが粹で流行の中心。併し最も一般的型は依然としてクロヂエ・セーラーであつた。クラウンは低く、縷は夏の流行に引き續いて廣いものもあつた。またもつとも新しい型としては、縷の先きが三角、四角になつたもの。オフザフェイス、マンニツシュ、ガルポローラー、プレトンなどは一般に愛好される型で、材料はやはりフェルト全盛。付屬として目につくことは、羽根飾りが復活して来たこと。又新しい所では房や紐が縷りに用ひられた。色は黒が斷然第一、併し濃茶、濃緑、濃いエンヂなど、洋服の色と調和するやうなものも勢力があつた。



此類の髪型は最近流行の代表として好まれない。やゝ古風な髪型の場合には好まれない。院山野千枝子女校考案。

ツバの上り氣味なものが尖端的なものとして流行界をリードし、一般向きとしてはオールスナツプスタイルと稱するツバ全部を下げたものが歓迎された。その他従来さらして編んだもの外に、無ざらしによる變り編みが生れて来た。これは極細によつて編まれたもので、特殊な美しさを見せ色もクリームが／＼つたものが多かつた。總體としては、山の高さは四インチ二分の一、ツバは二インチ八分の一インチは例年よりやゝ狭くなつて一イ

婦 人 帽

春ではスポーツ用にはフェルト及び麥わら、夜會用及びアフターヌーン用にはファイユ、ビロード、オートマン等。色合は黒と青、黒とローズ、さんご、青、白等で、一般に型は小さく羽根、リボン、又は花をつける。夏の婦人帽はつば廣の全盛。これは婦人服が殊更女らしさを目標として来たの

多にかけての肩のツンと突つ張つた婦人服、流行であればこそ銀座の舗道から場末のカフェーにまで見られる程の流行振りであつたが、さて昭和八年には、その絶頂に登りつめたと思つて、パリの流行は急轉直下、女性らしさに歸つて来た。即ち流行のいかり肩がすたれて撫で肩(ナチュラル・ショルダー)に移り、袖先がだらりと下つた所謂ドロップ・ショルダーに、そしてこれまで肩の兩端に集められた胸乳のあたりを集めて胸の一部を一入腹やかにし、ウエストラインは自然の細腰に落ちつき思ひきりびつたりと細く絞つて袴腰の所て曲線なりにふくらみ、太股あたりで再び絞つて膝から下で開くと云ふ肉體の全線を極端に露出發揮しやうと云ふやり方、これが大體の輪廓。襟は昨秋の流行から頭を持ち上げて来たハイネックが主流をなし、前面の襟が高いのに反して背後のくり込みを非常に深くした。これは首の襟穴が後方にずれたと云つた感じ、その影響で髪も後に撫で上げて縮らせ、帽子までもアマダに冠ると云ふ趣向になつた。ハイネックの一變型として花びらのやうに開いて顔が埋つて了ふ位な襟飾りをつけ、ドレスの共色や反對色が大膽に首を埋めた古典味の深いのが見えて来た。色合は褐色がすたれて、一帯に堅實な濃色へと向いて来た。春から新らしい姿を見せたのはレットディング・スカーツと云つてワンピースの上に一種の仕事着風に穿くスカーツで、下の本物のスカーツが垣間見えるやうなもので、早く云へばエプロ

ハンドバッグ 春のハンドバッグが目立つた變り方は概して横に伸び、山が比較的低くなつた點。皮革ではゴードヤカーフが主でこれを型押しにしたものが流行の王座を占め、押型の中では縷を主にしたものが人

ハ ン ド バ ッ グ

氣の中心。色合はグリーン、薄紫、ベージュ、ピンク、白等の薄色系で、然も柔らかな感じが喜ばれた。更らに五六月頃からの盛夏には白色が人氣の中心となることを思はせた。變り革としてはワニ、白トカゲ、スネーク、サメ等のエキゾチックなもの、洋風趣味の近代女性の心を奪ひ、その反面にはまた極くシトリとした日本趣味の製地ハンドバッグ再登場を示し、重要な地位を確保した。夏ではカーフにエナメルを加工したもの、ビーズ製のもの、紙にセルロイドを加工した精華織、人絹の織維を加工したもの、その他パナマが流行。色合は白が基調色で、その配色としては、明朝を意味するブルー、エンヂ、綠等の極くあつさりとしたもの。それに涼味をそよめる金屬の金具をつけるのが流行。型は比較的長方形が多く、變り型でも、これを外れて居ない。たゞふたの線の單調を救ふため、種々の工夫がこらされた。秋のハンドバッグは、英獨の流行界に流行し始めて来た云ふ金屬パイプの圓輪に、革の圓型袋を取りつけた尖端的のものを筆頭に、形は大體大きく派手にと云ふのが特徴。革は柔かい山羊革のベルベット、普通の山羊皮、皮革以外ではイード木綿、シチン、部分では金屬鎖に革をよりませて紐とするのは、春から續いて居る傾向。色合は縷と茶、大體は洋服と同じく明るい單色。

シ ョ ー ル

男子帽子 色はシルバーグレー及びライトグレーで、ともに明るい鼠が中心で、ライトブラウンがそれに次いで傍系をなした。即ち色調が一段と明るく淡色に向つて来た。この他ではクリーム色のか／＼つたものも相當に見受けられた。スタイルは山が高くツバが狭くと云ふのが流行の要旨。老人向きのものを除いては、フチ無しのスナツプ型が特に春向きとして迎へられた。パナマはホンブルグスタイルと稱する

春のショールは除根濃色へと傾いて来た和服の流行色といふ調和を見せるやう意圖され、色彩や模様を以つて服色に對することを避け、薄地のショールからえりの美しい曲線がのぞき、どこまでも凝つた半えりの美が損はれないやうに、概して白や鼠系統の淡色が基調をなした。地質も若向きにはジョーゼット、中年向きには國産レースが歓迎される傾向を示した。大體のところ、一見極めて單調になつたと見せて居るが、手にとつてよく見ると、織方にも縫や絞りに非常に複雑な技巧が用ひられて居る。かくして春のショールは防寒の用途から純然たる飾飾りへと轉向して来たことがはつきり見えた。

秋のショールは大體から云ふと織り方にふつとくらししたコクのある感じを持たせた所謂立體感の強い複雑な地風の生地が流行の中心。色調はすでに流行品は一向に變質を見せ居ない。特に云ふならば従來のバタ臭い洋風趣味から純然たる大和趣味に統一され、しかも横縞や格子の極くイキ好みのものが受けた。極くモダンな所では、鮮やかな色彩の反対色を取り合せたものも擡頭しかけたが、まだ流行の中心とはならなかつたやうだ。

パラスール

大體地味になつて萬事がグツと落ちついて来た、まづ色合は鮮やかな原色系統が全く衰をひそめて、白色かそれに近い

薄色が全盛となり、特に淡いグリーンが目立つて来た。そしてコハクの安物を除いては全部が二重張り。張り方は昨年の二重張りのものと正反對で、裏が白で表が薄色。生地は並ものでコハクの縮か、ほぐし織りになつたもの。高級品はレースの丸張りか切りかへ張り。サイズは和服向きは十七インチ半、骨は派手物が十六間、濫いもので十四間、洋装向きと和服向きは十五インチ位。柄は昨年の極端に短かいものから心持ち延びて、約四



若い女性間に流行が著しくなつて来たのは、この髪型と化粧のやりやう。山崎千枝子女士が考案したものである。

インチ位。ヒモ付きは昨年から出現して居るが、ヒモは昭和九年度に於いては特に縁でなく、革だけか、または革と金屬鎖のより合はせとなつた。しかしヒモなしの方が初登場品。また握りの曲つたものは全然市場から去つて、ズンド一盤張り。石つきも短かく、柄と同質のものに定つて来た。

日傘

一般向きにはやはり花鳥模様萬能であ

つたが、數奇者には水玉や波、或ひは夏草等あつたりとあしらつたものが歓迎され、また一部の濫好みの婦人達にはろうけつ風の拔染技法によつて、狩野派風の淡彩であしらつた大和縮風のものを受け取つた。骨数はまづ十六間が標準。外部に見える竹骨の面は従來流行の青竹からススキんしゃ、並物は羽二重。

ネクタイ

ネクタイは單に服飾品と云ふだけなく、近頃では各人の趣味教養の程度を云々せられることが多いので、心ある人は非常に精細に吟味するやうになつた。たゞ、一概に流行品としては照りにくくなつた。然し全體の傾向は明るい調子と云ふことが條件となつて居る。

地合は洋服とのつり合ひ上、平織りよりは變り織のふつくりとしたものに向つて来た。色目は紺、茶、グリーン系統が主で鼠が之れに次ぎ、柄行きは大柄のものより落ちついた小柄のものへと移つて来た。

昭和九年の美容を語る

髪が相對的に短くなつて、やゝロングバツプになり、年を老つた人も若い人も押しなべてさうなつたこと、それからバ

れやう。——山崎千枝子

お化粧は極く自然化粧が擡頭して来た。そのため白粉を少くつけて、紅だけを多くつけると云ふ傾向もあつた。又よしあしを考へずに健康色と云ふために汚いと感じるやうなお化粧も見受けられた。

髪の方ではパーマネントの流行は著しいものがあつたが、一般に頭のことには無關心な傾向があつた。立派ななりでありながら頭飾りもない風流な状態を呈した。これに對し一言批評を加へるならば、西洋の婦人は帽子を被るので、それを取りかへるによつて美しさを見せるのであるが、帽子を持たない日本人は、たゞ髪を丸めて居るのでは美しさは見られない。俗にもかみかたちと云ふ位であるから、もつと髪に對し關心を持つべきであらう。少くとも男子が理髪を行つて後、自分でボマードをつけ手入れするやうに、それ位の手入れをすべきではないかと考へる。——小口みち子

結髪に對してかまはなくなつた。云ひかへれば技巧的なものがなくなつたと云ふことになる。今日美容院の洋髪部が暇になつたと云はれるのも、一般の方が髪を忘れて居るからであるやうに思はれる。

お化粧では、これまで意味のない色の使ひ方をして居たのが、色に對する智識が普及されて来たため、去年の如きは異つた色を使ふよりは、古い色のものがよかつたと思つたが、今年にはさうした危惧

の念は生じて來なくなつた。一般に上手になつたため、全體的にびつたりして來たと思ふ。——大野野子

各地を歩いて見るのに、婦人の美容は變つた。去年と較べ髪を結はない傾向が著しく多い。これが原因は何處から來たか。まづ婦人の髪がウエーヴによつて切れてしまつたこと、これが第一の原因である。それから婦人の通性として、全部が全部、レヴュー界や映畫界の人氣



秋から流行して多くなる日本髪は、冬に上つて全盛を極めた。これは何となくふつとくらしと云ふ時代の好みを見せるべく、山崎千枝子女士が考案した冬の代表的な髪型。

女優の眞似をしたがるもので、婦人雜誌等を讀んで、自分のお化粧の手法とするのであるが、それ等雜誌等に見受けられる化粧品、小間物の廣告デザインに、小間物、化粧品の要らないやうな女優の顔が少くないため、小間物、化粧品の宣傳でありながら宣傳をしない決果を生じ、美容がうとんじられて来た原因でもあつた。實際化粧品、小間物の要らない化粧なんて見るところがないものである。昭和九年に於ける美容こそは見るべきものがなかつたの一言につきやう。尚、われ

われが日本髪を催し、日本髪の大行進を行つたり、研究会をいろいろ催して見たりしたが、一般には普及されなかつたと云へよう。——高山長太郎

洋髪で云へば、大して變りはないが今までより顔に合ふやう、あまり流行に捉はれなくなつて来た。お化粧でもお化粧したと云ふ感じのないものが目立つて來た。まづ眉毛が極端な細さから自然になつて來たこと、口紅も紅を濃くしないでコールドクリームで艶を出すやうになつて來た。頬紅もクリームをつけてお白粉をつけ、その後頬紅をつけると云ふのではなく、クリームをつけただけお白粉より先に頬紅をつけて自然味を出すのが新しい傾向となつて來た。——中村幸子

お化粧が非常に無造作になつたが、無技巧の技巧と云ふやうなよい意味の技巧も見受けられた。その例として、眉など一時極端に細くなつたが、自分の眉を尊重し、尚且つそこに苦心して美しく畫くと云ふやうな傾向になつた。又口紅も下唇をくつきり出すやうになつたのも著しい變化であつた。

昭和九年度で一番問題にされたのは自然美と健康美と云ふことであつた。そのため化粧の土臺を造ることが叫ばれ、根本療法と云ふことが工夫されて來た。ま

パーマネントウエーブがいよ／＼本格的になり、實用的になつたこと、ロールやカールの全盛を極めたこと、ドンシダが半分以下になつたこと、その理由としてはロングバツプでも日本髪に結へる工夫が出来たからであり、一生にたつた一度の日本髪のために、髪にしばられないと云ふ考へ方のため、この風習はますます多くなるやうである。それとペンダ即ち額の髪を切るのが流行したこと、以上が髪だけの傾向又特徴。

お化粧の方ではこれまでの細い眉毛がぼうつと自然的になつたこと、口紅が淡くて艶を持つて來たこと、即ちこれまでに乾いたものでなく、コールドクリームで艶を出すやうになつた。白粉の色は、ほんとの膚の色を生かすやうになつて來たこと、で、去年から見ると整調になつた。言ひかへれば模倣時代から過渡期を抜き出でて、とび抜けた笑つ飛などぎつさがなくなつたわけである。——早見君子

洋服がいかり肩を清算し女らしい自然的女肩となり、女らしいと云ふことが服飾界の問題となつたため、お化粧も必然的にその影響を受けたことは云ふまでもない。即ちお化粧は、いかにもお化粧をして居るのを見ることが嫌はれて、自然的女野生的な化粧に變つて來た。

髪は帽子の流行によつて、ウエーヴよりカールしたものに重きを置き、今盛んに口にされて居る流線型へ變化した。それからパーマネントがいよ／＼普及して來たことも昭和九年の傾向として挙げら

朝鮮婦人の化粧

た從來理解されなかつたパーマネントの特徴即ちマーセルウエーブに見られない良さが發見された。それからクロキノルマーセル即ち毛をそいで先へカールし、後方へ毛を揃へるウエーブが流行し始めた。それから流線型が取り入れられ、分け方に自由奔放さが見受けられ、つやつやしい毛が表へ出るといつた良い結果も生れて來た。——山崎千枝子

朝鮮は古い時代から優れた文化を持つち、榮浪の頃から煉白粉なども既にあつた位ですから、婦人が化粧への憧れを持つてゐることは、内地と少しも變りはありません。肌の白さと云ふ點も、日本婦人と大差ありませんが、一般に日本婦人に較べると、風土的に婦人の肌のキメは非常に細かいです。

隨つて今日、内地の婦人達が用ひてゐる濃化粧は白粉が滑つてよくのらない質の肌が多いのではないかと思はれます。

現在、朝鮮婦人の化粧は極めて薄化粧で、これに内地婦人と同じやうな濃化粧をすゝめることは、尙、前途遠くであらうと思ひました。朝鮮の婦人達が普通行つてゐるお化粧はクリームとか、粉白粉とか、又はクリーム白粉といふやうな簡單につけられて薄化粧の出来るものが嗜好されてゐます。

(阪本一郎氏撮影。一編)

美容界の問題

全體的に云へば経済上、財界の不況と云ふ大きな影響を蒙つて、振はなかつたと云へる。また個々について之れを見るならば、最近美容院も必然的に資本主義化すべく餘儀なくされ、設備に於いて、技術に於いてサービスに於いて最善を盡さないものは没落する傾向を生じた。今日デパートの美容部が一般美容院の不況の裡に繁榮しつつあるのは、この事實を物語るものである。そのため開業者は従來の古い設備をすてます、大規模な設備を要することとなり、これに反するものは、時代から置いて行かれることとなつた。それから昭和九年度の著しい傾向として、研究熱の勃興がある。殊に東京に於いて著しかつたが、地方に於いても講習會が多く催され、美容術業者の知識向上が行はれたと云へよう。尚、團體の統制がとれて来たことも見逃せない。すべてのことに統制の必要があると同時に美容術業者間の統制も叫ばれ、いよゝゝ強化され、所轄警察内の各組合で協定された料金が嚴重に守られて来た。――島田一郎

不景氣の餘波をうけて、美容術業者は一般に不振であつた。そのためあつて業者が共同線を張つて、ともに利用される必要が生れて来た。個人々々が繁昌するの必要ではあるが、それと同時に自ら自分一人がずば抜けても駄目、美容術業者全體の水準を上げることが目下の急務となつて来た。これを例へて見るならば、役者で、今日藝術家として押しも押されぬのは、これまで俳優各人が期せずして覺醒したその結果に外ならないので、美容術業者もさうありたいものである。それから昭和九年は、一流の美容家など取りすまして居られなくなつたのも顯著な事實である。うっかりすればすぐ時代にとり残されると云ふ、美容家の不安時代でもあつたと見ることが出来る。――小口みち子

美容界の一年

一月 元日より開場した東京劇場内に、休憩室兼レイト化粧室開設。――北原十三男

三月

二代目遠藤津子女史退く
東都に於ける美容術業者の有志から消防火の罹災同業者へ義金

四月

大阪化粧品商報、大阪愛油同業會協力の下に、毛髪美を讃へ頭髪美の常用要訣を目標とする標榜の懸賞募集発表
丸の内美容院主山野千恵子女史、神田のY.M.C.A.ランチョンクラブで「美容院より見たる職業婦人」と題して講演

五月

大日本美容協會主催、東京朝日新聞社後援の下に、全國美容技術選手権大會開催
ミヅ石崎本舖、同本舖ホールの結髪業者百二十名を招待、お化粧講習會開催
三五同盟、大阪南海高島屋で發會式舉行
渡邊津洋氏、西歐美容視察行脚より歸朝

六月

渡邊津洋後援會主催、サーロ白粉本舖後援の下に、渡邊津洋歸朝歓迎美容大會開催
鷹巣農林學校校長折橋六郎氏桑の根より美髪料を取ることに完成

七月

山口聯合婦人會、同愛國婦人美容服飾流行

會共同の下に、縣下婦女女子より「毎日の脱毛、すき毛、古毛、たばこ等を集め、これを賣つて非常時國防費に献納すべく毛髪報國を企圖

八月

女教員の服装が當局の問題となり、各小學校へ通達せらるるパリのアントソソ、生活美容術を發表
東京美容名人會開催

東都美容家一覽

- 岩崎邦子 巴里院美容女學校
神田區東區東區一 浪花六七九
早見君子 銀座美容院 京橋區銀座七の一 銀座八八三 白木屋美容部 日本橋區前日本橋一三四一
長谷菊子 京橋區銀座西七の二の四 銀座五三九三
細野スズ クラブピエティティハウス 麹町區丸の内有樂町一
千葉登子 伊勢丹美容部 四谷區新宿三の八 四谷七〇五〇、七〇五一
小口みち子 小口美容研究所 京橋區京橋七の一 京橋五四九
三越美容部 日本橋區室町一の七 日本橋三三二
小川たか子 小川家 日本橋區吉川町一 浪花五八二四
小川琴子 小川美容部 赤坂區田町 赤坂一四六三
大澤由依 京橋區銀座八の四の二 銀座一〇一九

十月

小林トモ女史、日本髪模押へ「國粹」を考案發賣
十一月
クラブピエティティハウス、丸の内有樂町に開設
野女史、大日本聯合婦人會美容講師に迎へらる
十二月
バリエーション・テイ・ア・アカデミー校長カスト・ケルム氏來朝

東京女子美容術組合一覽

Table with columns for district names (e.g., 神田區, 丸の内區) and member names (e.g., 高木トメ, 鈴木タカ).

Table with columns for district names (e.g., 本所區, 荒川区) and member names (e.g., 高木トメ, 鈴木タカ).

- 区青山南町六の二二 三九五七 美松美容部 日比谷
- 川久保たま 四谷美容院 四谷 交又點 銀座一〇一 二一 山野
- 川本八重 川本美容院 芝罘西 美容研究所 澁谷區大和田町四
- 久保巴町一三、芝一〇四八 八 青山一〇七七
- 吉行あぐり 山手美容院 麹町 マリイ・ルンズ マリイ・ルンズ
- 区土手三番町一七 九段一三〇 五一〇 麻布區霞町一七 四谷五
- 三丁目 京橋一五五 七九七三 四谷區左衛門町五九
- 七 伊東屋美容部 京橋區銀座 四谷五五一〇 芝罘芝口ビル五
- 吉江たか子 大禮會館美容部 階 銀座三六九 マリイ・ルンズ
- 澁谷區藤田三の一七〇 青山一 美容女學校 麻布區材木町八
- 〇二三 前川静子 虎の門美容院 芝罘
- 区瀬いね 瀬瀨女子高等美髮實 翠平町一 芝二二三三
- 修會 日本橋吉川町一〇 浪花 小柳浪子 クレオ美容部 麹町
- 六〇八 田中花子 麻布美容院 麻布區 区丸の内九ビル二八五、二八七
- 区中花子 麻布美容院 麻布區 丸の内二八八二
- 区山たけ子 高山美容院 麹町 小山扶美子 巴里院飯田町分院
- 区三番町一六 九段三七四八 麹町 麹町區飯田町六の一七 九段三
- 田中雅子 代々木美粧院 澁谷 四八四
- 区千駄ヶ谷町五の八四九 四谷 佐藤あき 佐藤美容院 下谷區
- 二二六七 数寄屋町一三
- 中川兼子 高島屋美粧部 日本 佐藤光子 佐藤美容院 京橋區
- 橋區通二丁目 日本橋四一一 京橋一の五の七 京橋七三五二
- 中村幸子 柳屋美容部 日本橋 北原十三男 北原美容院 京橋
- 區通二丁目 日本橋一八五九 區銀座五の五 銀座四七五四
- 牛山喜久子 ハリウッド美容室 岩間里子 岩間美容院 麻布區
- 京橋區銀座七の二 銀座五四四 一之橋 赤坂七三四〇
- 一 ハリウッド美容室 京橋區 宮前千代子 宮前美粧院 神田
- 銀座四の一の二一 京橋四七三 區今小路三の一 九段一五一
- 三 ハリウッド美容研究室 京 七
- 橋區木挽町 京橋三四一、三 芝山みよか 松坂屋美容部 下
- 四六二 島本ちよ子 ひやうたん家 芝 一一一
- 桑島千代 桑島美容院 京橋區 區南濱町七 高輪二四四五
- 銀座西七の五 銀座七七一 廣瀬千代 廣瀬美容院 淺草區
- 柳村マサジ カリソソ美容院 千束町二の一九〇 淺草五二一
- 京橋區銀座西七の五 銀座三〇 三
- 二九 山野千枝子 丸の内美容院 麹 關口文子 錦華美粧園 京橋區
- 町區丸の内ビル一階 丸の内

心の亂れ

以前は男子が身なりを整へたり、整容に注意したりすること「お洒落」として一般に輕んじられたもので、甚しきは婦人の化粧すらも、人に知らずまじきこゝとして化粧に對しての一種の偏見が抱かれてゐたもので、今日では、かうした偏見もなくなり、男子婦人ともに身なりを整へることは、社交上當然の禮儀として、また、生活の必要な一部分として重んぜられるやうになりました。

ところで、今日、意外に感ずるところは、男子は一般に頭髪から、服装、持ち物と、比較的すべに亘つて注意が行届いて來たのに反し、婦人の場合は、衣服にのみ注意の重點がなかれ、頭髪とか、履物には殆んど注意が拂はれてゐないのではないかと云ふやうな感じがします。昔はまず第一に髪を結び、次に化粧衣服等が考へられたもので、今日では、衣裳がまず第一で、結髪は第二、第三、甚だしきは化粧は考へるが、結髪には殆んど注意しないといふやうな方も少なくないやうです。従つて、化粧とか、衣裳とか云ふ點ではあるが、苦心がうかゞはれるやうですが、これを全體として見るときは、調和がとれぬと云ふ

やうなことが少くないやうに思ひます。この點、今日の婦人の風俗を見て、いさ少し全體に注意して欲しいと思はれるやうなことが少くありません。

衣服は少しくも美服である必要は少しもなく、たゞ禮儀を失はぬ程度に清潔であれば何でもよいわけですが、今日の男子が比較的、全體に調和した身なりを、のへてゐるに反し、婦人の服装には調和を失したものが少なくないやうに感じます。例へば如何に美しい衣服を纏ひ、結髪が亂れてゐても、甚だ興ざめた印象をうけるもので、その婦

人の心のたしなみにも缺ける處があるやうに感じられるもので、す。髪は亂れば、心の亂れとも云つて、精神上から見ても、きちんと整髪してあれば心も常に緊張してゐるわけですから、頭髪から履物に至るまで、調和ある好みによつて統一するやうに努めたならば、その人の心の中も奥ゆかしく見えることと思ひます。新年を迎へて婦人達が美しく着飾る機会が多いにつけても、商賣柄、頭髪と衣裳との調和について、かうした感じを殊に深くする次第です。(九・二・東京商報・山梨政平氏)

可婚年齢者の年齢別配偶關係 (五歳階級別)

年 齢	未 婚		有 配 偶	
	男	女	男	女
15-19	3,246,500	2,654,000	35,130	328,000
20-24	2,238,200	900,010	546,980	1,682,000
25-29	727,920	171,000	1,722,310	2,050,030
30-34	170,000	63,000	1,905,080	1,774,020
35-39	69,200	34,000	1,674,000	1,583,020
40-44	44,790	20,000	1,595,110	1,421,010
45-49	23,400	16,000	1,413,050	1,225,020
50-54	27,390	16,000	1,258,860	1,035,000
55-59	9,160	17,000	960,560	712,000
60-64	9,090	7,000	653,170	411,000
65-69	6,010	7,000	410,110	226,000
70-74	6,000	2,000	232,020	142,000
75-79	2,000	4,000	116,000	38,000
80以上	1,000	1,000	51,000	10,000
總 數	6,585,600	3,912,010	12,573,380	12,637,100

業界品の歴史

香料の歴史

人類と香料との交渉は甚だ古く、香料の防腐力が大であるから、太古に於いては死體の防腐に香料植物をそのまゝ使用した。それから神前に香を薫する風習を生じ香により莊嚴を感ずるに至つた。それと同時に又香料の殺菌力は醫藥用として用ひられたこと、支那の神農伏犠時代の事實を見ても明らかである。

香料の起源地と見られて居るのはパミール高原で、宗教的に用ひられ、續いて印度の文明に入り、宗教以外の實用の方面、趣味の方面にも用ひられ、ますます各方面に傳はつた。かくして香料は、一方は支那文明に輸入せられ一方は埃及文明に移入せらるゝに至つた。埃及の文明より羅馬の文化時代に入つては更に嗜好品として缺くべからざるに至り、而かもその産地は東洋なるを以つて、埃及に於いては馬背によつて遠く之れを輸入した。羅馬に於いてはヴェニス港の貿易品の要部を占むるに至つた。勿論當時の香料は主として固體にして香味料とともに取扱はれたもので、桂、丁香、白瓊、生薑、乳香等價格甚だ貴重なるもので、香料としては濃劑として使用し或ひは香粉、香膏等として化粧にも用ひたやうである。

わが國に於いても奈良朝の文化時代に、香爐の美を競ひ、止木の香を誇り、更らに平安朝に入りては、支那より輸入せる「香合はせ」の遊戯の發達となり、遂に「香道」なる方則を生じた。化粧に使用したこともすでに源氏物語等に現はれて居る。

香料の盛んに用ひられるにつれ、天然植物より揮發油採取の方法も漸時進歩し來り、昔は單なる興味であつた水蒸氣蒸溜法も六世紀頃より實用せらるゝに至り十世紀に至りて大いに用ひられ、西洋に於いては蓋蓋

資料統計

石鹼の歴史

石鹼は二千年の昔、西曆紀元前からあつたと云はれて居る。その證據として、聖書の中にも石鹼と云ふ言葉があり、ギリシャの喜劇詩人アリストフアネス(紀元前四四〇—三三五)や大哲學者プラトニー(紀元前四二〇—三四八)も此の言葉を使つて居る。石鹼のことが書物に記載された始めは、ローマのプリニーと云ふ人(紀元二三—七九)の著書で、これによればゴル人が山羊の脂肪と一種の木の灰から石鹼を造つて髪を洗ふに用ひたとある。又その頃の石鹼の主な用途は化粧用ではなくて醫藥用であつた。その頃ローマでかなり盛んに石鹼を製造して居たことは、紀元七十九

各業界品の工業的觀察

業界の主要製品に關しては、商品史の部門に於いて既にその生産及び市場に於ける一年間の消長に一瞥を加へたが、その中に扱はなかつた工業的方面に就いての資料を聊か擧げて置く。

石鹼工業

わが國の石鹼工業は、歐洲戰爭以來急速の發展を遂げ、近年にはその産額約四千萬圓に達するに至つた。而してその中約二千萬圓を支那、滿洲、南洋方面に輸出して居り、かくて明治末期に當つて、當時迄約九百萬圓の輸入を四分の一に減じ、近年は二十萬圓内外の化粧石鹼を主とした輸入があるのみである。従つて既に日本の石鹼工業は自給の域に達したのみならず、尙且つその餘力を輸出に向けて居る。石鹼工業の總資本額は詳かたて無いが、外國の投資は全く無い。しかし日本の石鹼工業を國民の消費の點から見ると、一人當りの石鹼(全種類にわたり)消費率は一箇年約一噸で、之れを北米合衆國の十二噸、英、佛、獨、和等九乃至七に比較すると格段の差がある。けれども三十年前に比較すると、今日の數字が約四倍に増加して居ることは著しい飛躍と言はなければならぬ。

わが國石鹼製造の現況は先づ油脂類大(約六萬噸(昭和六年)の消費高(推定)中約二萬噸は牛脂を主として輸入されて

るが、殘高の二萬噸は、國産硬化魚油が占めて居る。日本産魚油、滿洲産大豆油、滿洲産牛脂及び羊脂、朝鮮滿洲、支那、印度産棉實油、南洋椰子油、米國産ロジン、南洋産カボク油等は品も重要な原料である。

次いで製品に就いて見るに消費量に於いて化粧石鹼(粉石鹼を含む)の割合が、日本では最近三五パーセントと對五パーセントの割合であるが、米、英、獨、佛等の例では十乃至十五パーセント對六十乃至八十パーセントとなつて居ることは、一面日本の石鹼工業の發展の方向を示すものと見られて居る。化粧石鹼中約二パーセントは煉石鹼である。個々の洗濯石鹼は多くはロジンと珪酸ソーダを配合して居る。粉石鹼は近年著しく需要が増加して居る。原料として、安價なる醬油の油が多量に利用されて居る。又織物石鹼を主とした工業石鹼が、石鹼全消費の約九パーセントを占め、漸く重要な位置を有して居る。然るに軟石鹼の需要と生産とは微々たるものである。尙、總體としてわが國製品の品質に就いてはすでに外國品に劣らざる程度に達して居る。製法に就いては作業の機械化の程度以外全般的には、歐米と著しい差異がなく製造機械は概ねすでに國內で製作されて居る。

香料工業

わが國に於ける天然香料としては、樟腦及び樟腦油と薄荷並びに薄荷油が合せて約二千萬圓產出し世界一の生産地であるが、此の外北海道、樺太に産する針葉樹からテレピン油、松葉油、北海道の湖沼に野生する菖蒲より菖蒲根油、奥羽より酸豆、四國にかけて黒文字油、紀南地方の蜜柑油等があり、これ等を合して年額三四百萬圓即ちわが國の天然香料は合計二千五百萬圓と見積ることが出来る。一方合成香料は、樟腦と薄荷を除いたもの、すべてが製造されて居るが、これは極めて主要なもののみで、此の外現今製造されて居るのを合すると約二百種にも達し、年産額約百萬圓である。

あるが、此の外北海道、樺太に産する針葉樹からテレピン油、松葉油、北海道の湖沼に野生する菖蒲より菖蒲根油、奥羽より酸豆、四國にかけて黒文字油、紀南地方の蜜柑油等があり、これ等を合して年額三四百萬圓即ちわが國の天然香料は合計二千五百萬圓と見積ることが出来る。一方合成香料は、樟腦と薄荷を除いたもの、すべてが製造されて居るが、これは極めて主要なもののみで、此の外現今製造されて居るのを合すると約二百種にも達し、年産額約百萬圓である。

輸出を見つゝあり、且つ大豆油にしても原産地滿洲に近き好條件にあるために、わが國の油脂工業は比較的恵まれた状態にあり、大正の終りですら、硬化油の生産高は、國內需要を充して餘りある有様であつた。併し對外的には滿洲の獸脂が英本國の金本位制の停止と、もにわが國への廉價輸出を開始するに至る等、昭和六年末金輸出再禁止に至るまでは甚だ不況に推移したのであつたが、その時以後漸く不況を打開するに至つた。かくしてわが國の硬化油産額は次の數字を表はすに至つた。單位應

わが國に於ける天然香料としては、樟腦及び樟腦油と薄荷並びに薄荷油が合せて約二千萬圓產出し世界一の生産地であるが、此の外北海道、樺太に産する針葉樹からテレピン油、松葉油、北海道の湖沼に野生する菖蒲より菖蒲根油、奥羽より酸豆、四國にかけて黒文字油、紀南地方の蜜柑油等があり、これ等を合して年額三四百萬圓即ちわが國の天然香料は合計二千五百萬圓と見積ることが出来る。一方合成香料は、樟腦と薄荷を除いたもの、すべてが製造されて居るが、これは極めて主要なもののみで、此の外現今製造されて居るのを合すると約二百種にも達し、年産額約百萬圓である。

油脂工業

わが國に於ける天然香料としては、樟腦及び樟腦油と薄荷並びに薄荷油が合せて約二千萬圓產出し世界一の生産地であるが、此の外北海道、樺太に産する針葉樹からテレピン油、松葉油、北海道の湖沼に野生する菖蒲より菖蒲根油、奥羽より酸豆、四國にかけて黒文字油、紀南地方の蜜柑油等があり、これ等を合して年額三四百萬圓即ちわが國の天然香料は合計二千五百萬圓と見積ることが出来る。一方合成香料は、樟腦と薄荷を除いたもの、すべてが製造されて居るが、これは極めて主要なもののみで、此の外現今製造されて居るのを合すると約二百種にも達し、年産額約百萬圓である。

設立あり、今後増産を見るべき趨勢にある一方に於いては海外よりの輸入牛脂を完全に防遏し得るに至つた。

曹達工業

わが國の曹達工業は、最初ルブラン法に據つて起つたのであつたが、歐洲戰爭當時水力電氣の開発漸く盛なるにつれて之れを利用する電解工業も亦各地に計畫され、食鹽の電解による苛性曹達の製造も行はるゝに至つたが、更に特筆すべきはアンモニア曹達法に據る曹達の製造である。わが國に於けるアンモニア製造法は、外國の特許に依頼して起つたもので、わが國の化學者によつて始めて工業的成立を見た云つても良いものである。さてわが國曹達工業は金輸出禁止によつて外國品の壓迫を逃がるとともに硝子、石鹼その他諸工業の隆盛によつて需要増加の影響を受けたために、一大發達を遂げるに至つた。最近に於ける本邦曹達灰及び苛性曹達の用途別並びに産額を示せば左の通りである。

品名	昭和七年	昭和八年
苛性曹達製造	五五,〇〇〇	九五,〇〇〇
硝子製造	五三,〇〇〇	六〇,〇〇〇
藥品製造	一八,〇〇〇	三三,〇〇〇
岩鹼マゲネシウム製造	一八,〇〇〇	一三,〇〇〇
染色その他	一三,〇〇〇	三三,〇〇〇
計	一五七,〇〇〇	二〇四,〇〇〇

品名	昭和七年	昭和八年
人絹製造	四六,〇〇〇	五〇,〇〇〇
染料製造	一〇,〇〇〇	三三,〇〇〇
石鹼製造	一四,〇〇〇	一六,〇〇〇
漂白用	九,〇〇〇	一〇,〇〇〇
製紙その他	六,〇〇〇	五,〇〇〇
計	九六,〇〇〇	一〇四,〇〇〇

之れに對する内地生産高及び輸入高は次の通りである。

年次	内地生産高	輸入高
昭和七年	一四六,七〇〇	四六,四〇〇
昭和八年	二〇〇,七〇〇	八六,六〇〇

セルロイド工業

セルロイド工業は、その原料たる天然樟腦が、本邦特産品たるの好適條件にあり、すでにその年産額は昭和八年度に於いて世界第一位に進出した。世界に於けるセルロイド年産額は左の通りである。

國名	單位應
日本	八八〇,〇〇〇
獨逸	六〇〇,〇〇〇
米國	五四〇,〇〇〇
佛國	二〇〇,〇〇〇

わが國に於ける天然香料としては、樟腦及び樟腦油と薄荷並びに薄荷油が合せて約二千萬圓產出し世界一の生産地であるが、此の外北海道、樺太に産する針葉樹からテレピン油、松葉油、北海道の湖沼に野生する菖蒲より菖蒲根油、奥羽より酸豆、四國にかけて黒文字油、紀南地方の蜜柑油等があり、これ等を合して年額三四百萬圓即ちわが國の天然香料は合計二千五百萬圓と見積ることが出来る。一方合成香料は、樟腦と薄荷を除いたもの、すべてが製造されて居るが、これは極めて主要なもののみで、此の外現今製造されて居るのを合すると約二百種にも達し、年産額約百萬圓である。

油脂工業

わが國に於ける天然香料としては、樟腦及び樟腦油と薄荷並びに薄荷油が合せて約二千萬圓產出し世界一の生産地であるが、此の外北海道、樺太に産する針葉樹からテレピン油、松葉油、北海道の湖沼に野生する菖蒲より菖蒲根油、奥羽より酸豆、四國にかけて黒文字油、紀南地方の蜜柑油等があり、これ等を合して年額三四百萬圓即ちわが國の天然香料は合計二千五百萬圓と見積ることが出来る。一方合成香料は、樟腦と薄荷を除いたもの、すべてが製造されて居るが、これは極めて主要なもののみで、此の外現今製造されて居るのを合すると約二百種にも達し、年産額約百萬圓である。

國名	數量	金額(千圓)
英國	一八〇〇,〇〇〇	七五〇,〇〇〇
露國	七五〇,〇〇〇	六〇〇,〇〇〇
伊國	六〇〇,〇〇〇	一三〇,〇〇〇
獨逸	一三〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇
瑞國	九〇,〇〇〇	一〇四,〇〇〇

グリセリン工業

グリセリンは油脂工業の確立、石鹼工業の發達により、今では完全に自給自足の域に達して居る。商工省工場統計表に依つて、近年に於けるグリセリン生産高の増加振りを窺へば次の通りである。

年次	數量	金額(千圓)
昭和三年	二,九一八	二,六七五
同五年	四,九六三	三,〇一九
同七年	六,三二二	三,九一八

右に見るが如き飛躍的増加振りであり、當業者間では昭和七年の生産高は約五千噸、昨八年度が六千噸と主張して居るが、しかしこれ等の説は暫く措き、商工省統計七年度の數字を基礎として昭和八年度の産額を推算すれば、前年より約一千噸の増加と見て七千噸見當に上るものと見られ、全然海外品の調子より脱して居る。

世界各國の貿易調節施設

日本品の輸出に障礙を掛ける世界の各國が、その貿易調節に如何なる施設をなしてあるかを調査し九三并物產出版「貿易調節施設」中から、

輸出に關する部分だけを採集したものである。

石鹼、護謨靴、綿製品、鉛筆等の日本品販賣に對する輸入阻止問題熾烈なるものがあつたが、萬事は日英民間會商によつて自重し特に關稅引上げはない。

昨年初以來特に變化はない。爲替管理及輸入割當制度等もない。但し高率關稅の外に輸入品課稅價格の引上げ、ダンピング稅(爲替關稅と同じ)及びオツタワ協定に依る英帝國保護等の方法により既に外國品を驅逐済み、九年に入り特に値ひする施設はない。

八年度日本品ダンピング問題やかましく遂ひに一部關稅の改正を見たも、現行英特惠率を約四分の一減額し、ダンピング課稅方法の変更並びに曹達灰の關稅引上げ以外特に日本に大なる影響ありたるものはない。

日本品ダンピングの聲を聞かせる。依つて日本側に於いては片貿易調節の爲め九年に入り急に南阿羊毛約一萬俵買付を以つて、南阿側の關稅引上げ機運の抑制に努めたが、大豆油、椰子、メリヤス製品等の二十品目に對し輸入稅引上げを実施し、外に爲替管理、ダンピング稅も實施した。

印 度

雜貨關稅は日印會商より除去せられたが、突如として昨年十二月、印度は石鹼、鉛筆、魚油、綿メリヤス等の高率關稅引上をなした。

新西蘭

各自治領中最も英本國本位の自治領で日本品として餘り期待し得ざる市場であるが、最近日本品の幾分かの進出を見るに至り、七月中旬等寸等の關稅引上又は英特惠率引下を行った。爲替管理並びに輸入制限、割當稅等なし。貿易調節は専ら關稅による。

その他英屬領

香港は自由港で殆ど無稅、海峽殖民地は業界品に對して殆ど無稅であり、馬來諸島は爲替管理なく、輸入制限、又は割當なく、貿易調節は専ら關稅による。

錫蘭は關稅によつて貿易を調節し爲替管理、輸入制限又は割當なければならず、七月下旬、食用油關稅の大幅引上げを見た。亞典は香港と同じである。

パレスティンはヴェルサイユ平和條約に依り聯盟加盟國は平等待遇保證されて居るので、少くとも日本が明年三月聯盟を正式脱退する迄變化はない。トランスジョウダンも右パレスティンと同じである。スーダン、東阿は差別的關稅實行困難。

佛蘭西本國

金本位を維持し爲替管理なきも普通關稅、爲替關稅の外に數年前より輸入割當制を廣汎なる商品に互り實施して國際收支の均衡を計つて居る。尙日本が佛國品

を購入して日佛片貿易を調節せざる限り四分の三の割當を多く獲得すること困難である。一月下旬コブラ輸入禁止となり天然及び人造樟腦は六月下旬輸入許可制となり、且七月下旬大幅に關稅引上げらる。

佛蘭西諸屬領

アルゼリヤは殆ど佛本國同様諸規則實施せらる。モロッコは貿易調節の爲め當局に於いて、割當實施の意あるも、アルゼンチン條約により締約國を經濟的に平等に取扱ふことを約し、日本も締約國ではないが、日佛通商條約の最惠國約款により平等待遇に均霑して居る。シリヤはパレスティンと同じであるが日本が十年三月聯盟正式脱退とともに最高稅率が日本品に課せられやう。

和蘭本國

爲替管理なし、金本位を維持し、廣汎なる商品に互り輸入割當を以つて貿易を調節して居ること、並びに割當方法が、「國對國」なること、佛本國と同じである。但し關稅は佛國の如く高率ならず、又爲替關稅を採用し居らず今後割當制を以つて進むものと見られて居る。但し六月中旬輸入増加を目的とする諸商品に互る關稅の引上げがあつた。

蘭東印度

八年九月非常時輸入制限法制定せられ總督は輸入制限並びに和蘭系船舶保護を爲すべき權限を附與した。九年一月廣汎に關稅引上げられ、大體消耗品、奢侈品は一割二分より二割に、原料品は六分より一割二分に、非奢侈品は一割より一

割二分に引上げ此の外右輸入稅の附加稅（輸入稅率の五割）は稅率據置きなるも輸入稅率引上げのためそれだけ自然増加した。九年二月サロム輸入制限實施せられた、但し五月十三日迄の三ヶ月間、和蘭よりの輸入を二一、四九五コレ、諸外國此の割當を受ける有資格者は一九三〇年中規則的に輸入し居りたるものと決定、日本品のみならず日本人輸入商大打擊。

獨逸

政府は専ら産業の統制による輸入の制限、輸入爲替許可額の遞減、外債モラトリアムの増大に努めた。四月中旬獨逸油房大豆生産六、七、八月は三割六分に制限せらる。五月中旬護謨類も統制下に移さる。輸入は許可制度となる見込。五月下旬總てのオイルシイズ（但しコブラを除く）を當分新規外國より買附禁止せられた。

白耳義

佛國と同じく爲替管理はない。但各種商品輸入割當制を實施する。

希臘

爲替管理の結果日本との貿易は一對一の求價制度である。是れを以つて日本に希觀品を買はざる限り、同國へ日本品の輸出は出来ない。

伊太利

昨年十二月十一日より沃度類、本年一月より護謨關稅引上げらる。五月下旬爲替管理規則發布せられ、商取引又は旅行によるもの外爲替取引禁止せられたるも、諸外國に見る如き一般商品制限

するが如き管理はない。貿易は關稅、輸入禁止により調節せらる。

波 蘭

日下爲替管理なきも、各種商品に輸入禁止又は制限あり波蘭品を日本向輸出するものには同國輸入許可容易に下附せらるらしい。

葡萄牙及蘭領東亞佛利加

貿易の調節は主として關稅により、本國に於いて九年に入り、特に大なる變化はない。

羅馬尼

輸出を先に行はざれば輸入をなすことを得ず、輸出一、二五〇に對し輸入一〇〇〇〇の割にて輸入許可せらる。輸入品代金は國內買手より羅貨（レニー）を以つて國立銀行に拂込ましめ、それより三ヶ月後同銀行より賣人に外貨を以つて支払はれる、但輸出品と相殺し得る場合は三ヶ月を俟たず差引決済可能なり、總て代金の受拂は國立銀行經由として居る。相當廣汎なる商品種目に互り、輸入許可制度を實施して居る。

西 牙 牙

去る三月中旬沃度輸入禁止、四月中旬硫黃輸入禁止、四月下旬齒刷子關稅引上、輸入禁止品目の外に割當制に依るものあり、爲替管理あるもそれにより貿易を一定限度に阻止するが如き方法は採らない模様である。

瑞 西

各種製品に割當制を行ひ居ること、並びに爲替管理なきこと佛國と同じである。ユーゴスラウイヤ

特に日本品輸入並びにその代金支拂ひに關する制度はない。

ブルガリヤ

爲替並びに貿易管理嚴重で、輸入は前以つて中央銀行より許可を受けるを要するは勿論、その代金の支拂決済完了迄には輸入後六月乃至十二月を要する。

滿洲國

爲替管理、輸入制限等はない關稅を、十月十五日附實施した。

中華民國

昭和八年五月二十二日排外特に排日的色彩濃厚なる輸入稅率の改正を行ひ、九年七月三日更に改訂を爲したが、右數度の改訂は國內産業保護、稅收増加を第一義とせる結果で、日本側引下要求とは可成り隔りがある。但し爲替管理、輸入割當制限等はない。

暹 羅

九年に入り何等稅率に變化はなく、爲替管理並びに輸入割當制限等はない。

アフガニスタン

三月下旬玩具、眞珠、硝子玉等の輸入禁止となり、同時に今迄印度關稅（印度通過貨物に對し）にて徵收せられたる印度輸入稅の四分の三を拂戻し、四分の一をアフガニスタン輸入稅として徵收し居りたるも、之れを改め、印度稅額全部拂戻しのこととなつた。但し同時に新規獨立輸入稅制定せられ相當重稅を課せられるやうになつたものもある。

波 斯

輸出證明書所有者に對しては大體輸出額と同額の輸入許可せられたが、本年二

月輸出額の八割五分に輸入許可歩合を減少しした。貿易の調節は右の方法にして行はれ、爲替管理、輸出入爲替の決済は政府指定の機關を通ずること等規定して居る。

土 耳 古

昨年八月下旬所謂タカス制度廢止の結果、日本品の對土輸出は非常に阻止せられたるを以つて、爾來日土間通商條約交渉中の處、去る七月二十六日暫定的取極め兩國間に調印を見るに至り、貿易率を一對一とし、一ヶ年貿易額を一千萬圓と限度を定めて居るやうである。現行土耳其貿易制度は九年自四月一日九月末日實施の現行輸入制限法附令第二の一四八號によるが、日本關係品としては糖用石鹼、除蟲藥、サツカリン、藥用糖、その他藥品、應急手當用品が九年自一月至六月六十萬土貨物迄輸入制限令に關係なく輸入し得る。尙人造肥料、除蟲菊菊寸は注文前各省の許可さへ得れば自由に輸入し得られる。帽子、包裝紙類、硝子瓶は輸入許可數量が割當決定されて居る。

イ ラ ク

關稅の外に爲替管理、輸入制限なく、日本品進出顯著。

埃 及

貿易の調節は殆ど全部關稅に依り、爲替管理並びに貿易制限はない。

米 國

八年三月ルーズベルト氏大統領となりてより、互惠主義關稅は低關稅主義となつた。但し目下不當販賣の疑を以つて調

査中の日本品中には硫安、金屬價値、鉛筆等の業界品がある。尙備寸に對し附加稅の新課又は輸入制限の可否程度を關稅委員會で調査中。

又農業整理法によりコアラツト油の輸入（主に比律賓）に對し一封度付三仙の加工稅新課せらる。六月十二月所謂關稅獨裁法を大統領裁可。

比 律 賓

爲替管理及輸入制限はない。貿易の統制は専ら關稅による。

亞 細 亞 丁

貿易は多額なる外債の支拂ひ並びに當國に集付外國資金の決済をなす必要上、嚴重なる爲替管理を以つて統制せらる。日本は未だ當國と爲替決済協定を結んで居ないために、甚だしく不便を感じて居る。即ち當國品の對日輸出額の約六割に相當する額の日本品の當國輸入に對しては、公定爲替決済許可せられることになつて居るもの、その許可の下附する、こと數ヶ月も遅延するといふ風で、日本品は決済協定國たる英、伊に比し爲替率に於いて相當なるハンデキツプがある。

伯 利 西 亞

爲替管理により對外取引は大いに制限されて居る。

ウ ル ガ イ

貿易は爲替管理により殆ど全部統制されて居る。即求價主義に依り當國品を輸出又は購入したる者に對し、豚毛は一〇〇%に相當額の當國への輸入爲替決済に對して公定爲替率附與せらる。而して輸入は日常品に限らるることとなり、日本

品雜貨が擧げられて居る。

智 利

交換貿易の規定ありて、大體輸出品價格の八割に相當する額の輸入が許可され日本品としては鉛筆が許可せらるべきも玩具は許可されない。

哥 倫 比 亞

貿易は主として爲替管理によりて調節せらる。昨年來其の制度數次修正せられたが、現行規定は、四月十六日修正のものである。

ウ エ ネ ス エ ラ

爲替管理及輸入制限等ブラクチカリ無し、但し關稅高率。

エ ク ア ド ル

爲替管理は九年一月十九日廢止せられ五月二日より漢汎品目に互り輸入禁止實施せらる。

コ ス タ リ カ

貿易は主として爲替管理によりて調節せらる。

玻 馬

貿易は主として關稅によるもの如くである。

ハ イ チ

最近當國品の日本購買殆ど皆無なるに鑑み、日本品の輸入を阻止する傾向がある。但し當國は關稅規則法外に嚴格である。

サル ヴ ア ド ル

主として爲替管理に依り調節せらる。尙七月三日關稅制度が實施され、日本打撃を蒙る。

OGAWA & Co.,
ESSENTIAL OILS ESSENCES CHEMICAL PRODUCTS

料 香

國 産

イオノン 100%
タビネオール
ムスクキシロール
ムスクアンブレット 100%
ムスクアンブレット "P"
ムスクケトン 100%
シトロネロール
ヒドロキシシトロネロール
ゼラニオール

株式會社

小川香料製造所

大阪市東淀川區堀上通二丁目三十四番地

電話 北(36) 7320番

香 料 商

小川商店

東京市日本橋區本町三丁目一香地

電話日本橋(24)1680番0491番
編替口産 東京 607番

株式會社

小川香料店

大阪市東區道修町二丁目四十五番地

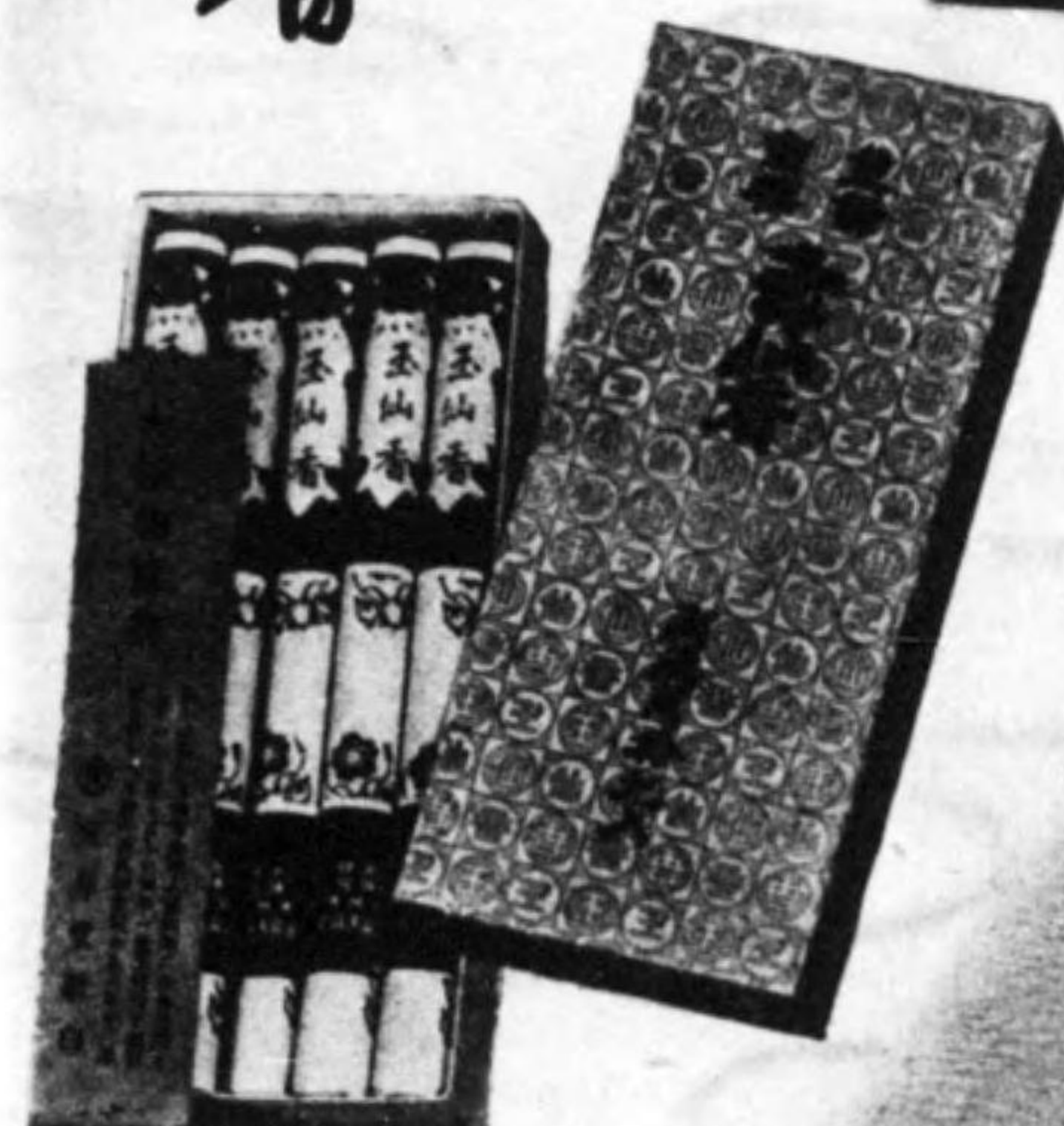
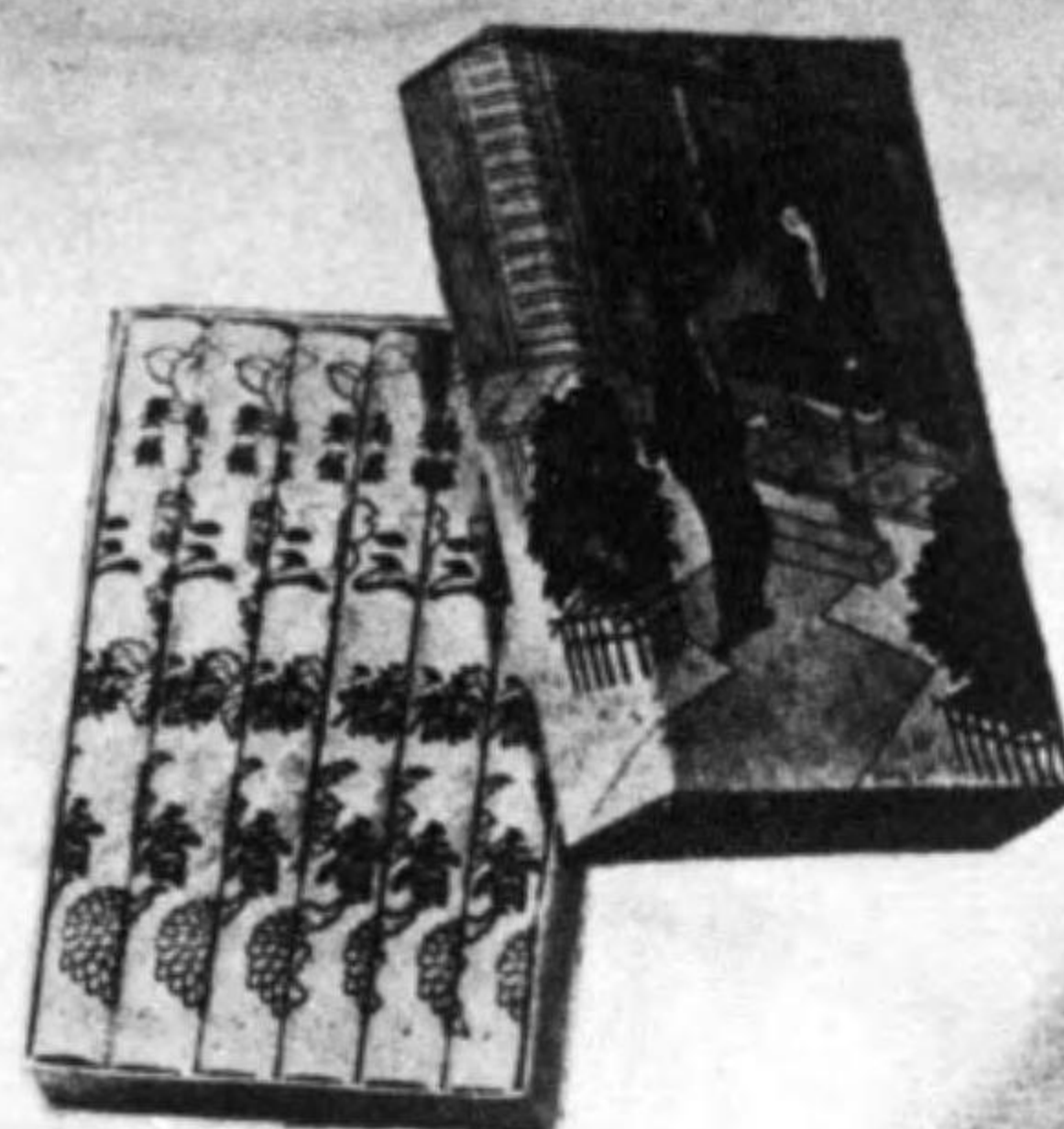
電話本局(23)0666番
編替口産 大阪296番
1020番

東京名物

千歳

千歳元結

古き歴史と廣き
需用者を有する
斯界第一ノ



三祐香
玉仙香

線香石鹼製造
燐寸雜貨問屋

株式會社 三勇商店

東京市青山南町五丁目

電話青山一〇一九七番

電話青山一〇九八番

分工場用 電話高輪 六一九番

振替東京六一二四七番

香を用ゆる時
家内繁榮和合の時
にして、惡氣を拂
ふこと妙なり。されば
昔より精神修養として缺
べからざるものなり。
ましてや三祐香、玉仙香の世評はよ
く之を物語り、その實を擧げつゝあり。



香料

永廣堂



本店 大阪南區安堂寺橋二丁目
支店 東京市日本橋區本町二丁目
出張所 滿洲帝國奉天城小南門後
同 天津河北周公祠後
研究所 大阪市浪速區新川二丁目

國產の誇り

リガール製品

- 毛髮肥料
- ベジリン香水
- 頭髪用
- ユーモリンクリーム
- 純植物性
- リーガルホマード
- リーガルホマード
フラワー
- リーガルチツク
フリラン
- リーガルローション
- リーガル香水
- リーガル
バニシムク
レモンク
クリーム
- リーガル粉白粉
- リーガル水白粉



本舖
リガール商會

東京市日本橋區本町三丁目

明色美顔水

新しい水白粉！

色肌濃・色肌・色白・は味・色

明色美顔化粧品は今や人

御引立を感謝
いたします

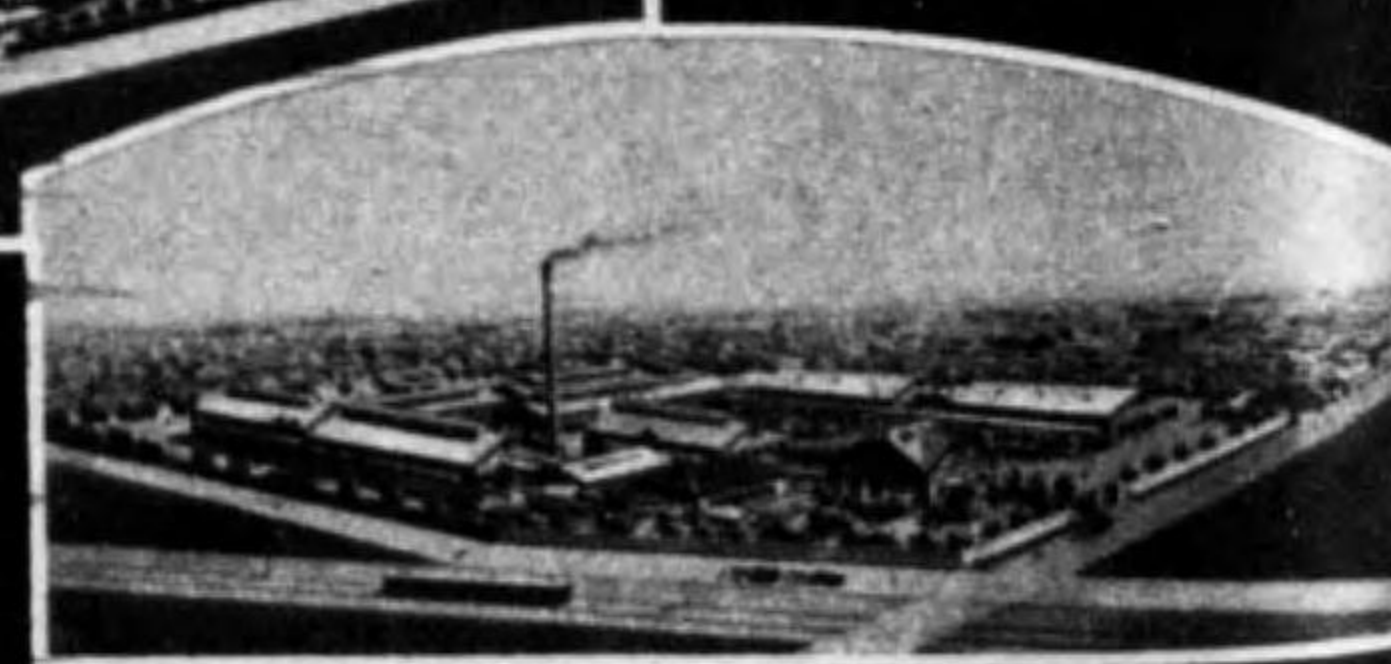


氣の焦點！白熱的好評を博してをります、これ偏へに各位の熱烈な御後援の賜と感激に堪へません尚ほ益々精進して各位の御期待に添ひますやう努力いたし度いと存じます。

倍舊の御後援を希上げます。



工場一研究新化粧品及面化粧



工場一研究新化粧品及面化粧

明色美顔化粧品本舗
桃谷順天館

株式會社

日本東京都中央区本町五丁目
日本東京都中央区本町二丁目

明色粉白粉

局方ホーサン入(賣薬部外品)

ホマレ石鹸



お肌の

清浄と

美容を

兼ねた

化粧石鹸...



本舗 福島 東洋 舎

東京・戸一丁目

雄の界トッネ

天下
一品

品質保證

ゴサマー
ヘアネット

婦人髮根止用はげかくし

舶来かすがいのり

東京 聯盟代理店
本舗 大阪小椋商會



孔雀
ゴサマー
印

東髪まげネット

東京 本舗
大阪 ゴマサー



かもし鬚形
問屋

合資
會社

ヤマキ商會

東京市日本橋區横山町七番地

電話浪花三三四〇番

振替東京六六二七番

金鶴石鹼

ムーリク鶴金
ドーマホ鶴金
油香鶴金
— 盟聯給石品粧化鶴金

元賣發
店商屋鶴 會社
四町喰馬區橋本日京東

本舖 三好梅壽堂

圓形白毛染
玉からす
名題のびんつけ
梅壽香
新くせ毛直し
くるみ煉
洋愛用傑出し香油
クルミ・オイル

店理代東關

東京市神田區東神田二〇
會社 松井號支店
電話浪花一七八四番
振替東京二〇六五〇番



化粧品問屋

松井號支店

東京市神田區東神田二〇
會社 松井號支店
電話浪花一七八四番
振替東京二〇六五〇番



二重洗顔粉

常に……
清く滑らかに
色白く健やかな
美肌を創る
標準洗顔粉!

金鳥ポマード



金鶴石鹼

ムーリク鹼金

ドーマ米鹼金

油香鹼金

重鹼石鹼北鹼金

元寶

店商屋鶴

昭和十一年四月

本館 三好海産堂

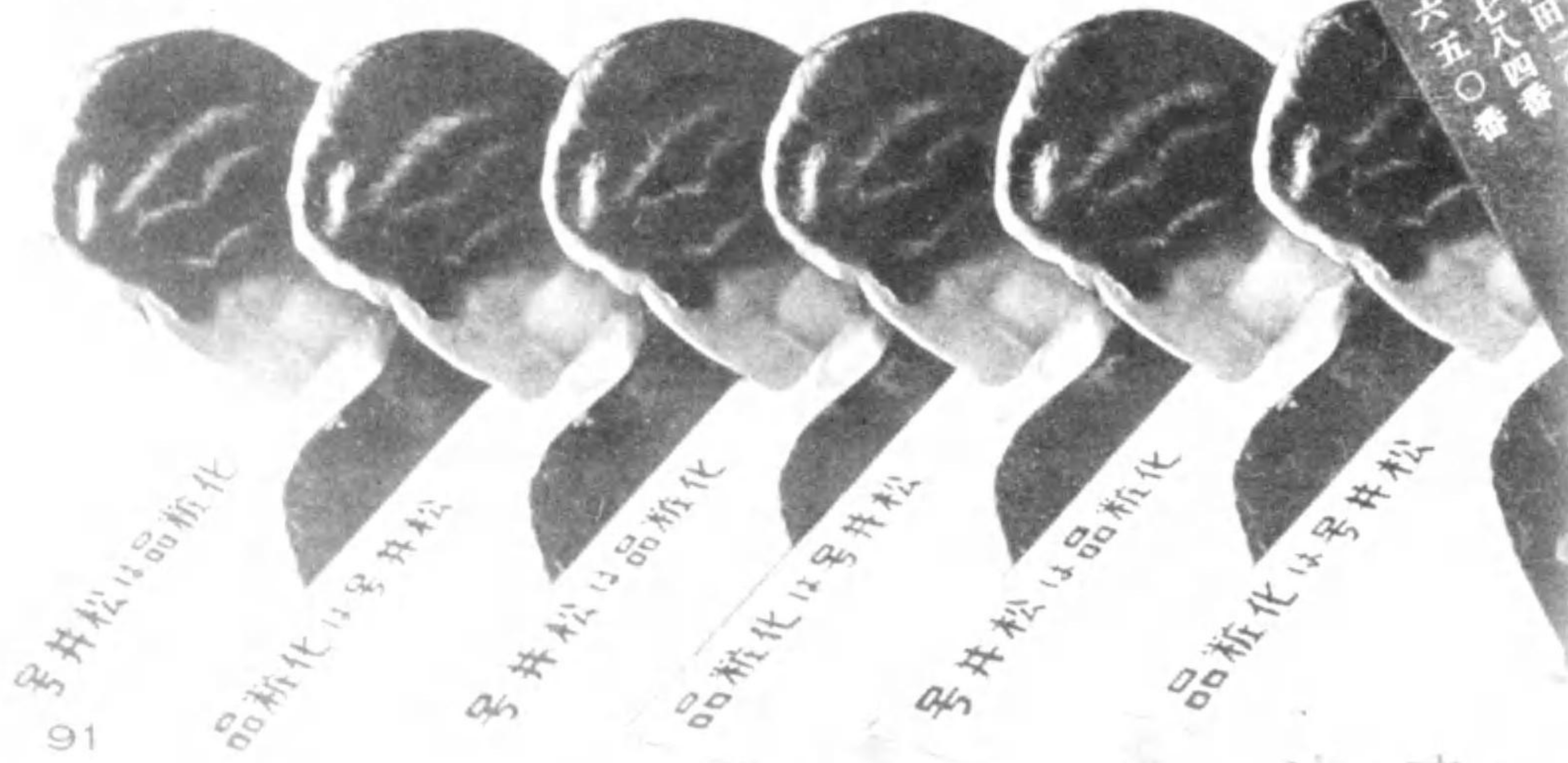
固形白鹼
玉 からす
梅 壽 香
くるみ 煉
クルミ・オイル



化粧品問屋

松井支店

本社 東京都中央区本町110
電話 261(7) 一七八四番
支店 松井110 六五〇番



二一ド洗粉

常に
清く滑らかに
色白く健やかな
美肌を創る
標準洗粉!



金鳥ポマード



本舗 中田善株式会社
大阪東區船場一丁目

香料

輸入商



高級配合香料
香水 香油
白粉 煉油
ポマード 石鹼
飲食料水 薬菓
其他各種原料及香料一般

少量小分販賣 時價表進呈

篠崎田郎商店

東京市日本橋區本町四丁目十五番地
電話・日本橋 (24) 965番
振替・東京 66161番

各種化粧品の製造



山田屋化粧品製造所

責任者 町野久一

東京市本所區吾妻橋一丁目五番地
電話墨田 (74) 二八一四番 振替東京三一八七一番

弊所は 種類の如何を問はず
数量の多少に拘らず
定價の種類を論せず 必ず貴意に副ひ
奉る製品を御提供申上候。
御一報次第直ちに店員參上、地方は御書面を以
つて委細御相談申上候。

お染椿香油

床しき
香り
優秀な
品質共に
定評あるは
本品の誇り



本舗
井の内の製油所
東京 大坂

洗濯化粧兼用

青切

相馬石鹼



東京市向島區隅田町一丁目一三六〇番

諸石鹼製造

相馬帝國社

電話 墨田三三六〇番
振替口座 東京三三六〇番
振替口座 仙臺六三一九番



ホーカール石鹼

東京市内で一番賣れる

東京市向島區隅田町
本舗ホーカール石鹼製造所



KINSHIBA

貴金屬
鼈甲
寶石加工品
頭飾品裝身具

金裝身具

最良の製品

新

時計附屬優勝杯
婦人洋裝雜貨

小間物
喫煙具

MARUSHIN.

合名 丸新 会社

東京淺草區駒形六
中川敏二
電話 84 二八五四

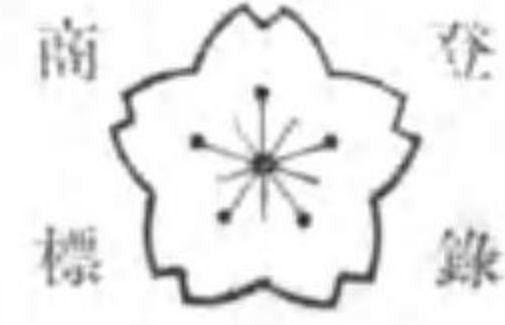
本館石コヤニ
屋問品粧化外内

店商下柳會社資

號三ノ九町山横區橋本日
番〇二二・九七一(67)花浪話電

目種造製

工	醫	マ	小	サ	サ	サ	サ
業	學	ツ	櫻	ク	ク	ク	ク
用	用	ク	セ	ラ	ラ	ラ	ラ
用	用	セ	ン	セ	セ	セ	セ
用	用	ン	タ	ン	ン	ン	ン
用	用	タ	ク	タ	タ	タ	タ
用	用	ク	石	ク	ク	ク	ク
用	用	石	造	石	石	石	石
用	用	造	造	造	造	造	造



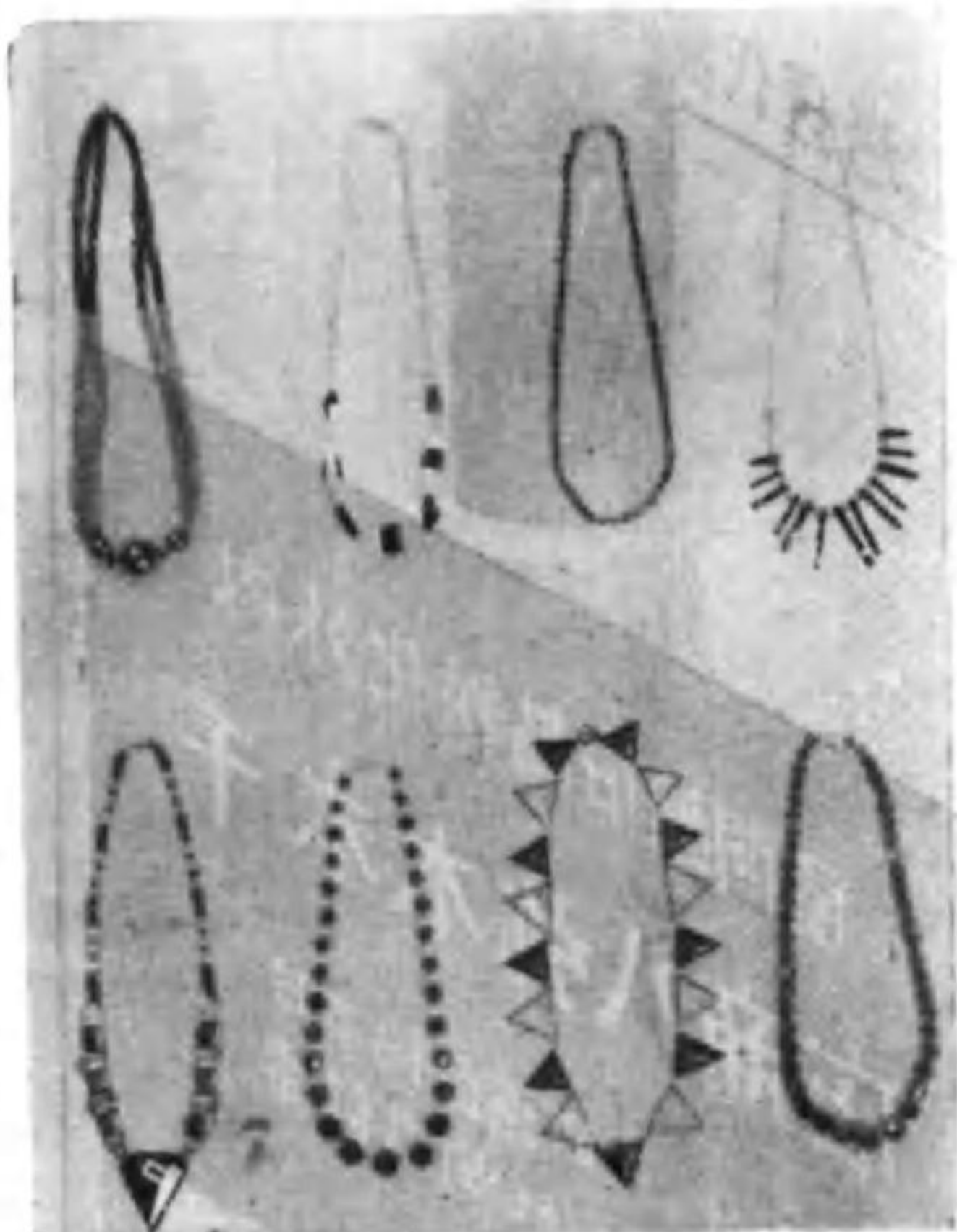
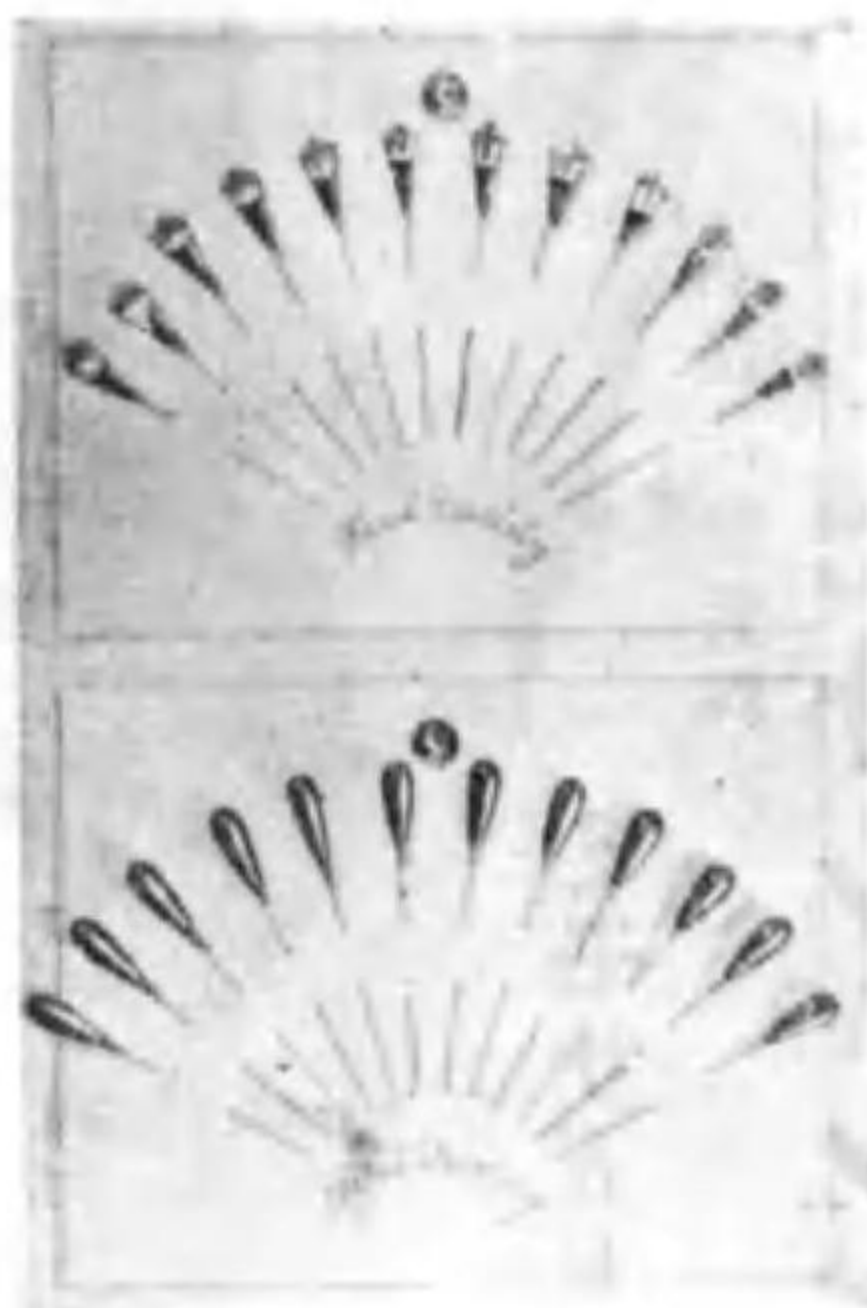
サクラ石鹼製造所

東京市城東區龜戸町一丁目一〇七番地

電話墨田(74)一四一九番
振替口座東京六九四五二番

首飾り 洋裝飾品

是非御照會を



天然真珠	アローチ
養殖真珠	カフス釦
耳飾り	カットグラス
腕輪	水晶類

北村八郎商店

東京市淺草區淺草橋一ノ三
電話淺草(84)六六七〇番

登録商標

メサマシマルセル粉末石鹼
洗の花粉末石鹼
メザマシ 化粧用石鹼
マンキン 化粧用石鹼
ヨーサン 化粧用石鹼
メザマシ 化粧料
マンキン 化粧料
ブレミヤ 化粧料
メサメ 化粧料

石鹼・化粧品卸商

大野金城堂

東京市日本橋區
馬喰町二丁目
電話浪花(67)四一二三番

ŌNO KINJODŌ.

ダイヤ、サング
ヒスイ 貴金屬 卸
寶石籠甲小間物

誕生石指環發賣元

野澤屋商店

山田政次

東京日本橋區馬喰町三ノ七
電話浪花(67)二二八五番
振替東京一四三一三番

六 榮 會

店卸造製物間小・品飾頭

東京市淺草區新福井町三

稻垣國產店

電話淺草(84)四二二二番

東京市淺草區藏前一ノ二ノ三

松浦佐助商店

東京市淺草區藏前一ノ一五

田中章介商店

電話淺草(84)四一三九番

東京市本所區東兩國二ノ一四

中仙商店

電話本所(73)一六八四番

店理代總東間水香ンオニエ



屋問驗石品粧化外内

店商八弥木本千

七十ノ一町濱區橋本日
番六五〇六(66)町場茅話電



店理代總東間粉白綿油セトミ



時代の要求

高級洗髮資料

ミモサシャンプー

ミモサ五大製品



- ミモサ洗粉
- ミモサびんつけ
- ミモサ香油
- ミモサホマード

月一年元化文業創

部 品 粧 化 澤 増

八四町場橋區野中市京東 所張出
番六〇五四二京東替振
谷 岡 州 信 店 本
番六二二三二谷岡話電

東京 七曜會

品粧化外内

屋問卸貨雜物荒

淺草區雷門一ノ六ノ八

石川善三郎商店

電話淺草(84)一五六四番

本所區石原町二ノ四

合資會社 林磯八商店

電話墨田(74)〇一三八番

神田區須田町一ノ三二一ノ二

宇野繼五郎商店

電話神田(25)〇二七七番

淺草區山谷二ノ五

松浦嘉七商店

電話淺草(84)一三二八番

神田區昌平河岸六號地

合名會社 小山七三郎商店

電話下谷(83)三三六〇番

小間物 雜貨問屋 杉田貞治商店

東京市淺草區駒形一ノ三ノ一

電話淺草(84)二三三八〇番

紙取脂ンオリオ 本舖

料粧化ソド 元費発

歯石トッベルベ 赤函 元費発東開

トッベルベ 歯石ンサーホ

ルーツキルム 店理代東開

東京市淺草區田神市 社會資産品粧化木茂 電話神田二八七番



クモ印くせ毛直し

五十年の歴史が
物語る信用無比
の美髪料の權威

洋髪の
油

姉妹品
金クモ印眉毛墨

美しい魅力のある洋髪—
個性に合ったウェーブやカールが
簡単に出来、フケ、カユミを完全
に抑へ、見違へる程のお髪を若返ら
せる日本婦人の最愛専用油とし
て大好評... 定価 金壹圓

本舗
會商スルエウ 株式會社
阪大・京東



ンラードゴント
ルーメ鳥風

元 賣 發 東 關

ESTABLISHED IN 1884
KIYA

商卸品粧化驗石外内

明治 17 創業

花王水石鹼東京販賣所
千代田香油東京販賣所

ライフアイ石鹼販賣所
ラツクス石鹼販賣所

角町倉美區田神市京東

東京 525 振替 神田 272 電話

・店本衛兵芳屋木・



標商録登 府政本日

REG JAP DAT OFF

145604
151707

粉石鹼 印陽太

株式會社柳屋商會

取締役社長 葉滿田芳兵衛

本社 東京市觀戶町
工場 東京市平井町

斯界の權威

粉末石鹼の始祖
海外輸出の先驅
品質絕對の優秀
製産能力一萬噸

LES PARFUMS
POUDRES



佛蘭西コティー會社日本總販賣代理店
ボンジーコロイドミルク總發賣元

佛蘭西ロロシターエガレー會社副代理店
佛蘭西マリアンツァール會社代理店
米國ロイヤルアドバンス社代理店
米國マリアンツァール會社代理店
米國マリアンツァール會社代理店
英國「アス」石鹼會社代理店
英國「アス」石鹼會社代理店
英國「アス」石鹼會社代理店
英國「アス」石鹼會社代理店
英國「アス」石鹼會社代理店

卸入輸直貨雜品粧化米歐
店商郎太信本岡

七日丁二町賣區橋京市京東
番三一三四橋京話電
番一三四六二京東替振

S

セルロイド洋髮櫛製造卸
東京
清水英一郎商店

油 脂 石 鹼 五 業 株式會社 熊谷商店

取扱品 ↓ 豐年製油・日清製油・伊藤製油・淺野物産製油部・日本肥料製油部・日本曹達工業・ライ社・ス社・正油油脂石鹼原料一切特約販賣

各種植物性油 精製加工一切

嶋乃月印純椿油及香油
バケツ印粉末及固型石鹼

一圓以上何萬圓デモ特別値段ニテ御取次ギ致シマス

東京市日本橋區本町四ノ二三ノ四
村田繁治郎商店
電話日本橋(24)二九三二番
振替東京一七〇〇一番

取披品 ↓ 豐年製油・日清製油・伊藤製油・淺野物産製油部・日本肥料製油部・日本曹達工業・ライ社・ス社・正油油脂石鹼原料一切特約販賣

地號二島月區橋京市京東
四六五二東振 一六二七京電
門衛左長谷熊者表代

内外化粧品卸問屋

○御申越次第値段表送呈
○地方御客様に對しては特に御便宜を圖ります

東京市日本橋區本町四ノ二三ノ四
村田繁治郎商店
電話日本橋(24)二九三二番
振替東京一七〇〇一番

高級化粧用パフ

コンバクト用パフ
類紅用パフ
コンバクト用角形パフ

商卸造製フバトツボ・屬附品粧化
所業工術美洋東
二二ノ二川豎區所本市京東
番三一七三(73)所本話電

クローバー
ムーリク

若さに
輝やく
魅力を
つくる

(30) 紅、ほーパロク
(35) 紅口、アパロク

店理代東關
堂王花中田 堂眞盛田脇
町喰馬京東 町山横京東

本舖
會商業三阪大

パームオイル

松竹石鹼

本舖
奥山石鹼工場

大阪市旭區鳴野町七二四
電話東 444番・5798番
東京出張所 東京市京橋區京橋二ノ一
電話京橋 6956番

Palm Oil
Shochiku Soap

定價
二十〇
十五〇

皆様の工場

靴物袋行流

カツパドンハ、入札、入弗
入草煙、トルペ、ンバカ

大島屋本店
衛兵善山村
(部卸金現及方地) 部一第
地番七町山横區橋本市京東
番九六二二 花渡話電
番〇五六三

(部卸店貸百地各) 部二第
(階四、三ルビ松小)五町山横區橋本市京東
番三二二三 花渡話電

部創企造製
(階六、二ルビ松小)五町山横區橋本市京東
番三〇〇二 花渡話電
(通共部各) 番八二六五京東座日替振

カタログ送呈

頭飾品
婦人小間物

セルロイド生地
セルロイド文具・化粧品容器
諸雜貨小間物問屋

若松屋支店

東京市日本橋區横山町七番地
電話浪花(67)二八三五番
振替口座東京八五九九番

アダムはゆすみ錠

眉を濃く美しくする
理想的のまゆすみ錠
黒色・茶色の二種

発賣元 晃陽商會
村上幾太郎商店
東京市神田區東神田一八
電話浪花二五一九番



本舖
鹽崎アムム園

**鼈甲小間物
セルロイド頭飾品卸
金屬裝身具**

東京市淺草區淺草橋貳丁目
會社資 **大橋大吉東京店**
電話淺草(84)一三四六番
本店 名古屋市中區末廣町一丁目



誠實と
勉強で
評判の

内外化粧品
卸問屋

レジンツ石

本舖

福井屋商店
東京市王子區王子一丁目一八四
電話王子二七一

**化粧粧品
器容**

各種製作

ゼネラル金屬製所

東京・淺草・鳥越・二ノ四
電話淺草(84)三三一四番



鼈甲、蒔繪
ヒス牛、サンゴ

婦人頭飾裝身具卸商

S P、P ノン
刻金物

東京市淺草區淺草橋壹丁目貳番地

丸竹兄弟商店

電話淺草(84)一三八四番



第六條 規則第四條の規定に依る届書には左の各號を具備し免許證を添附すべし

一、新舊營業所所在地
二、免許を受けたる部外品の品名
三、發賣者の住所氏名
四、變更の事由

主たる營業所所在地の廳府縣に在りたるときは前各號の名免許事項を記載すべし
第七條 規則第五條の規定に依る届書は第三條の規定に準じ免許證を添附し双方連署の上手續を爲すべし但し相續の場合に戸籍抄本を添付すべし

第八條 規則第三條の規定に依り部分品の品名變更の免許を與ふるとき及規則第五條の届出を受理したるときは免許證を書換下付す
第九條 發賣者部外品の調製從事者を變更したるときは第三條第五號の事項を具し十日以内に知事に届出づべし
第十條 發賣者更に他の營業所を設けたるときは管理人を定め左の各號を十日以内に知事に届出づべし

營業所を廢止し若くは管理者を變更したるとき亦同じ
一、部外品の品物
二、免許證號及免許年月日
三、主たる營業所所在地
四、新設したる營業所所在地並に其の年月日
五、發賣者及管理者の住所、氏名、生年月日

發賣者他の廳府縣に居住する者なるときは前項各號の外その營業所に於いて發賣すべき部外品の免許事項並に免許證寫を添附すべし
第十一條 前條の届出を爲したる後その營業所に於いて發賣する部外品の品種を増減したるときはその事項に付き前條の規定に準じ届出づべし

第十二條 規則及本令により提出すべき申請書又は届書は營業所所轄警察署を経由すべし
第十三條 賣藥部外品に關し左の手續料を徴收す
一、規則第二條及第三條による發賣免許並變更免許の手續料一件に付金貳拾錢
二、免許證書換並再交付の手續料一回に付金拾錢
第九條 前條の規定による手續料は縣本金庫又は同支金庫に納入すべし

第十四條 前條の規定による手續料は縣本金庫又は同支金庫に納入すべし
第十五條 賣藥部外品發賣者六ヶ月以上行商不明となりたる時は免許を取消すことあるべし
第十六條 本令第五條及第六條の規定に違反したる者は拘留又は科料に處す
第十七條 營業者が未成年者、禁治産者又は法人なるときは本令の罰則は其の法定代理人又は代表者に適用す、但しその營業に關し成年者と同様の能力を有する未成年者に就いては此の限りに在らず營業者はその代理人、戸主、家族、同居者、雇人、其の他の從業者にしてその業務に關し本令に違反したるときは自己の指揮に出でざるの故を以て處罰を免るゝことを得ず

第十三條 免許證を毀損若くは亡失したるとき亦住所、氏名を變更したるときはその事由を具し免許證を添附(亡失の場合を除く)し十日以内に再下附又は書換を申請すべし
第十四條 免許證を發見したるときは之を添附しその旨届出づべし
第十五條 部外品の發賣を廢止したるときは免許證を添附し十日以内にその旨届出づべし發賣者死亡し又は六月以上所在不明と爲りたる場合に於いてその營業を繼承する者なきときは戸籍法に依る死亡届出義務者より前項の規定に準じその手續を爲すべし

第十六條 部外品發賣日の法定代理人又は夫に異動を生じるときは十日以内に届出づべし
第十七條 發賣者は別記様式に依り毎年一月末日迄に前年中の部外品發賣高を知事に届出づべし
第十八條 第九條乃至第十一條の届出を怠り又は第十二條乃至第十六條の規定に違反したる者は科料に處す
第十九條 發賣者又は請賣營業者にして未成年者、禁治産者若くは法人なるときは本令の罰則は其の法定代理人又は代表者に適用す但しその營業に關し成年者と同様の能力を有する未成年者に就いては此の限りに在らず

第二十條 發賣者又は請賣營業者は其の代理人、戸主、家族、同居者、雇人、管理人所の他の從業者にしてその業務に關し本令に違反したるときは自己の指揮に出でざるの故を以て處罰を免るゝことを得ず

第二十二條 部外品の原料品中藥品にして日本藥局方に貯藏法を示したるものはその所定に従ひ毒藥、劇藥又は毒物、劇物(他の藥品及物品と各々區別し毒藥並毒物は各別に鎖輪を施したる場所に貯藏すべし)
第二十三條 免許證を毀損若くは亡失したるとき亦住所、氏名を變更したるときはその事由を具し免許證を添附(亡失の場合を除く)し十日以内に再下附又は書換を申請すべし
第二十四條 部外品の發賣を廢止したるときは免許證を添附し十日以内にその旨届出づべし發賣者死亡し又は六月以上所在不明と爲りたる場合に於いてその營業を繼承する者なきときは戸籍法に依る死亡届出義務者より前項の規定に準じその手續を爲すべし
第二十五條 部外品發賣日の法定代理人又は夫に異動を生じるときは十日以内に届出づべし
第二十六條 發賣者並に部外品請賣營業者は營業の種類、營業所及氏名を明記したる看板(縦〇・六米、横〇・二米、七寸)を營業所毎に店頭又は門戸に掲出すべし
第二十七條 發賣者は別記様式に依り毎年一月末日迄に前年中の部外品發賣高を知事に届出づべし
第二十八條 第九條乃至第十一條の届出を怠り又は第十二條乃至第十六條の規定に違反したる者は科料に處す
第二十九條 發賣者又は請賣營業者にして未成年者、禁治産者若くは法人なるときは本令の罰則は其の法定代理人又は代表者に適用す但しその營業に關し成年者と同様の能力を有する未成年者に就いては此の限りに在らず

化粧品取締規則

昭和七年九月二十三日
勅令第九十四號

第一條 本令に於て化粧品と稱するは左の各號の一に該當し、藥品、賣藥及部外品に非ざるものを謂ふ
一、白粉、白粉下、化粧水、クリーム
二、紅、眉墨、洗粉、爪磨劑の類
三、頭髪用香水、ホモード、チタール、香油の類
四、齒磨
五、其の他人體の美容衛生に直接關係ありと認むるもの

第二條 本令に依り警視總監に提出する申請書及届書は美濃紙を用ひ營業所所轄警察署を経由すべし
第三條 本令に依る申請人及届人にして未成年者又は禁治産者なるときは、法定代理人、準禁治産者なるときは保佐人、妻なるときは夫の連署を要す
第四條 化粧品を發賣せむとする者は左の事項を具し見本品を添へ免許を受くべし但し他の廳府縣に於て免許に係るものは第三條の事項に替るに免許證の寫を添附すべし
一、住所、營業所、氏名、生年月日
二、名稱
三、原料品及其の分量原料品にして成分不明なるときは成分分析證を添付すること
四、用法、用量及效用
前項の第二號乃至第四號の事項を變更せむとするときは免許證を添へ前項の手續を爲すべし、但し第二號の場合には見本品の添附を要せず

第五條 前項の第一項に依り免許したるときは別記様式の免許證を下付す
第六條 免許證を毀損、亡失したるときは十日以内にその事由を具し再下付を申請すべし
第七條 化粧品に於て見本品を添へ直に返納すべし
第八條 化粧品には容器又は被包にその名稱及發賣者の氏名(法人に在りてはその名稱)又は商號並營業所を明記すべし
第九條 化粧品に於て見本品を添へ直に返納したる場合は三十日以内に第四條に準じ免許證を添へ、譲受けの場合には双方連署し、連署し能はざるときはその事由を記し、相續の場合は戸籍抄本を添へ届出づべし
第十條 發賣者左の各號の一に該當するときは免許證を添へ十日以内に届出づべし
一、住所、營業所又は氏名(法人に在りてはその名稱事務所所在地)に異動を生じたる時
二、發賣者の法定代理人、保佐人又は夫に異動を生じたる時
三、發賣を廢止したるとき
四、死亡(法人に在りては解散)又は失踪の宣告を受けたるとき
前項第四號の場合には戸籍法の届出義務者(法人に在りては清算人)よりその手續を爲すべし
第十一條 化粧品にして衛生上危害を生ずる虞ありと認めたる時は發賣者に対し原料品若くはその分量、用法、用量又は效用の變更を命ずることあるべし
第十二條 左の各號の一に該當したるときは發賣の免許を取消又は停止若くは販賣を禁止することあるべし
一、化粧品にして衛生上危害を生ずる虞ありと認めたる時
二、本令又は本令に基きて發する命令に違反したるとき

第十三條 免許證を毀損若くは亡失したるとき亦住所、氏名を變更したるときはその事由を具し免許證を添附(亡失の場合を除く)し十日以内に再下附又は書換を申請すべし
第十四條 免許證を發見したるときは之を添附しその旨届出づべし
第十五條 部外品の發賣を廢止したるときは免許證を添附し十日以内にその旨届出づべし發賣者死亡し又は六月以上所在不明と爲りたる場合に於いてその營業を繼承する者なきときは戸籍法に依る死亡届出義務者より前項の規定に準じその手續を爲すべし
第十六條 部外品發賣日の法定代理人又は夫に異動を生じるときは十日以内に届出づべし
第十七條 發賣者は別記様式に依り毎年一月末日迄に前年中の部外品發賣高を知事に届出づべし
第十八條 第九條乃至第十一條の届出を怠り又は第十二條乃至第十六條の規定に違反したる者は科料に處す
第十九條 發賣者又は請賣營業者にして未成年者、禁治産者若くは法人なるときは本令の罰則は其の法定代理人又は代表者に適用す但しその營業に關し成年者と同様の能力を有する未成年者に就いては此の限りに在らず

第二十條 發賣者又は請賣營業者は其の代理人、戸主、家族、同居者、雇人、管理人所の他の從業者にしてその業務に關し本令に違反したるときは自己の指揮に出でざるの故を以て處罰を免るゝことを得ず

第二十二條 部外品の原料品中藥品にして日本藥局方に貯藏法を示したるものはその所定に従ひ毒藥、劇藥又は毒物、劇物(他の藥品及物品と各々區別し毒藥並毒物は各別に鎖輪を施したる場所に貯藏すべし)
第二十三條 免許證を毀損若くは亡失したるとき亦住所、氏名を變更したるときはその事由を具し免許證を添附(亡失の場合を除く)し十日以内に再下附又は書換を申請すべし
第二十四條 部外品の發賣を廢止したるときは免許證を添附し十日以内にその旨届出づべし發賣者死亡し又は六月以上所在不明と爲りたる場合に於いてその營業を繼承する者なきときは戸籍法に依る死亡届出義務者より前項の規定に準じその手續を爲すべし
第二十五條 部外品發賣日の法定代理人又は夫に異動を生じるときは十日以内に届出づべし
第二十六條 發賣者並に部外品請賣營業者は營業の種類、營業所及氏名を明記したる看板(縦〇・六米、横〇・二米、七寸)を營業所毎に店頭又は門戸に掲出すべし
第二十七條 發賣者は別記様式に依り毎年一月末日迄に前年中の部外品發賣高を知事に届出づべし
第二十八條 第九條乃至第十一條の届出を怠り又は第十二條乃至第十六條の規定に違反したる者は科料に處す
第二十九條 發賣者又は請賣營業者にして未成年者、禁治産者若くは法人なるときは本令の罰則は其の法定代理人又は代表者に適用す但しその營業に關し成年者と同様の能力を有する未成年者に就いては此の限りに在らず

第三十條 發賣者又は請賣營業者は其の代理人、戸主、家族、同居者、雇人、管理人所の他の從業者にしてその業務に關し本令に違反したるときは自己の指揮に出でざるの故を以て處罰を免るゝことを得ず

宮城縣

賣藥部外品取締規則施行細則
宮城縣令第二十一號
昭和九年八月三十一日

第一條 賣藥部外品發賣の免許を受けんとするときは賣藥部外品取締規則(以下單に規則と稱す)第二條の規定に依るの外左記事項を具し申請すべし
一、本籍、住所、氏名、生年月日、法人に在りてはその名稱事務所所在地、代表者の氏名
二、營業所所在地の場所
三、履歴書法人に在りては取扱者のもの
前項の申請者にして未成年者又は禁治産者たるときは法定代理人、準禁治産者なるときは保佐人、妻なるときは夫の連署を要す
第二條 規則第二條の規定により發賣を免許したるときは別記様式の免許證を下付す
第三條 規則第五條の譲受け又は相續の届には第一條各號の事項及免許事項を具し免許證を添へ譲受けの場合に在りては讓渡人と連署し相續に在りては戸籍抄本を添付すべし
第四條 規則第三條の賣藥部外品變更免許申請書には變更せんとする事項を具し免許證を添附すべし
第五條 免許證を毀損又は亡失したるときは其の事由を記し毀損の場合はその免許證を添へ十日以内に書換又は再交付を申請すべし
第六條 部外品の發賣を廢止したるときは之を返納すべし
第七條 賣藥部外品の發賣者左の各號の一に該當したるときは十日以内に免許證を添へ届出づべし、但し、第一號の住所(法人に在りてはその名稱事務所所在地)を變更したるときは第二號の届出に免許證を添附するを要せず
一、營業所住所又は氏名(法人に在りてはその名稱事務所所在地)を變更したるとき
二、第一項第二項の者に異動を生じたる時
三、發賣を廢止したるとき
四、死亡又は失踪の宣告(法人に在りては解散)ありたる時
前項第四號の場合には戸籍法の届出義務者(法人に在りては清算人)よりその手續を爲すべし

第八條 賣藥部外品の發賣免許を受け又は相續したる場合は三十日以内に第四條に準じ免許證を添へ、譲受けの場合には双方連署し、連署し能はざるときはその事由を記し、相續の場合は戸籍抄本を添へ届出づべし
第九條 發賣者左の各號の一に該當するときは免許證を添へ十日以内に届出づべし
一、住所、營業所又は氏名(法人に在りてはその名稱事務所所在地)に異動を生じたる時
二、發賣者の法定代理人、保佐人又は夫に異動を生じたる時
三、發賣を廢止したるとき
四、死亡(法人に在りては解散)又は失踪の宣告を受けたるとき
前項第四號の場合には戸籍法の届出義務者(法人に在りては清算人)よりその手續を爲すべし
第十條 化粧品にして衛生上危害を生ずる虞ありと認めたる時は發賣者に対し原料品若くはその分量、用法、用量又は效用の變更を命ずることあるべし
第十一條 左の各號の一に該當したるときは發賣の免許を取消又は停止若くは販賣を禁止することあるべし
一、化粧品にして衛生上危害を生ずる虞ありと認めたる時
二、本令又は本令に基きて發する命令に違反したるとき

第十二條 本令の執行に關し明治三十二年法律第十五號第二條規定の職權を行ふことあるべし
第十三條 第四條第六條乃至第九條の規定に違反したるときは第十條及第十一條の處分に違反したる者は拘留又は科料に處す
第十四條 化粧品に於て見本品を添へ直に返納したる場合は三十日以内に第四條に準じ免許證を添へ、譲受けの場合には双方連署し、連署し能はざるときはその事由を記し、相續の場合は戸籍抄本を添へ届出づべし
第十五條 化粧品に於て見本品を添へ直に返納したる場合は三十日以内に第四條に準じ免許證を添へ、譲受けの場合には双方連署し、連署し能はざるときはその事由を記し、相續の場合は戸籍抄本を添へ届出づべし
第十六條 本令は昭和七年九月一日より之を施行す
第十七條 大正五年四月警視廳令第四號賣藥部外品營業取締規則に依り免許を受けたる賣藥部外品にして第一條の各號に該當するものは本令に依り免許したるものと看做す
第十八條 第一條に該當する化粧品に關し大正五年四月警視廳令第四號賣藥部外品營業取締規則に依り下付したる免許證は本令に依り下付したるものと看做す但し昭和八年十二月三十一迄に其の書替を申請すべし

附則
一、名稱(法人に在りては法人名)
右化粧品發賣を免許す
昭和九年八月一日
警察廳 關

飲食物その他の物品取締に關する法律
第二條 行政廳は吏員をして前條の物品を検査せしめ試験の爲必要な分量に限り無償にて収去せしむることを得前項の場合に於いて行政廳は吏員をして普通營業時間又は營業の爲開かるゝ間に限り物品を製造し採取し陳列し貯蔵し若し携帯する場所に立入らしむることを得

懸賞抽籤附販
賣取締法規

内務省令

明治四十二年八月
内務省令第二十號

懸賞又は富籤類似その他射倖の方法を用ふることを提供し又は投票を募集するの行爲にして公安又は風俗を害するの虞ありと認むる者は廳府廳長官(東京府に於いては警視廳長)に於いて之れを禁止し又は制限することを得
前項禁止又は制限を命ぜられたる場合に於てその命令に違背したる者は三月以下の懲役又は百圓以内の罰金、情を知りてその行爲に附隨して寄附を申出又は提供を承諾し若し投票を行ひ又は投票の結果に依り表彰物を受けたる者は科料に處す
本令は明治四十二年十月十五日より施行す
明治三十三年内務省令第二十六號は之を廢止す

警視廳令

懸賞又は富籤類似その他射倖行爲取締規則

大正十四年六月二十日
警視廳令第二十六號

第一條 懸賞又は富籤類似その他射倖の方法を用ふることを提供し又は投票を

募集せむとする者は左の事項を具し施行五日前行所地又は施行地所轄警察官署に届出づべし第二號乃至第五號の事項を變更せむとするとき亦同
一、本籍、住所、氏名、生年月日、職業
二、目的
三、方法の詳則
四、施行の場所、期間
五、賞金品又は景品の種類、數量、金額、賞品に在りてはその單價

第二條 當該警察官署前條の届出に基き營業所、事務所等に臨檢し届出に關する事項を調査せむとするときは之れを拒むことを得ず
第三條 左の各號の一に該當する者は拘留又は科料に處す
一、第一條の届出を爲さずして懸賞又は富籤類似その他射倖行爲を爲し又は投票を募集したる者
二、第一條の届出を爲すに當り虚偽の届出を爲したる者
三、詐偽其の他不正の方法に依り懸賞又は富籤類似その他射倖行爲又は投票の募集を爲し又は爲さむとしたる者
四、第二條の規定に依る臨檢を拒みたる者
五、同居人、雇人、その他の従業者にして本令に違反したるときは自己の指揮に出でざるの故を以てその處罰を免るゝことを得ず

第五條 未成年者又は禁治産者にして本令に違反したるときは本令の罰則は其の法定代理人に之を適用す但しその營業に關し成年者同一の能力を有する未成年者に付いては此の限に在らず
第六條 法人の業務に關し法人の代表者その他の従業者にして本令に違反したるときは第三條の罰則は法人の代表者に適用す

第四條 施行者は代理人、戸主、家族、同居人、雇人、その他の従業者にして本令に違反したるときは自己の指揮に出でざるの故を以てその處罰を免るゝことを得ず
第五條 未成年者又は禁治産者にして本令に違反したるときは本令の罰則は其の法定代理人に之を適用す但しその營業に關し成年者同一の能力を有する未成年者に付いては此の限に在らず
第六條 法人の業務に關し法人の代表者その他の従業者にして本令に違反したるときは第三條の罰則は法人の代表者に適用す

大阪府執行心得

懸賞又は富籤類似その他射倖行爲取締規則
附則

大正十四年十一月
大阪府令第五十二號

とを問はずその金額又は價格を合して百圓を超過するもの
五、募集者その他募集に關與する者に於いて得票を任意に変更し得る方法なるもの
第七條 前三條に該當する特殊の事情に依り施行せしめ支障なしと認むる場合には詳細事由を具し保安部長の指揮を受くべし
第八條 左の場合に於いては施行せしむる前に保安部に報告すべし
一、新聞社、通信社、自治團體其の他各種の團體に於ける主催なるもの
二、規模大にして特に注意を要するもの
三、規則第三條に依り處罰したるとき
附則
明治四十二年九月内務省令第九號は之を廢止す

大阪府令

懸賞又は富籤類似その他射倖行爲取締規則
附則

大正十四年十一月
大阪府令第五十二號

第一條 懸賞又は富籤類似その他射倖の方法を用ふることを提供し又は投票を募集せむとするものは左記事項を具し七日前に所轄警察官署に届出づべし之れを變更せむとするとき亦同
一、住所、職業、氏名、生年月日、法人に在りてはその名稱、事務所所在地及代表者の住所氏名
二、目的及方法
三、提供物品の種類數量及價格
四、場所及期日又は期間
第五條 懸賞又は富籤類似その他射倖行爲取締規則
附則
大正十四年十一月
大阪府令第五十二號

第二條 商行為に關し組合員又は團體員共同して前條の行爲を爲さむとするときはその主催者又は代表員より届出づる事を得
第三條 第一條の規定に違反したる者

るときは第三條の罰則は法人の代表者に之を適用す
第七條 本令は大正十四年七月一日より之れを施行す

警視廳執行心得

懸賞又は富籤類似その他射倖行爲取締規則執行心得

大正十四年六月二十日
警視廳令第二十號

第一條 懸賞又は富籤類似その他射倖行爲取締規則(以下單に規則と稱す)に依り届出を受理したるときはその届出人及施行せむとする行爲の性質内容等を調査し第四條乃至第六條各號標準に照準せざるときはその處施行せしめ若し抵觸せるとき又は公安風俗を害しその他支障ありと認めたるときは諭示の上取止め又は變更を爲さしめ之れに應じたるときは請書を徴したる上施行せしむべし若し之れに應ぜざる時は一件書類に意見を附し逕に保安部に具申すべし
第二條 届出に依り施行せしめたる場合に於いては施行中時々警察官署を派遣しその状況を觀察し届出事項に違反せざる様取締を爲すべし
第三條 施行せしめたる後と雖支障ありと認めざる時は第一條に基き處罰すべし
第四條 懸賞にして左の各號の一に抵觸するものは之れを禁止す
一、字探し、繪探し、賣探し、謎解、判じ物等娛樂に關する提案にしてその最高賞金又は賞品の金額若し價格が自ら贈與する他人の寄附に係るものとの間はず合して三十圓を超過するもの
二、當選者を定める方法が詐欺に類し又は正確ならざるもの

第五條 懸賞にして左の各號の一に抵觸するものは之れを禁止す
一、字探し、繪探し、賣探し、謎解、判じ物等娛樂に關する提案にしてその最高賞金又は賞品の金額若し價格が自ら贈與する他人の寄附に係るものとの間はず合して三十圓を超過するもの
二、當選者を定める方法が詐欺に類し又は正確ならざるもの

第六條 投票募集にして左の各號の一に抵觸するものは之れを禁止す
一、投票者の資格又は投票用紙の種類を制限するもの
二、名義の如何を問はず直接間接に他人の名譽又は信用を害し又は害する虞あるもの
三、強いて投票を勧誘し又は他人をして勧誘せしめむとするもの
四、當選者又は投票者に對し表彰として金錢物品を贈與するものは自ら贈與するものと他人の寄附に係るもの

のにありては最高賞品額五十圓を超過するもの但し公共團體その他之れに類する團體にして専ら公益を目的として行ふときは五百圓新聞社にしてその新聞紙により催すときは百五十圓を超過せざるもの
三、前條のものに雖權利を目的として特別の條件を附加するものにおいて最高賞品額二十圓を超過するもの
四、玉突、魚釣、競馬(競馬法に依らざるもの)その他遊技に關し優勝者に對し贈與する最高賞品額十圓を超過するもの
五、廣告引札その他宣傳方法又は賞品價格にして届出事項と相違し又は誇大に涉るもの
六、當選者を定める方法が詐欺に類し又は正確ならざるもの
七、賞品の送料又は荷造費を主催者に於て負擔せざるもの
八、公道、百貨店、興行場、遊覽所其他公衆の來集する場所に於いて賣採し又は變裝競争等の類を爲すもの
第五條 景品(財産上の利益を含む)にして左の各號の一に抵觸するものは之れを禁止するもの
一、物品販賣に附隨する最高景品額にして各個取引額の十倍又は百五十圓を超過するもの
二、商人相互の取引にして一般に公表又は宣傳せざる場合の最高景品額にして各個取引額の二十倍若し千圓を超過するもの
三、公共團體その他之れに類する團體の主權に係る博覽會、展覽會等に於いて入場者に對し贈與する最高景品額にして千圓を超過するもの
四、景品贈與の方法詐欺に類し又は正確ならざるもの
五、廣告、引札その他宣傳方法又は景

品價格にして届出事項と相違し又は誇大に涉るもの
六、景品の送料又は荷造費を主催者に於いて負擔せざるもの
七、行商又は露店に於いて爲さむとするもの
八、湯屋、理髮店、席貸、料理屋、飲食店、貸座敷、興行場、遊覽所、觀物場にして來客に對し景品を提供せむとするもの
九、空籤あるもの
第六條 左の各號の一に該當する物品販賣の方法は之れを禁止するもの
一、當紙に等級を附し之れに相當する物品を定める級の當紙に依り該物品を販賣する方法
二、袋又は之れに類似するものに物品を容し内容を實見せしめずして之を販賣する方法
三、自動販賣器により等級を附し物品を販賣する方法
第七條 投票の募集にして左の各號の一に該當するものは之れを禁止するもの
一、當選者又は投票者に對し贈與する最高景品額百圓を超過するもの
二、投票者の資格又は投票用紙の種類を制限するもの
三、人氣、技藝等他人の名譽又は信用に關係あるもの
四、強いて投票を勧誘し又は他人をして勧誘せしめむとするもの
五、募集者その他募集關係者に於いて得票を左右し得る方法
第八條 第四條、第五條、第七條の最高額は主催者自ら贈與する他人の寄附に係る事と問はず合算したる額を謂ふ
第九條 第四條但書以外の賞品又は景品は總て物品に限る但し有價證券商品切手は此の限に在らず

第十條 左の場合に於いては事實を具し速に報告すべし
 一、本手続の範圍内と雖も事實又は射替方法若はその宣傳方法にして新規又は異例と認むるとき
 二、新聞社、通信社、公共團體、その他之れに類する團體の主體なるるとき
 三、届出の件違反により處罰したるとき
第十一條 懸賞賞額類似その他射替行

毒物劇物營業
取締規則

明治四十五年五月十日内務省令第五號
 昭和七年七月二十二日敕令第二十六號改正

第一條 本令に於て毒物劇物と稱するは醫藥以外の用に供せしむる目的を以て販賣する毒性又は劇性の物品にして別に指定したるものを謂ふ。
 明治二十二年三月法律第十號藥品營業法藥品取扱規則第三十五條に依り定められたる毒劇物の品目に該當する物品にして前項の指定を受けざるものは醫藥用品(同法第二十六條但書及第二十七條但書の場合を含む)の外之を貯藏、陳列、販賣又は譲與する事を得ず。
第二條 毒劇物營業を爲さむとするものは地方長官(東京府は警視總監以下之に就ふ)の許可を受くべし。
第三條 毒劇物營業を爲さむとする者は、製藥商又は製藥者毒劇物營業を爲さむとするときは地方長官に届出べし。
第四條 未成年者、癡癩白痴者その他毒劇物取扱を爲すに堪へずと認むべきもの及法人は其取扱を爲さむる爲め地方長官の許可を得たる營業監理人を置くに非ざれば毒劇物營業を爲す事を得ず。
第五條 毒劇物營業を爲す者は被包に醫藥用外の四字及其の品名並に毒物に

爲及投票募集にして地方長官に於いて禁止又は制限の命令ありたる場合は直ちに主催者に交付し請書を撤し置きその後違反事實ありたるときは直ちに刑事訴訟に附すべし。
 附 則
 明治四十二年八月訓示第一八號同年十一月内務省令第一二號大正四年十一月訓示第七一四號は之を廢止す

は毒物の二字劇物には劇物の二字を明記すべし。
 前項の文字は品名を除く外毒物に付ては赤地に白色、劇物に付ては白地に赤色を以て記載すべし。
第五條 毒物以外の物品と區別し貯藏、陳列すべし劇物に付ては同し毒物を貯藏、陳列する場合は鎖鑰を施し其の外部に醫藥用外毒物の六字を明記すべし。
第六條 毒劇物を取扱ふには専用の器具を備へ毒物又は劇物の文字を其の器具に明記すべし。
第七條 毒劇物營業者毒劇物を交付するに其の容器又は被包に其の營業所、氏名、法人に在りては其の名稱及第四條所定の文字を明記すべし但毒劇物營業者に交付する場合は此の限に在らず飲食物用容器は之を前項の容器に充用することを得ず。
第八條 毒劇物營業者は業務上、學術上又は技術上必要ありと認むる者より左の各號の一に依り其の從事する業務學術若は技藝を證明し且つ品名、數量、使用

の目的、年月日住所氏名、法人に在りては其の名稱及職業を記し捺印したる證書を提出するに非れば之を販賣譲渡することを不得す。
 一、毒劇物營業者知人の證明
 二、官公署又は學校の證明其他該當となるべき官公文書毒劇物營業者自己の知人に毒劇物を販賣譲與する場合に付ては前項の證明を要せず家事上必要な毒劇物にして別に指定するものに付ては前二項の規定を適用せず。
 前項の毒劇物は品名、數量、年月日、住所氏名、法人に在りては其の名稱を記し捺印したる證書を提出するに非ざれば之を販賣譲與することを不得す。
第九條 毒劇物營業者として發賣の免許を受けたる毒劇物に付ては前二條の規定は之を適用せず。
第十條 毒劇物營業者は毒劇物の販賣譲與を受けむとする者前條の要件を具備するも十四歳未満の者又は不安心と認むべきものには之を交付することを不得す。
第十一條 毒劇物營業者官公署、官公立の學校及製造所等に對し毒劇物を販賣譲與する場合は第八條の手續を要せず毒劇物營業者の間に於て販賣譲與する場合は第八條の證書を要せず。
第十二條 本令の執行に關し當該吏員の尋問に對し虚偽の答辯を爲し又はその職務執行を拒み若は之を忌避し又は之に支障を加へたる者は百圓以下の罰金に處す。
 毒劇物の容器又は被包に虚偽の記載を爲したる者若は第一條第二項第八條第一項又は第四項に違背したる者は前項に同じ。
第十六條 第二條の許可を受けず若は

其届出を爲さずして毒劇物營業を爲したる者、禁止又は停止中營業を爲したる者、第四條、第五條、第七條、第五項、第九條に違背したる者又は毒劇物の容器又は被包に誤記を爲したる者は五十圓以下の罰金に處す。
第十七條 第六條に違背したる者は料に處す。
御肖像に關する
 明治三十一年十二月二十八日
 内務省令第三號
 御肖像は左の各項に準據して荷くも心得違ひ次第無之様厚く注意を加ふべし。
 右諭告す
 第一 天皇皇族の御肖像は其尊號御稱號を標記しあると否とを問はず御肖像としての外は寫出すべからず。
 第二 御肖像は總て粗造に流れ不敬に涉るべからず。
 第三 御肖像は不敬に涉るべき場所に掲げ又は陳列すべからず。
 第四 御肖像は露店に於て發賣頒布すべからず。
 内國勳業博覽會の賞牌を製造物品又は看板廣告等とするを許す
 明治十一年四月二日
 内務省令第三號
 明治十年内國勳業博覽會に於いての授與の賞牌は受領人の適宜に任せ、右賞牌の寫を製造の物品又はその外包み或は看板廣告等の類へ相付候儀は、不苦候儀、此旨爲心得布達候事

人事
人物

例言

一、「人事及人物」に收むる處は
 A 業界に於ける各商店の組織機構を知るに備へた「業界職員録」
 B 全国各地の有力業界人を網羅せる「業界人名辭典」
 C 昭和九年度に於ける業界主要人物の動靜、消息を知るに便ならしめる爲めの「業界公人私人」以上の三項に區分して調査した處のものである。
 凡そ昭和九年の業界に於ける一切の人事は、殆ど盡されたるに應幾しと信ずる。
 一、「出張員一覽」は九年度には此處に收められども、寧ろこれは「商品及商店」に關聯せしむるの便利なるを考へ、分離することにした。
 一、「業界職員録」「業界人名辭典」の資料は、原則としてその申告に待ち、「業界公人私人」は全国各地の商報に現はれたる材料によつてこれを調査した。
 一、「業界職員録」は、全国的に擴大するの計畫も考へたけれども、その準備完からずして今年もまたその調査範圍を東京、大阪、京都、名古屋、横浜、神戸の六大都市に止めたのみならず、その基準線を引上げ、嚴選方針に據ることとした爲め昨年よりも著しくその數を減少した。
 一、「業界人名辭典」は、東京に在りては東京組合の全組合員、その他の地方に於いては人口二萬以上の主要都市に於ける主なる同業者に對して照會を發したことに於いては、九年度の調査とその原則を同じうするも、今年は一層その精密を期したる爲め、これが回答數に於いては殆ど昨年の二倍

近くに達した。
 一、「業界職員録」「業界人名辭典」の照會に對しては回答未着のものも尠くはない。然しながらこれはその回答に據るを以てその立前として居る關係上、編集部に於いて有する處の材料あるも、これを加へることを差控へ、何等補足しないことにした。
 一、隨つて昨年の年鑑に登載せるものと雖も、回答なきものは一切採録しないことにした。
 一、「業界職員録」「業界人名辭典」の調査は、何れも十月一日を以てその基準と定め、それ以後の異動に關しては與ふ限りの訂正を加へたるも、十一月十日以後に到着したる分は遺憾ながら、採録するを得ざるものが多かつた。
 一、「業界公人私人」は、昭和八年十二月一日より同九年十一月三十日に至るまでの分を取扱ふことにした。
 一、「業界職員録」「業界人名辭典」の配列は、昨年は「いろは」別としたるも、今年以後はこれを「五十音」順に改めることにした。

人事人物調査一覽

項目	職員録	人名辭典	公人私人
照會數	三〇〇	三、五〇〇	—
回答數	三三三	二、八三三	—
登載數	三三三	二、八三三	—
調査範圍	六大都市全	府縣全	全
調査基準	昭和九年	昭和九年	自昭和八年二月一日至昭和九年十一月三十日
年月日	十月一日	十月一日	—

回答數と登載數と一致せざるは回答未着の爲め採録に合はずしによる



東京市

ア

株式会社 浅井石輪店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

株式会社 安藤井商堂
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

天野源七商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

井田京藥堂
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

井上太兵衛商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

伊東胡蝶園
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

井上小四郎商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

伊勢惣
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

川野喜立志堂
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

木屋芳兵衛本店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

近藤商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

井田京藥堂
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

井上太兵衛商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

伊東胡蝶園
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

川野喜立志堂
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

木屋芳兵衛本店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

近藤商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

岩谷商會
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

小川源一商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

大山勇次郎商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

河合商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

花王石輪株式会社長瀬商會
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

河田商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

川野喜立志堂
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

木屋芳兵衛本店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

近藤商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

永廣堂支店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

岩谷商會
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

小川源一商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

大山勇次郎商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

河合商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

花王石輪株式会社長瀬商會
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

河田商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

川野喜立志堂
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

木屋芳兵衛本店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

近藤商店
 本社 浅井石輪本館
 東京市東区東久野町二丁目
 電話 八六・二七四〇

業界職員録

住入主任 寺内朝吉
市主任 吉村秀正
近利商店 渡花三三〇
小間物部主任 小間物部主任
小間物部主任 小間物部主任
小間物部主任 小間物部主任

久保力松東京支店
渡花三三二・三三三・三三六・三三七
久保力松東京支店
渡花三三二・三三三・三三六・三三七
久保力松東京支店
渡花三三二・三三三・三三六・三三七

ク

久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九

サ

サ
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九

シ

シ
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九

業界職員録

二三四

常務取締役 中山登三
取締役 田中定治
取締役 酒井武雄
取締役 岡野公之助
取締役 永井千秋
取締役 増田文之助

久保力松東京支店
渡花三三二・三三三・三三六・三三七
久保力松東京支店
渡花三三二・三三三・三三六・三三七
久保力松東京支店
渡花三三二・三三三・三三六・三三七

コ

小林健次郎商店
日本橋一七九六
小林健次郎商店
日本橋一七九六
小林健次郎商店
日本橋一七九六

ク

ク
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九

シ

シ
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九

業界職員録

二三五

常務取締役 武川重男
取締役 向井喜基
取締役 柏倉清太郎
取締役 根野龍藏
取締役 岡本清太郎
取締役 岡本清太郎

久保力松東京支店
渡花三三二・三三三・三三六・三三七
久保力松東京支店
渡花三三二・三三三・三三六・三三七
久保力松東京支店
渡花三三二・三三三・三三六・三三七

ク

ク
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九

サ

サ
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九

シ

シ
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九
久能本本店
日本橋二八九・二七九七・三六三九

業界職員録

ソ

合資会社相馬帝國社
代表 相馬久吉
事務 相馬正雄

タ

泰昌製糖株式会社
代表 藤原又吉
事務 高瀬誠三郎

テ

合資会社テーシー商会
代表 長瀬元六
事務 渡邊卷四郎

ト

徳田商店
代表 徳田唯泰
事務 清水伊壽雄

チ

田中地球堂
代表 田中吉兵衛
事務 板橋貫治

ツ

立花屋商店
代表 今井孝三郎
事務 伊東重雄

ニ

大坂出所
代表 八木竹四郎
事務 堀内利器

ナ

高砂香料株式会社
代表 藤原又吉
事務 高瀬誠三郎

ノ

合資会社相馬帝國社
代表 相馬久吉
事務 相馬正雄

ネ

白牡丹本店
代表 松田幸治郎
事務 松田信四郎

ハ

合資会社松井製糖支店
代表 松井新策
事務 橋本義一

ヘ

富士屋小間物店
代表 中川悠三
事務 建部正三

ホ

合資会社芳誠舎石綿製造所
代表 保々誠次郎
事務 保々龍三

マ

合資会社松澤商店
代表 原市藏
事務 鈴木利一

ヒ

株式会社平尾製糖商店
代表 平尾贊之輔
事務 板倉安兵衛

フ

長谷川慶太郎商店
代表 長谷川慶太郎
事務 森相四郎

セ

合資会社相馬帝國社
代表 相馬久吉
事務 相馬正雄

シ

白牡丹本店
代表 松田幸治郎
事務 松田信四郎

丸善株式會社

日本橋(代表)二二二
丸善ビルヂング其他賣場
日本橋區二の六
支店 大阪、京都、名古屋、福岡、
仙臺、横濱、東京、神田

支店 長 山崎信興
支店 長 八田庄治
支店 長 野口甚三郎
支店 長 渡邊英夫
支店 長 津物部主任

丸見屋商店

浪花三〇・自二二二至二二七
ミツ石綿・ヤマト白粉木綿
日本橋區南區二〇番地

支店 長 三輪善兵衛
支店 長 三輪善太郎
支店 長 小野平
支店 長 藤田篤
支店 長 松永宗吉
支店 長 横井順造
支店 長 鈴木種海
支店 長 波多蔵一

万新商店

浪花二〇・一六
日本人小間物賣場
日本橋區南區三の三

支店 長 鈴木新吉
支店 長 歌代増藏
支店 長 小島宗吉
支店 長 池田眞三
支店 長 松林忠三郎
支店 長 村田貞吉
支店 長 平澤誠二
支店 長 鶴澤喜久治
支店 長 佐藤保次

三浦

三浦醫治商店

浪花三三・三五・四三・三六
セロイド生地製品
日本橋區南區一の四

支店 長 三浦督治
支店 長 南條康吉
支店 長 中田清次
支店 長 河合茂
支店 長 坂口弘

三和以字商店

京橋三三五〇・三四六七
化粧品原料輸出商
京橋區京橋二の二〇

支店 長 三和以字壽
支店 長 森田一郎
支店 長 高橋喜久
支店 長 高橋喜久
支店 長 池田昌弘
支店 長 林田正
支店 長 井村大輔

水村既美石綿製造所

浪花三三・四六
洗濯石綿
日本橋區南區一の二

支店 長 渡邊武雄
支店 長 關根武雄
支店 長 宮坂文雄
支店 長 井上誠

三

株式會社桃谷天館東京支店

日本橋一六二六・二九三七
明色化粧品・美肌化粧品製造木綿
日本橋區本町二の七

支店 長 西村幸之助
支店 長 吉村又一郎
支店 長 三木己之吉
支店 長 川上親利
支店 長 春日重郎
支店 長 渡邊泰太郎
支店 長 濱田清太郎
支店 長 志賀尚一
支店 長 山本四郎

森留商店

本所一六一五
石綿製サクレットケース製造
日本橋區南區三の四

支店 長 森留三藏
支店 長 小澤信三
支店 長 飯田昌司
支店 長 山田辰次
支店 長 市販買主任
支店 長 野田辰次

株式會社森友商店

本所一六一五
石綿製サクレットケース製造
日本橋區南區三の四

支店 長 森友兵衛
支店 長 坂村重太郎
支店 長 坂村重太郎
支店 長 坂村重太郎
支店 長 坂村重太郎
支店 長 坂村重太郎
支店 長 坂村重太郎

株式會社モッコ洗粉本舗

中野三二一五 四三三三
中野三二一五 四三三三
牛込區金町二の二

支店 長 山本喜代松
支店 長 河野拾子
支店 長 大鹿永一
支店 長 山本十重松
支店 長 金子一雄
支店 長 野田義也

守屋合名會社

三田三六九一
三田三六九一
芝區本芝二の二三

支店 長 守屋賢吾
支店 長 守屋賢四郎
支店 長 守屋賢四郎
支店 長 守屋賢四郎
支店 長 守屋賢四郎
支店 長 守屋賢四郎
支店 長 守屋賢四郎

ライオン石綿株式會社

浪花一六〇〇・二三三三
石綿、油綿、グリース
日本橋區南區一〇番地三

支店 長 高橋林三郎
支店 長 吉井格次郎
支店 長 矢部眞平
支店 長 三部松太郎
支店 長 小西猛

ヤ

山田進歩印刷所

浪花六六〇・四一九八
ペーパー紙器ボスター
日本橋區南區一の八

支店 長 山田進歩
支店 長 野久一
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎

山田屋香粧品製造所

浪花二八・一四
化粧品製造販賣
本所區南區一の五

支店 長 山田進歩
支店 長 野久一
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎

山口豐承堂

九段三三〇
内外化粧品石綿製造
日本橋區南區二の二〇

支店 長 山口竹次郎
支店 長 山口竹次郎
支店 長 山口竹次郎
支店 長 山口竹次郎
支店 長 山口竹次郎
支店 長 山口竹次郎
支店 長 山口竹次郎
支店 長 山口竹次郎

株式會社山岸商店

大塚二二〇
千代田製紙木綿
墨田區錦旗一の七八

支店 長 山岸徳治郎
支店 長 山岸徳治郎
支店 長 山岸徳治郎
支店 長 山岸徳治郎
支店 長 山岸徳治郎
支店 長 山岸徳治郎
支店 長 山岸徳治郎
支店 長 山岸徳治郎

藥界職員錄

三浦

三浦醫治商店

浪花三三・三五・四三・三六
セロイド生地製品
日本橋區南區一の四

支店 長 三浦督治
支店 長 南條康吉
支店 長 中田清次
支店 長 河合茂
支店 長 坂口弘

三和以字商店

京橋三三五〇・三四六七
化粧品原料輸出商
京橋區京橋二の二〇

支店 長 三和以字壽
支店 長 森田一郎
支店 長 高橋喜久
支店 長 高橋喜久
支店 長 池田昌弘
支店 長 林田正
支店 長 井村大輔

水村既美石綿製造所

浪花三三・四六
洗濯石綿
日本橋區南區一の二

支店 長 渡邊武雄
支店 長 關根武雄
支店 長 宮坂文雄
支店 長 井上誠

宮坂香料店

浪花二七・二七六
香料製造販賣
日本橋區本町三の三

支店 長 西村幸之助
支店 長 吉村又一郎
支店 長 三木己之吉
支店 長 川上親利
支店 長 春日重郎
支店 長 渡邊泰太郎
支店 長 濱田清太郎
支店 長 志賀尚一
支店 長 山本四郎

株式會社ヤマキ商會

浪花三二・四〇
化粧品製造販賣
日本橋區南區一の五

支店 長 山田進歩
支店 長 野久一
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎
支店 長 村川武太郎

株式會社大和製菓製作所

浪花二七・二七五・三〇〇七
洋菓子、月餅、其他
日本橋區南區一の五

支店 長 大和眞太郎
支店 長 町田英次郎
支店 長 町田英次郎
支店 長 町田英次郎
支店 長 町田英次郎
支店 長 町田英次郎
支店 長 町田英次郎
支店 長 町田英次郎

株式會社柳屋商會

浪花三三・四六
木綿、油綿、グリース
日本橋區南區一〇番地三

支店 長 柳屋商會
支店 長 柳屋商會
支店 長 柳屋商會
支店 長 柳屋商會
支店 長 柳屋商會
支店 長 柳屋商會
支店 長 柳屋商會
支店 長 柳屋商會

ライオン石綿株式會社

浪花一六〇〇・二三三三
石綿、油綿、グリース
日本橋區南區一〇番地三

支店 長 高橋林三郎
支店 長 吉井格次郎
支店 長 矢部眞平
支店 長 三部松太郎
支店 長 小西猛

光會
澤田三三
石部製菓
工場主任
久保芳三郎
宮本泰三郎
福島景夫

大阪市堺市

朝日堂株式会社
代表取締役
伊藤貞七
取締役
石田公四郎
伊藤貞次
伊藤貞三
伊藤貞四
伊藤貞五
伊藤貞六
伊藤貞七
伊藤貞八
伊藤貞九
伊藤貞十

井上徳商店
代表取締役
井上恵一
井上恵二
井上恵三
井上恵四
井上恵五
井上恵六
井上恵七
井上恵八
井上恵九
井上恵十

ウ

ウエルス商會
代表取締役
和泉乙三郎
取締役
高城辰美
山口開十郎
井上通永
二神巖

永廣堂本店
代表取締役
今井安太郎
取締役
三好宗太郎
山本繁
堀野金次郎
福田義雄

エ

大槻彩芳園
代表取締役
大槻彩芳園
取締役
大槻彩芳園
大槻彩芳園
大槻彩芳園
大槻彩芳園
大槻彩芳園
大槻彩芳園
大槻彩芳園
大槻彩芳園

カ

改進黨石輪製造所
代表取締役
井上平太郎
取締役
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎

キ

木村三郎商店
代表取締役
木村三郎
取締役
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎

ク

廣秀社本店
代表取締役
中島章太
取締役
鈴木嘉吉
向井英次
羽束雪次

本郷善太郎
吉田種蔵

萩田商店
代表取締役
萩田商店
取締役
萩田商店
萩田商店
萩田商店
萩田商店
萩田商店
萩田商店
萩田商店
萩田商店

平泉平右衛門
代表取締役
平泉平右衛門
取締役
平泉平右衛門
平泉平右衛門
平泉平右衛門
平泉平右衛門
平泉平右衛門
平泉平右衛門
平泉平右衛門
平泉平右衛門

イ

伊藤貞七
伊藤貞次
伊藤貞三
伊藤貞四
伊藤貞五
伊藤貞六
伊藤貞七
伊藤貞八
伊藤貞九
伊藤貞十

伊藤貞七
伊藤貞次
伊藤貞三
伊藤貞四
伊藤貞五
伊藤貞六
伊藤貞七
伊藤貞八
伊藤貞九
伊藤貞十

ウ

和泉乙三郎
高城辰美
山口開十郎
井上通永
二神巖

エ

今井安太郎
三好宗太郎
山本繁
堀野金次郎
福田義雄

カ

井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎
井上平太郎

キ

木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎
木村三郎

名古屋

樹園本店

代表社員 藤井孝一
主 人 見尾昌一
中 田 昌喜

葵香本店

代表社員 水谷米三郎
主 人 水野俊介

松尾喜七商店

代表社員 松尾喜七
主 人 松尾喜七

石塚商店

代表社員 宇佐美政次郎
主 人 宇佐美政次郎

村田喜太郎商店

代表社員 村田喜太郎
主 人 村田喜太郎

伊藤伊三商店

代表社員 伊藤伊三
主 人 伊藤伊三

加藤化驗品部

代表社員 加藤化驗品部
主 人 加藤化驗品部

加藤化驗品部

代表社員 加藤化驗品部
主 人 加藤化驗品部

竹市商店

代表社員 竹市商店
主 人 竹市商店

辻高商店

代表社員 辻高商店
主 人 辻高商店

大正石館製造所

代表社員 大正石館製造所
主 人 大正石館製造所

中東商店

代表社員 中東商店
主 人 中東商店

合名會社 藤倉金化驗品部

代表社員 藤倉金化驗品部
主 人 藤倉金化驗品部

AC商會 松永平吉商店

代表社員 松永平吉商店
主 人 松永平吉商店

馬淵合名會社

代表社員 馬淵合名會社
主 人 馬淵合名會社

九八商店

代表社員 九八商店
主 人 九八商店

合名會社 村瀨石輪製造所

代表社員 村瀨石輪製造所
主 人 村瀨石輪製造所

村瀨谷三郎商店

代表社員 村瀨谷三郎商店
主 人 村瀨谷三郎商店

森本店

代表社員 森本店
主 人 森本店

加藤石館製造所

代表社員 加藤石館製造所
主 人 加藤石館製造所

合名會社 結城屋商店

代表社員 結城屋商店
主 人 結城屋商店

横濱市川崎市

代表社員 横濱市川崎市
主 人 横濱市川崎市

九毛岩崎商店

代表社員 九毛岩崎商店
主 人 九毛岩崎商店

金子屋本店

代表社員 金子屋本店
主 人 金子屋本店

合名會社 北九商店

代表社員 北九商店
主 人 北九商店

喜多志瀧商店

代表社員 喜多志瀧商店
主 人 喜多志瀧商店

清家世界堂

代表社員 清家世界堂
主 人 清家世界堂

佐藤龜屋堂

代表社員 佐藤龜屋堂
主 人 佐藤龜屋堂

合名會社 細田商店

代表社員 細田商店
主 人 細田商店

服部商店

代表社員 服部商店
主 人 服部商店

古牧與平商店

代表社員 古牧與平商店
主 人 古牧與平商店

合名會社 細田商店

代表社員 細田商店
主 人 細田商店

十八年七月三十日 8 鐵質縣島
 居本村 10 讀書、讀書、將棋
 11 眞宗
 中山龍太郎 1 新發田屋商店
 3 洋物、化粧品卸商 4 小樽市
 色内町四丁目大通一六 5 同
 7 明治十九年一月十四日 8 新
 海縣新發田町 10 養生流讀書
 11 眞宗
 村住三右衛門 1 梅屋商店
 2 店主 3 小間物化粧品卸、各
 種石鹼化粧品製造 4 小樽市色
 内町六の四七 5 同 7 明治五
 年十月七日 8 石川縣中村 10
 讀書 11 眞宗
 毛羽實 3 小間物、化粧品卸
 4 小樽市信香町一の二 5 同
 7 明治二十七年四月二十五日
 8 別所縣坂井郡春江村中庄 11
 門徒高田宗
 石倉忠平 1 石倉商店 2 店
 主 3 化粧品、雜貨卸 4 旭川
 市四條通り一三丁目 5 同 7
 明治二十七年四月十五日 8 新
 海縣 10 讀書、釣 11 眞宗
 石橋三三 1 九石橋商店
 2 店主 3 化粧品、石鹼、雜貨
 卸 4 旭川市一條通り十日右六
 號 5 同 7 明治三十九年四月
 二十二日 8 美深町字恩根内
 9 元山本保壽堂勤務 10 讀書、
 娛樂一般 11 眞宗
 川倉會吉 1 合資會社川倉商
 店 2 代表社員 3 小間物、化
 粧品、洋物卸商 4 旭川市一條
 通り八の右七 5 同 7 明治二
 十四年五月二十三日 8 米澤市
 濱藤五作 1 今井吳服店 2
 支配人 3 百貨店 4 旭川市一
 條通り七日 5 旭川市五條三丁

目7 明治二十六年十月九日 8
 新海縣吉田町 10 釣
 笠松岩吉 1 ナルホ堂 2 營
 業主 3 小間物、化粧品卸 4
 旭川市二條通り七日 5 同 7
 明治二十年一月二十五日 8 和
 歌山縣田邊町 9 明治三十八年
 三月親元の農より出て、轉業
 11 眞宗
 田中慶代次 1 旭精油商事務
 式會社 2 取締役兼支配人 3
 毛髮化粧品、クワイム、粉石鹼
 4 旭川市四條通り四丁目左三號
 5 同 7 明治三十五年九月十八
 日 8 新海縣新發田町 10 讀書
 乘馬、旅行 11 眞宗
 津久井實 1 二葉屋 2 店主
 3 小間物洋品卸 4 旭川市二條
 通り一五丁目右七 5 同 7 明治
 二十四年八月十九日 8 神奈川
 縣國府津町 11 西本願寺信宗
 三本作藏 1 三本商店 3 小
 間物化粧品卸、ばかりクワイム
 製造 4 旭川市二條通り十三丁目
 5 同 6 旭精油株式會社監査役
 7 明治二十三年九月十四日 8
 新海市 10 將棋 11 眞宗
 西衛 1 旭川大加十全堂
 2 主任 3 化粧品雜貨、小間物
 雜貨 4 旭川市宮下通九左五號
 5 同 7 明治四十二年十一月三
 十日 8 濱棚郡別府村今里市街
 9 函館市十全堂本店勤務 11 佛
 教
 會守猛 1 タケヤ商店 2
 店主 3 石鹼化粧品卸 4 釧路
 市里金町一三の三一 5 同 7
 明治三十六年二月十五日 8 北
 海道釧路 10 圖書、讀書 11 曹
 洞宗

橋本文平 1 橋本商店 2 店
 主 3 化粧品、石鹼、紙、文具
 雜貨卸 4 釧路市北大通八の四
 5 同 7 明治二十四年九月二十
 六日 8 兵庫縣淡路國 10 讀書
 旅行 11 眞宗
 兩角榮治 1 株式會社丸三鶴
 屋 2 取締役社長 3 百貨店
 4 釧路市北大通五の二 5 支店
 野付牛町二條西一丁目 6 合名
 會社兩角商店代表社員、釧路商
 工會議所會頭 7 明治七年三月
 十五日 8 新海縣 9 札幌今井
 商店出身 10 圖書 11 眞宗
 兩谷惣松 1 兩谷商店 2 店
 主 3 化粧品、軍手その他雜
 貨、石鹼卸商 4 釧路市大町五
 の一八 5 同 6 富國火災保險
 會社代理店、岩場組合組長
 7 明治三十六年十月二十日 8
 石川縣羽咋郡末森村字今濱 10
 信仰と活動 11 門徒大谷派東本
 願寺
 東義雄 1 東商店 2 店主
 3 紙、文具、化粧品 4 室蘭市
 大町二九 7 大正四年十月十四
 日 8 濱賀縣日野 10 大弓、寫
 眞 11 眞宗
 平石淺太郎 1 京極屋商店
 2 店主 4 室蘭市千歲町一二
 5 同 6 商工會議所議員 7 明
 治元年七月二十八日 8 愛媛縣
 宇摩郡三島町 11 眞宗
 山口直次 1 山口商店 2 店
 主 3 紙、文具、化粧品、石
 鹼、雜貨卸商 4 室蘭市泉町五
 三 5 同 7 明治二十三年一月
 五日 8 北海道札幌市 10 圖書
 11 眞宗
 山田幸次郎 1 山田商店 2

店主 3 小間物、化粧品、文具
 玩具 4 室蘭市大町一 5 室
 蘭市小樽町内一 7 慶應元年八
 月十五日 8 新海縣南原郡中
 之島村中條 10 圖書 11 眞宗
 有田重太郎 1 有田紙店 2
 店主 3 紙、文具、石鹼卸 4
 管廣市大通一の一九 5 同
 7 明治二十五年十一月十五日
 8 札幌市 9 藤井商店店員
 スタンプ、記念繪ハカキ集
 眞宗
 黒澤武三郎 1 黒澤藥局 2
 店主 3 藥種、化粧品小賣 4
 管廣市大通九丁目 5 同 6 帶
 廣藥種實業化粧品商業組合理事
 長 7 明治二十年五月二十二日
 8 水戸市 10 弓道 11 眞宗
 莊田徳太 1 莊田商店 2 店
 主 3 小間物、化粧品卸 4 帶
 廣市大通九丁目 5 同 7 明治
 十一年八月十一日 8 大分縣白
 杵町 11 眞宗
 竹中一男 1 竹中一男商店
 2 店主 3 小間物雜貨、化粧品
 卸 4 帶廣市西一條一の七一
 一九 5 同 6 帶廣市土地株式會
 社取締役 7 明治三十一年八月
 一日 8 岐阜縣掛兼郡谷汲村
 9 岐阜縣掛兼郡大野吳服店支配
 人 10 乘馬 11 眞宗
 愛須英夫 1 愛英商店 2 店
 主 3 紙、文具、化粧品、小間
 物卸 4 帶廣市大通一の二の一
 五 6 古屋市南區豐田町五の割一
 八 〇 6 木村商店主 7 明治
 二十九年六月十三日 8 北海道
 永山村 11 眞宗
 片山富次郎 1 原田商店 2
 店主 3 化粧品卸 4 根室町本

俱知安町 5 同 7 明治三十
 一年十一月十三日 8 北海道 10
 尺八、將棋 11 眞宗
 東一 1 東一商店 2
 店主 3 藥種、化粧品 4 北海
 道留萌町本通 5 留萌町瀬越通
 六九 6 保險部 7 明治二十五
 年二月十一日 8 濱賀縣浦生郡
 安土村 9 明治三十九年渡邊開
 業 10 讀書 11 眞宗
 田巻精司 1 合資會社田巻商
 店 2 代表社員 3 化粧品、紙
 文具、雜貨卸商 4 常呂郡野
 付牛町一條通り一丁目 5 同
 7 明治二十一年一月十五日 8
 新海縣南原郡田上村 9 旭川
 市一の八川合商店支配人 10 庭
 園、信仰 11 眞宗
 永井逸文 1 永井商店 2
 店主 3 茶、紙、文具、化粧品
 品、石鹼雜貨 4 空知郡岩見澤
 町一條西一丁目 5 同 7 明治
 四十年十月八日 8 愛媛縣周桑
 郡國安村 11 眞宗
 林好次 1 林屋商店 2 店
 主 3 雜貨 4 網走町 5 同
 6 雜貨及水産 10 乘馬
 深見善吉 1 深見小間物店
 2 店主 4 樽山郡江差町字木町
 5 同 7 明治二十四年十一月二
 十一日 8 北海道江差町 9 四
 十五年前より開店 11 眞宗
 池田三郎 1 大和屋商店 2
 店主 3 ヌラス、雜貨、化粧品
 品、石鹼、紙、文具卸商 4 眞
 宗本町一の八 5 同 7 明治二
 十八年九月十一日 8 新海縣新

發田町 10 旅行 11 眞宗
 依味源善智 1 サミヤ洋品店
 3 洋物、小間物、化粧品、文具
 卸小賣 4 本斗町中通三丁目
 5 同 7 明治二十九年九月二十
 五日 8 石川縣七尾港
 養本竹太郎 1 茶の木屋商店
 2 店主 3 茶、紙、文具、化
 粧品、石鹼 4 眞宗本町二の
 一九 5 同 6 樽太酒精株式會
 社常任監査役、樽太相互無盡株
 式會社監査役 7 明治二十六年
 十二月十一日 8 北海道野付町
 松行伊太郎 1 松村商店 2
 店主 3 化粧品卸商 4 眞宗町
 南濱町一丁目 5 同 6 北商事
 株式會社取締役 7 明治二十八
 年五月十七日 8 石川縣 9 社
 商事務株式會社支配人 10 讀書、
 旅行 11 眞宗
 相吉治雄 2 店主 3 小間物
 化粧品、文具、紙、雜貨卸 4
 大泊郡大泊町大字大泊字榮町本
 通一の二七 5 同 7 明治二十
 三年六月二十九日 8 山梨縣
 11 眞宗
 鹽田源次 2 店主 4 大泊町
 旭町一條通り一の四三 5 同
 6 樽太折紙織造株式會社、大泊
 無盡株式會社 7 明治十五年八
 月十七日 8 石川縣野付市町
 10 圖書 11 眞宗
 多田雅吉 1 養生堂棧太配給
 所 2 主任 4 養生町西二條南
 四丁目 5 同 6 大加十全堂棧
 太支店長 7 明治三十九年二月
 十一日 8 香川縣木田郡松村
 9 養生堂北海道販賣會社出張員
 10 讀書
 野原常太郎 1 金時屋商店

2 店主 3 小間物、化粧品、石
 鹼卸 4 豐原町西一條南六丁目
 5 同 7 明治二十五年七月二十
 四日 8 島根縣那賀郡那治村
 11 眞宗
 櫻井藤助 1 サクラヤ藥局
 2 店主 3 藥品賣藥、化粧品、
 食料品卸小賣 4 青森市柳町十
 字街角 5 同 7 明治三十一年
 五月三日 8 北海道樽山郡江差
 町 10 讀書
 高橋忠次郎 1 高橋商店 2
 店主 3 小間物、化粧品、雜貨
 卸商 4 青森市寺町三の四二
 5 同 7 明治十六年六月一日
 8 弘前市 10 將棋、植木 11 眞
 宗
 濃谷吉次郎 1 濃谷小間物店
 2 店主 3 小間物、雜貨、化粧
 品 4 青森市大町三九 5 同
 7 明治二年四月十日 8 青森市
 9 木村吳服店三ヶ年奉公 10
 盆裁 11 眞宗
 寺島末太郎 1 寺長寺島商店
 2 店主 3 雜物、小間物、化粧
 品紙卸 4 青森市寺町五 5 同
 7 明治四年十月二十三日 8 青
 森市 11 眞宗
 島山源之進 1 島山商店 2
 店主 3 小間物、雜貨卸商 4
 青森市博勢町三丁目 5 同 7
 明治四年八月一日 8 宮城縣本
 吉郡 11 眞宗
 大高啓吉 1 大高本店 2 店
 主 3 小間物雜貨、文具、化粧
 品、紙 4 弘前市大字和徳町一

七五 5 同 7 慶應元年一月十
 六日 8 青森縣 9 創業 11 日
 眞宗
 關藤吉 1 關藤商店 2 店主
 3 化粧品、洋品、文具、小間物
 紙卸小賣 4 弘前市土手町三四
 5 同 7 大正二年三月十五日
 10 ラゾオ、スボ 11 眞宗
 竹内清吉 2 店主 3 小間物
 雜貨卸小賣 4 弘前市大字和徳
 町二四六 5 同 7 安政二年十
 月六日 8 弘前 10 盆裁、將棋
 11 眞宗
 辻井幸次郎 1 かぎや小間物
 店 2 店主 3 帽子、メリヤス
 小間物、化粧品卸 4 弘前市土
 手町一三三 5 弘前市住吉町一
 一 6 弘前商工會議所議員 7
 明治二十五年三月二日 8 弘前
 市 9 吳服商店員 10 圖書初段
 正日
 宮川忠助 1 株式會社宮川吳
 服店 2 社長 3 小間物雜貨、
 化粧品卸小賣 4 弘前市土手町
 一五 5 同市鐵砲町二〇 6 弘
 前鐵道株式會社取締役株式會社
 津輕銀行取締役、東北織物株式
 會社社長、津輕漆器株式會社取
 締役、弘前商工會議所會頭 7
 明治九年五月二十日 8 青森縣
 浪岡村 11 京都東本願寺信宗
 齋村善太郎 1 齋村善太郎商
 店 2 店主 3 小間物、玩具
 4 八戸市大字鍛冶町五二番戸
 5 八戸市大字山伏小路 6 雜草
 小賣組合會計主任 7 明治九年
 二月二十一日 8 八戸市 10 圖
 書 11 眞宗
 伊勢崎八郎 1 伊勢崎本店
 2 店主 3 日用雜貨、化粧品

樺太

岩手縣

店主 3 化粧品卸 4 盛岡市... 井上留吉 1 井留商店 2 店主... 湯淺正兵衛 1 栗正商店 2 店主...

秋田縣

近江屋正之助 1 近江屋商店 2 店主... 中野英一郎 1 中英商店 3 小間物百貨...

田市大町二の一 5 同 6 第四十八銀行頭取... 中野英一郎 1 中英商店 3 小間物百貨...

山形縣

今泉吉之助 1 今泉洋品店 2 店主... 佐藤吉藏 1 佐藤洋品店 2 店主... 湯淺正兵衛 1 栗正商店 2 店主...

宮城縣

荒井岩之助 1 荒井商店 2 店主... 湯淺正兵衛 1 栗正商店 2 店主... 湯淺正兵衛 1 栗正商店 2 店主...

同 7 明治七年六月十五日 8 名取郡岩沼町 11 神佛
 井澤源太郎 1 東北小間物化
 粧品商社 2 主幹 4 仙臺市
 東二番丁一〇三 5 同 6 仙臺市
 小間物雜貨商組合書記長、仙臺
 文具商組合主事 7 明治二十四
 年六月三日 8 仙臺市 9 前大
 倉組仙臺支店會計 10 讀書、觀
 劇 11 天台宗
 大澤書平 1 越後屋百貨店
 2 店主 3 雜貨販賣 4 仙臺市
 中ノ町二三 5 同 6 仙臺市
 品商組合理事 7 明治三年
 十二月一日 8 新潟縣龜田町
 10 讀書、盆裁 11 淨土新宗
 川合清藏 1 川合商店 3 小
 間物、化粧品 4 仙臺市大町四
 の一八三 5 同 7 明治十四年
 四月二十七日 8 山形市 10 号
 道 11 ひとの道
 佐藤忠之進 2 店主 3 前ア
 ラシ、雜貨化粧品卸 4 仙臺市
 越路七 5 同 7 明治二十二年
 十二月八日 10 野球見物、讀書
 11 佛敎
 藤澤末吉 1 高橋東洋堂仙臺
 出張所 2 主任代理 4 仙臺市
 大佛前五 5 同 7 明治三十
 三年七月十八日 8 栃木縣上野
 實郡今市町土澤
 新澤源四郎 1 三越仙臺支店
 2 店員 3 化粧品小賣 4 仙臺
 市東一番丁 5 仙臺市北三番丁
 三六 7 明治四十三年一月五日
 8 東京市 10 野球、讀書
 善野鐵助 1 善野商店 2 主
 人 3 石繪、雜貨販賣 4 仙臺
 市南村木町九二 5 同 7 明治
 二十八年七月十八日 8 古川町
 字七日町 10 早晨早起 11 神、
 佛習察所
 佛習察所 1 株式會社庄庭商
 店 2 社長 3 香油化粧品 4
 仙臺市 5 仙臺市田町一一九
 7 明治五年四月十二日 8 仙臺
 市 10 將棋
 濱口靜治 1 濱口商店 2 店
 主 3 蠟燭、石繪、香油、雜貨
 卸 4 仙臺市新傳馬町一三 5
 同 6 日本キヤンデル會社取締
 役 7 明治十二年九月二十六日
 8 仙臺市 10 芝居、將棋
 11 曹洞宗
 奈賀嘉人 1 養生堂仙臺販賣
 株式會社 2 支配人 3 養生堂
 製品 4 仙臺市新傳馬町六三
 5 同 7 明治四十年三月十八日
 8 長野縣下高井郡中野町 9 昭
 和四年本社より轉任支配人とな
 る 10 寫眞、釣、骨董品 11 佛
 敎
 瀧澤豐治 1 大黒屋 2 店主
 4 仙臺市東一番町一七 5 同
 7 明治二十二年二月十一日 8
 仙臺市
 三浦啓作 1 三浦啓作商店
 2 店主 3 醬油、蠟燭、石繪、燻
 寸、ウチ靴、紙類、紙香煙 4
 仙臺市東二番丁一〇二〇多門通
 5 同 6 株式會社仙臺自動車專務
 取締役、仙臺市街自動車株式會
 社、日本ワイエス石繪會社、宮
 城自動車會社各取締役、仙臺商
 工會議所會頭、仙臺商工會長
 7 明治六年四月二日 8 仙臺市
 10 圖書 11 日蓮宗
 村上安之助 1 村上屋商店
 2 店主 3 化粧品卸 4 仙臺市
 岡分町四七 5 同 6 仙臺市
 品商組合常務理事 7 明治二
 十七年十一月十五日 8 仙臺市
 9 元養生堂仙臺販賣株式會社常
 務取締役 10 スカトツ見物 11
 曹洞宗
 八木安兵衛 1 近八商店 2
 店主 3 内外化粧品、石繪、小
 間物雜貨卸商 4 仙臺市大町四
 の一八五 5 同 6 所得營業收
 益調査委員、前仙臺商工會議所
 議員、仙臺小間物化粧品雜貨商
 組合前組合長、現在同組合相談
 役、養生堂仙臺販賣株式會社專
 務取締役 7 明治三年十一月十
 日 10 商賣のみに他にもなし
 藥田貞吉 1 藥田商店 2 店
 主 3 小間物雜貨、化粧品卸商
 4 石巻市大町三丁目 5 同 7
 明治六年四月二十日 8 仙臺市
 10 旅行、觀劇 11 曹洞宗
 菊地善治 1 菊屋 2 店主
 3 化粧品、藥品卸小賣 4 石巻
 市横町一三 5 同 7 明治二十
 九年三月十日 8 石巻市 11 淨
 土宗
 須田幸一郎 1 觀慶丸百貨店
 2 店主 3 小間物化粧品卸小賣
 4 石巻市大町三三 5 同 7 明
 治二十四年三月八日 8 石巻市
 11 曹洞宗
 吉村直治郎 1 合資會社吉村
 商店 2 代表社員 3 石繪、商
 磨 4 石巻市裏町八三の二 5
 同市新田町五五 6 石巻共同運
 輸會社取締役 7 明治十四年十
 月 8 滋賀縣甲賀郡油田村 9
 吉村商店支配人 11 淨土宗
 武川憲助 1 上武川商店 2
 店主 3 洋品、雜貨、化粧品卸
 4 氣仙沼町字三日町四四 5 同
 6 氣仙沼信用組合總代 7 明治
 八年十二月三日 8 氣仙沼町
 10 釣、旅行 11 佛敎
 武川正助 1 武川本店 3 洋
 品雜貨、文具、書籍 4 氣仙沼
 町二二五 5 同 7 明治二十年
 三月八日 8 宮城縣 10 旅行
 11 佛敎
 富田百之助 1 富田本店 2
 店主 3 洋品、小間物、化粧品
 諸紙、文房具 4 氣仙沼町魚町
 5 同 7 安政六年三月十三日
 8 宮城縣 10 讀書、盆裁、義太
 夫 11 日蓮宗
 佐藤 潤 1 佐藤商店 3 靴
 物、小間物、雜貨、化粧品 4
 白石町字長町 5 同 7 明治二
 年九月三日 8 白石町 9 宮城
 縣調尋 10 歴史(郷土史) 11 淨
 土宗
 菅野德藏 1 菅野商店 2 店
 主 3 洋品雜貨、化粧品 4 白
 石町真理町 5 同 7 明治九年
 二月十六日 8 白石町 10 將棋
 11 神佛
 青木勝治 1 アオハヤ 2 店
 主 3 小間物、化粧品、文房具
 玩具 4 鹽釜町御釜神社前 5
 同 7 明治三十七年三月九日
 8 岩谷堂町 9 元宮城縣若柳町
 高平本店店員 10 將棋、野球
 11 佛敎
 今野喜悅 1 今野商店 2 店
 主 3 洋品、雜貨卸小賣 4 桃
 生郡飯野町下町三五 5 同
 7 明治二十二年二月二十五日
 8 宮城縣 10 將棋、大空堂 11
 淨土宗
 田庄七 1 太田商店 2 店
 主 3 小間物、化粧品、雜貨
 4 名取郡岩沼町字三三 5 同
 7 明治二十三年三月一日 8 伊
 具郡金山町 9 太田庄七三代目
 10 盆裁、畫 11 佛敎
 狩野貞作 1 狩野貞商店 2
 店主 3 小間物、洋品、雜貨、化
 粧品商 4 佐沼町字西佐沼九
 ・十一 5 佐沼町字西佐沼一
 一〇 6 國定教科書會社取締役
 佐沼商工會副會長 7 明治十七
 年七月十三日 8 宮城縣 9 明
 治四十年より本業に従事 10 盆
 裁 11 佛敎
 佐々木吉四郎 2 店主 3 化
 粧品卸 4 古川町三日町三九
 5 同 6 縣會議員 鹽釜商會取
 締役 7 明治二十一年四月十日
 8 古川町 9 東北實業銀行支店
 長 10 圖書 11 神佛
 高橋平四郎 1 高平本店 4
 若柳町五同 7 明治二十八年
 一月二十三日 8 宮城縣
 高山庄三郎 1 高山商店 2
 店主 3 小間物、化粧品、學用
 品、蠟、計量器、砂糖、石
 油、粉、其他雜貨 4 大河原町
 5 同 7 明治三年三月九日 8
 宮城縣 11 眞言宗
 一條三四男 1 一條商店 3
 化粧品卸 5 福島市登日町 7
 明治三十三年八月十九日 10 萬
 井上忠吉 1 井上小間物店
 2 店主 3 小間物、雜貨、化粧
 品卸 4 福島市本町七 5 同
 7 明治八年六月五日 8 福島市

福島縣

一 條三四男 1 一條商店 3
 化粧品卸 5 福島市登日町 7
 明治三十三年八月十九日 10 萬
 井上忠吉 1 井上小間物店
 2 店主 3 小間物、雜貨、化粧
 品卸 4 福島市本町七 5 同
 7 明治八年六月五日 8 福島市

茨城縣

明治二十六年四月二十九日 8
 南會津郡田島町 9 元渡部酒造
 店支配人 10 讀書 11 佛敎
 川又謙次郎 1 川又商店 2
 店主 3 化粧品、砂糖卸 4 水
 戸市馬口勞町二丁目 5 同 6
 水戸小間物化粧品商組合副組合
 長 7 明治三十三年十一月十八
 日 8 水戸市馬口勞町 10 讀書
 11 日蓮宗
 室司松次郎 1 福田屋小間物
 店 2 店主 3 小間物、化粧品
 雜貨 4 水戸市泉町四丁目 5
 同 7 明治二十三年九月八日
 8 水戸市 11 淨土宗
 中田彦太郎 1 釘彦商店 2
 店主 3 小間物、袋物、化粧品
 4 水戸市馬口勞町二二三 5
 同 6 茨城瓦斯株式會社、茨城
 製衣株式會社、水戸市市場各取
 締役 7 明治十一年九月二十九
 日 8 茨城縣石岡町 10 書畫
 11 淨土宗
 西原三平 1 吉田屋 2 店主
 3 洋品、文具、紙、小間物、化
 粧品 4 水戸市馬口勞町一丁目
 5 同 6 石城植林取締役、上水
 戸特定倉庫長、明神石炭業森林
 組合監事 7 文久元年一月二日
 8 新潟縣三島郡大津村 10 植林
 事業 11 眞宗
 中島覺次郎 1 中島商店 2
 店主 3 小間物、洋品、化粧品
 4 〆ル卸 4 下館町金井町 5
 同 6 合同運送、製紙會社、井
 川醬油會社、農業倉庫各取締役
 8 茨城縣北條町 11 天台宗

本町 10 將棋 11 淨土宗
 巖波嘉兵衛 1 福屋商店 2
 店主 3 小間物、化粧品、玩具
 小賣 4 福島市本町一七福島
 小賣 5 福島市本町六 7 明
 治三十二年十一月二十日 8 福
 島市 9 前郡山市近江屋商店
 員 10 旅行 11 淨土宗
 後藤友太郎 1 後藤小間物店
 2 店主 3 小間物、化粧品、玩
 具小賣 4 福島市萬世町三一
 5 同 7 明治三十六年十一月十
 七日 8 米澤市 10 麻雀、競馬
 齊藤義助 1 齊藤洋品店 2
 店主 3 洋品雜貨、小賣商 4
 福島市本町一三 5 同 6 齊藤
 合名會社代表社員 7 明治三十
 八年十一月十四日 8 郡山市
 10 讀書、野球 11 眞言宗
 高山山助 1 澤屋 2 店主
 3 高物、小間物、化粧品卸小賣
 4 福島市飯田町三 5 同 6 福
 島化粧品商組合理事 7 明治
 二十一年十月三十日 8 福島市
 11 日蓮宗
 中村英太郎 1 中村合名會社
 福島支店、中村吳服店 2 代表
 社員 3 吳服綿布雜貨、化粧品
 其他一般百貨 4 福島市大町五
 八 5 同 7 明治二十二年 8 滋
 賀縣神崎郡南五箇莊村
 西形吉次郎 1 合資會社西形
 商店 2 代表社員 3 雜貨雜貨
 化粧品卸 4 福島市本町三五
 同 6 福島電燈株式會社取締役
 社長、福島電氣鐵道株式會社取
 締役、福島製米株式會社取締役
 會長 7 明治十五年十二月十九
 日 8 福島市 9 前福島商工會
 議所會頭、現福島商工會議所議
 員 10 圖書、讀曲
 橋本重信 1 橋本支店 2 店
 主 3 小間物化粧品卸 4 福島
 市上町四八 5 同 6 福島化粧
 品組合理事 7 明治二十八年十
 月二十三日 8 二本松町 10 將
 棋、旅行 11 日蓮宗
 大久保保作 1 大久保本店
 3 卸小賣 4 會津若松市榮町
 5 同 7 明治十年十月七日 11
 佛敎
 本村晴吉 1 本村商店 2 店
 主 3 石繪、化粧品卸 4 會津
 若松市七日町一三四 5 同市七
 日町一三七 7 明治十九年二月
 十五日 10 旅行、登山 11 眞宗
 佐藤波平 1 近江屋商店 2
 店主 3 小間物、化粧品卸小賣
 4 郡山市中町二 5 同 6 株式
 會社丸七土地會社代表取締役
 7 明治十五年二月十四日 8 郡
 山市 9 父業を繼ぐ 10 餘暇あ
 び讀書 11 眞言宗
 橋本英太郎 1 合名會社根本
 商店 2 社長 3 化粧品卸 4
 郡山市中町四七 5 同 6 福島
 縣農工銀行取締役 7 明治四年
 三月五日 8 郡山市
 橋本 久 1 橋本本店 2 主
 人 3 小間物、化粧品、メロ
 ス、帽子、雜貨、玩具、文具
 4 郡山市本町四五 5 同 7 明
 治二十二年三月十二日 8 安達
 郡農村 10 乘馬 11 佛敎
 三代川政吉 1 三河屋號 2
 店主 3 小間物、化粧品、洋品
 雜貨、文房具卸 4 郡山市柳町
 一〇三 5 同 7 明治二十八年
 七月三日 8 郡山市 10 旅行
 11 眞言宗
 豬狩庄平 1 鶴屋商店 2 店
 主 3 小間物、洋品、化粧品卸
 4 平町四の二六 5 同 7 明治
 十六年二月二十六日 8 平町
 10 旅行 11 佛敎
 中野庄吉 1 中野洋品店 2
 店主 3 洋品、化粧品卸小賣
 4 平町二の三〇 5 同 7 明治
 十二年十一月四日 8 平町
 橋本善吉 1 大一屋 2 店主
 3 石繪、雜貨、和洋紙、墨裝卸商
 4 平町二の一三 5 同 6 明治
 生命保險平代理店、明治火災保
 險平南代理店 7 明治二十六年
 六月七日 8 平町 11 眞言宗
 橋本善吉 1 橋本支店 2 店
 主 3 しもやけ最新藥シモスタ
 1 丸發賣元、小間物、化粧品、
 雜貨 4 平町 5 同 7 明治三
 十三年一月十七日 8 二本松町
 11 日蓮宗
 馬目勝次郎 1 大黒屋勝次商
 店 2 店主 3 小間物、化粧品
 洋品卸商 4 平町本町三の一五
 5 同 7 明治三十九年一月十五
 日 8 平町 10 讀書 11 佛敎
 飯杉政吉 1 丸エス 2 店
 主 3 文房具、小間物、化粧品
 雜貨 4 中村町大手先八 5 同
 8 相馬郡日立木村 11 一向宗
 平野勝太郎 1 平野商店 2
 店主 3 小間物、雜貨、化粧品
 卸 4 中村町 5 同 7 明治二
 十六年十月二十九日 8 中村町
 9 大正六年四月創業 10 旅行、
 將棋 11 淨土宗
 本村源吉 1 仙臺屋號 2 店
 主 3 洋品、小間物、雜貨 4 川
 俣町瓦町一六 5 同 7 明治二
 十九年十月二十日 8 福島縣

西村治平 1 西村商店 2 店主 3 小間物、化粧品 4 下館町大町二丁目 5 同 7 明治十三年一月二十八日 8 茨城縣下館町

平澤仲次郎 1 サノ十號 3 小間物、化粧品 雜貨 4 下館町大町一丁目 5 同 7 明治十九年十二月一日 8 茨城縣下館町

上野源吉 1 上野小間物店 2 店主 3 小間物、化粧品 販賣 4 土浦町八三八 5 同 7 明治二十九年七月二十五日 8 土浦町六〇一 10 旅行

大竹繁之助 1 登利文商店 2 店主 3 小間物、化粧品 4 土浦町九七七 5 同 6 茨城縣瓦斯會社取締役、土浦商工會長 7 明治七年一月二日 10 讀書、開業 11 眞宗東本願寺派

美沼繁之助 1 榮沼商店 2 店主 3 油、雜貨 4 土浦町大町 5 同 7 明治十八年五月一日 10 旅行

武石清五郎 2 店主 3 小間物、化粧品、足袋、洋品、被服 4 土浦町 5 同 7 明治十八年六月二十一日 8 石岡町 10 園藝、養蠶、野球 11 眞宗

豐島源治 1 豐島百貨店 2 店主 4 土浦町九〇二 5 同 6 前橋市場 7 明治二十八年十二月四日 8 新治郡中家村 10 開業 11 眞宗

太田愛之助 1 太田屋 2 店主 3 洋品、小間物、化粧品 4 石岡町 5 同 7 明治二十二年三月十二日 8 新治郡志筑村 10 魚釣 11 神佛

久松安之助 1 久松洋品小間物店 2 店主 3 小間物、化粧品、洋品 4 石岡町中町一五一七 5 同 7 元治元年十月五日 8 小川町宮田 10 漢籍讀書 11 眞宗

秋山元右衛門 1 秋山商店 2 店主 3 小間物、化粧品、文具、糸類 4 西茨城郡笠間町高橋町 5 笠間町辨天町 7 明治二十二年三月十五日 8 同 郡北山内村 10 旅行 11 曹洞宗

關谷三郎 1 關谷商店 2 店主 3 藥品、化粧品、洋品 4 北相馬郡取手町一〇六七 5 同 6 取手町商工會副會長 7 明治二十六年十一月十二日 8 讀書 9 藥劑師 10 讀書 11 眞宗

田中清香 1 守谷藥局 2 店主 3 藥品、賣藥、化粧品、雜貨 4 北相馬郡守谷町大字守谷甲六五九 5 同 6 水海道烟草小賣人組合副會長、赤羽合同運送株式會社取締役 7 明治九年四月四日 8 茨城縣元、可助役 10 旅行、讀書 11 天台宗

前島久米吉 1 合名會社前島清七商店 2 代表社員 3 小間物、化粧品、雜貨、洋品 4 行方郡牛嶋町 5 八代村島須 8 茨城縣 11 讀書

增田市太郎 1 津之國屋小間物店 2 店主 3 小間物、化粧品、藥物、玩具 4 結城町三四五 同 7 明治二十九年二月二十二日 8 茨城縣 10 芝居、活動讀書 11 天理教

松岡龍之介 1 松岡龍之介商店 2 店主 3 賣藥、小間物、化粧品、雜貨 4 那珂郡海町七の四八三〇 5 同 7 明治十五年七月十五日 8 那珂郡海町

栃木縣

荒井政義 1 上田屋小間物店 2 店主 4 宇都宮市市場町一三五 同 7 明治四十二年三月五日 8 茨城縣助川町 10 スカ1ツ、讀書

宇塚正三九 1 宇塚至誠堂 2 店主 3 藥局、化粧品 4 宇都宮市相生町一 5 同 6 商工會議所議員 7 明治二十八年二月十二日 8 鹽谷郡高根澤村 10 園藝、大弓 11 眞宗

笠間文信 1 常陸商店 2 店主 3 小間物、化粧品 4 宇都宮市大字町四七四 5 同 7 明治二十三年六月二十三日 8 松村幸治 1 松村屋號 2 店主 3 化粧品、雜貨、花紙卸商 4 宇都宮市日野町二七 5 同 7 明治三十一年一月二十六日 8 宇都宮市日野町三六 9 獨立 10 商業以外なし 11 佛敎

滿員金八 1 中や商店 2 主人 3 小間物、化粧品 4 足利市井草町二四〇九 5 同 7 明治二十七年三月四日 8 群馬縣伊勢崎町 9 小間物化粧品商 前橋市中や喜三郎 10 旅行

富岡光三郎 1 タキシマ小間物店 3 小間物、化粧品 4 足利市通二ノ六二二 5 同 7 明治二十七年九月二十三日 8 群馬縣勢多郡黒保根村大字上神梅 10 旅行 11 眞宗

青山道太郎 1 青山小間物店 2 店主 3 小間物、化粧品 4 宇都宮市高深町八二〇 5 同 6 三等郵便局長、川越商工會議所議員 7 明治二十九年六月十五日 8 川越市高深町八二〇 10 同 11 天台宗

長谷川重吉 1 長谷川重吉商店 2 店主 3 小間物、雜貨、化粧品 4 川越市南町九〇五 5 同 7 明治三十一年十一月十七日 8 埼玉縣

富澤雄雄 1 とみざわ 2 店主 3 小間物、化粧品 小賣 4 川口市本町三の三四四三 5 同 7 明治三十四年五月五日 8 東京市小石川區柳町二九 10 讀書 ハイヤング 11 天台宗

中村通三 1 文華堂出張店 2 店主 3 小間物、化粧品 雜貨 4 浦和市高等女學校前 5 同 7 明治二十七年二月十日 8 浦和市 10 旅行、音樂 11 基督教

小林庄三郎 1 尾張屋本店 2 店主 3 小間物、化粧品 小賣 4 熊谷市仲町 5 同 7 明治十三年三月一日 8 埼玉縣

川部善藏 1 京屋本店 2 店主 3 化粧品、小間物 4 大宮町宮町六三八 5 同 7 明治二九年五月二七 6 同 7 明治三十二年九月十五日 8 埼玉縣大宮町 9 前京都乾商店支配人 10 古錢、刀劍 11 眞宗

鳥村隆太郎 1 鳥金本店 2 店主 3 化粧品 4 大宮町大字大宮三八〇〇 5 同 7 明治二十一年九月五日 8 同 縣同郡大砂土村大和田 10 魚釣、大弓 11 眞宗

清水瀧藏 1 正直屋商店 2 店主 3 化粧品 小賣 4 大宮町四一〇七 5 同 7 明治十四年七月二十一日 8 同 縣平

群馬縣

新井雄次郎 1 新井カホル堂 2 店主 3 小間物、化粧品 4 前橋市芳町七五 5 同 6 群馬縣中部化粧品商會常務理事 7 明治八年五月二十二日 8 群馬縣桐生市堀野町 11 組合敎會

石黒友之助 1 三河屋號、三友商店 2 店主 3 雜貨 4 前橋市向町九 5 同 7 明治二十二年六月十四日 8 前橋市 忍足銅冶 1 津之國屋商店 2 店主 3 化粧品卸商 4 前橋市北曲輪町五四 5 同 7 明治二十六年二月六日 8 前橋市 11 眞宗

大橋万平 1 鈴木屋小間物店 2 店主 3 貴金屬賣品、小間物 4 前橋市桑町一二五 5 同 7 明治二十六年十二月十八日 8 前橋市 9 元花の露店員 10 讀書 11 眞宗

高橋政次郎 1 高橋本店 2 店主 3 小間物、化粧品 4 前橋市立川町二〇 5 同 6 群馬縣中部化粧品商會常務理事

群馬縣中部クラブ特定化粧品會
會社代表社員 7 明治三十二年九月十五日 8 前橋市 10 經濟書籍の讀書 11 眞宗

森本三三 1 小松屋貨物店 2 店主 3 貨物、石鹼 4 前橋市曲輪町八 5 同 6 商工會議所議員、所得稅調査員 7 明治十二年六月十日 8 滋賀縣 9 採一貫より現在に至る 10 旅行 11 眞宗

歌代民二 1 カクタ商店 2 店主 3 小間物、化粧品 4 高崎市寄合町四八 5 同 7 明治二十四年十一月九日 8 新潟縣柏崎町 9 元若松屋店員 10 水泳外運動

澤清 1 株式會社岸龜吉商店 2 社長 3 賣藥、雜貨 4 高崎市九藏町一〇七 5 同 6 群馬大同銀行常務取締役 7 明治二十九年五月十日 8 高崎市九藏町一〇七

清塚佐太郎 1 菊水小間物店 2 店主 3 小間物、化粧品 小賣 4 高崎市本町一五五 5 同 6 群馬縣西部商業組合理事長、高崎小間物化粧品商會會長、高崎實業組合理事、高崎市會議員 7 明治十七年十一月十七日 8 群馬縣倉賀野町 10 和歌、俳句 菊花栽培、讀書、仕舞 11 眞宗

關澤辰治 1 若松屋本店 2 店主 3 小間物、化粧品 4 高崎市田町九五 5 同 6 高崎化粧品商會會長 7 明治九年七月二十四日 8 高崎市田町九五 10 養蠶、大弓、讀書

須田健三 1 合資會社若松屋本店 2 代表社員 3 小間物、化粧品卸 4 高崎市本町五の三七〇 5 同 7 明治十八年六月四日 8 滋賀

化粧品卸 4 高崎市本町三の九九 5 同 6 群馬縣西部クラブ特定化粧品販賣會社社長、群馬縣西部化粧品商會組合理事 7 明治三十年十二月二十七日 8 高崎市本町九九 9 十五六年以前名古屋市森本店副支配人 勤め郷里に歸り先代の業務に勉勵 10 讀書

田村佐五郎 1 合資會社金子本店 2 代表社員 3 小間物、化粧品卸 4 高崎市新群屋町一六 5 同 市柳川町四部一一一 6 群馬縣西部化粧品商會組合理事 7 明治二十八年十一月三日 8 群馬縣多野郡吉井町 9 元金子本店支配人 10 商賣

矢野宇助 1 矢野小間物店 2 店主 3 小間物、化粧品 4 高崎市柳川町四六 5 同 7 明治二十年一月五日 8 群馬縣碓氷郡松井町 10 商賣

田邊仙太郎 1 田邊商店 2 店主 3 小間物、化粧品 小賣 4 桐生市本町六の三七一 5 同 6 群馬縣東部化粧品商會組合理事長、群馬縣東部クラブ特定化粧品販賣會社代表者 7 明治十八年三月三十一日 8 群馬縣桐生市 10 讀書 11 眞宗

藤江清三郎 1 藤江小間物店 2 店主 3 小間物、化粧品 小賣 4 桐生市本町四の三四一 5 同 7 明治三十四年五月十二日 8 桐生市 10 讀書、園藝 11 眞宗

矢野壽高 1 矢野吳服店 3 吳服太物 洋品雜貨、百貨店 4 桐生市本町五の三七〇 5 同 7 明治十八年六月四日 8 滋賀

埼玉縣

瀧川芳郎 1 加賀屋商店 2 店主 3 小間物、化粧品、雜貨 4 川越市猪鼻町路七七八一 5 同 7 明治四十四年一月二十一日 8 同 縣同郡

戸田安治 1 近興商店 2 店主 3 小間物、化粧品 販賣

町四一〇七 5 同 7 明治十六年九月十九日 8 埼玉縣南埼玉郡和土村 10 旅行 11 佛立講

馬藤雄 1 遊馬屋 2 店主 3 小間物 雜貨 4 大宮町宮町三七六九 5 同 7 明治十四年八月十五日 9 元花の露店員 10 讀書 11 眞宗

武井政治 1 マルタケ百貨店 2 店主 3 化粧品、小間物 雜貨 4 北埼玉郡忍町行田五五 5 同 7 明治二十四年九月二十七日 8 埼玉縣 8 平尾登平商店大阪支店庶務課長 10 讀書 11 眞宗

平井久吉 1 可免商店 2 代表者 3 百貨 4 秩父郡秩父町本町 5 同 7 一三八七 7 明治八年三月十七日 8 滋賀縣 10 植樹盆裁 11 全神佛

平澤清次郎 1 清盛堂商會 2 店主 3 賣油、機械油卸 4 南埼玉郡蕨町春日町三五九 5 同 6 蕨地方小間物化粧品商會會長 蕨町商工會議議員 7 明治十三年二月二十六日 8 埼玉縣小林村 10 講演武術 11 天理教

矢澤繁吉 1 角大支店 2 店主 4 與野町新國道 5 同 7 上落合九〇七 6 アアアル化粧品料埼玉販賣所主任、建國電氣蓄音機株式會社取締役 7 明治三十四年七月二十一日 8 同 縣平

山口正吉 1 モシヤ商店 2 店主 3 萬泰組、小問物化粧品 4 北足立郡鳩ヶ谷町一七四三 5 同 7 明治三十二年十一月十七日 8 埼玉縣 9 明治二十三年三月父山口辰五郎開店 10 將棋、釣、柔道 11 甲子信言宗

千葉縣

秋元清 1 好友堂 2 店主 3 小問物、化粧品 4 千葉市本千葉通り 5 同 7 明治四十四年一月五日 8 千葉市吾妻町 10 洋菜レコード 11 日蓮宗 淺田雅夫 1 泉漢堂淺田藥局 2 店主 3 小問物、化粧品、藥品 4 千葉市吾妻町三の一三四號 葛飾前 5 同 7 明治二十四年七月十五日 8 千葉市 10 寫眞弓術、讀書 11 淨土真宗 石井夏太郎 1 石井小問物店 2 店主 3 小問物、化粧品 4 千葉市千葉本町三の五四三 5 同 6 東京火災保險、横濱火災保險千葉代理店 7 明治十九年六月四日 8 千葉市千葉 9 元千葉銀行支行支配人 10 旅行 11 明誠教、眞言宗 伊藤省一郎 1 いろ商店 2 店主 3 化粧品小賣 4 千葉市吾妻町 5 同 7 明治十七年十一月十日 8 千葉縣山武郡上押村 10 旅行 11 天台宗 宇津木市太郎 1 中村屋宇津

木商店 2 店主 3 化粧品石鹼 4 千葉市本町三丁目 5 同 7 明治十一年十一月二十日 8 千葉市 10 將棋 11 日蓮宗 高橋新二 1 高橋小問物店 2 店主 4 千葉市東院內九三八 5 同 6 アイデアル會縣下組合長 7 明治十八年十一月十二日 8 千葉市 9 千葉化粧品石鹼商副組合長及會計主任 10 旅行 11 日蓮宗 中島義真 1 中島藥局 2 店主 4 千葉市吾妻町二の一一二 5 同 7 明治三十年二月八日 8 埼玉縣 10 旅行 11 禪 矢澤彌 1 矢澤藥局 2 店主 3 小賣 4 千葉市寒川長洲 九一八 5 同 7 明治六年三月三日 7 千葉縣佐倉町 10 相撲 11 禪宗 石田繁吉 1 大屋號 3 小問物、化粧品 4 千葉市新生一丁目 5 同 6 北總五聖會會長 7 明治八年六月十日 8 千葉縣海上郡旭町 9 阪東郡八日市場大屋商店に奉公す 10 將棋 11 眞言宗 鶴月新之助 1 鶴月化粧品店 2 店主 3 小問物、雜貨、化粧品 4 千葉市新生一の一〇 5 同 7 明治十八年一月三十日 8 千葉縣 10 讀書 11 淨土真宗 江波戸藤五郎 1 エト藥局 2 店主 3 化粧品、化粧品 4 千葉市和田町銀座通り 5 同 6 和田町中區長 7 明治十年 8 千葉市 11 不動尊 江波戸幸治 1 マルマル藥局 2 店主 3 クラス、化粧品、體溫計 4 千葉市市場町一五五

5 同 7 明治三十三年一月十五日 8 千葉市 10 讀書 11 眞言宗不動尊 鈴木助治郎 1 龜甲屋鈴木小問物店 2 店主 3 龜甲屋製小問物、化粧品卸小賣 4 千葉市新生一の一〇 5 同 7 明治八年一月一日 8 阪東郡八日市場 10 植木類、古物 11 眞言宗 田中富藏 1 田中小問物店 2 店主 3 小問物雜貨、化粧品 4 千葉市觀音前 5 同 7 明治十八年一月一日 8 千葉市 10 讀書 11 眞言宗 寺島駒吉 1 ヒョウタン藥店 2 店主 3 クラス化粧品、寫眞器材料 4 千葉市觀音前イの五二 5 同 7 明治三十一年十月一日 10 音樂 美呂津大兵衛 1 美呂津藥局 2 店主 3 處方劑劑、藥品賣藥化粧品、度量衡計量器、寫眞器械材料 4 千葉市新生一の六九 5 同 6 千葉縣方面委員、千葉市海軍藥業組合副會長、千葉市量衡器株式會社常務取締役 7 明治二十七年十一月十一日 8 千葉市 10 寫眞 11 淨土真宗 岡田信義 1 岡田藥舖 2 店主 3 藥種、化粧品、小問物 4 市川市中山町二二三 5 同 7 明治三十一年二月二十八日 8 千葉縣東葛飾郡市川市中山町二三〇 9 市内金子藥局店員、製藥所工場長、現在消防部長 10 讀書、大弓 11 眞言宗、富士淺間神社世話人 道口鶴介 1 道口藥局 2 店主 3 藥品、化粧品 4 市川市 市川一〇七六 5 同 7 明治三十一年五月六日 8 千葉縣市川市菅野四八〇 10 小鳥、將棋 11 眞言宗 池田久司 1 富田屋 2 店主 4 木更津町一五三八 5 同 7 明治三十四年一月二十四日 11 日蓮宗 安室清吉 1 安室藥局 2 店主 3 化粧品、藥品卸 4 木更津町木更津一四三三 5 同 7 明治三十年四月一日 8 同郡青堀町 10 讀書 11 眞言宗 大野一郎 2 店主 3 小問物化粧品 4 木更津町一六八八 5 同 7 明治二十六年六月十五日 合長 6 木更津小問物化粧品組合長 7 明治二十六年六月十五日 8 千葉縣 9 親和會會長商會幹事 10 讀書 11 眞言宗 鈴木廣之 1 いせや小問物店 2 店主 3 小問物、化粧品、袋物、雜貨 4 木更津町本町一五二 5 同 7 明治十八年十一月十日 8 千葉縣 11 鹽勸商店 2 店主 3 化粧品、雜貨 4 木更津町 5 同 7 明治四十五年三月一日 8 木更津町 同 野田文太郎 1 同野商店 2 店主 3 小問物、化粧品卸 4 小見川町三六五 5 同 7 明治二十六年九月十一日 8 千葉縣 香取郡府馬町 9 元千葉市郷久商店員 10 機械類、オートバイ 11 天台宗 片岡由羅 1 片岡商店 2 店主 3 明色美顏白粉、鶴之卵石鹼、花王石鹼、ヘチマコロン代埋店 4 香取郡小見川町 5 同 6 北總通運株式會社取締役 7 明治十四年二月十四日 8 千葉縣佐倉町 11 祖先崇拝 小林安次郎 1 若松屋本店 2 店主 3 洋品、小問物化粧品 4 安房郡北條町六軒町 5 安房郡館山北條町南町 7 嘉永三年三月十二日 8 千葉縣安房郡千歲村 9 明治十五年開業 11 不動尊、觀音 鈴木伸二郎 1 鹽田屋 2 店主 3 小問物、化粧品、紙、雜貨 4 安房郡館山北條町新宿二四 5 同 7 明治十九年四月十八日 11 淨土宗 富澤三之助 1 富澤藥店 2 店主 3 支那人 3 藥種、化粧品 4 館山北條町六軒町 5 同 6 九三會社重役 7 明治二十七年五月五日 8 千葉縣房州 10 乘馬 11 禪 鶴島信三郎 1 金床小問物店 2 店主 3 小問物、化粧品販賣 4 海上郡旭町の八三二 5 同 7 明治十八年十月三日 8 千葉縣 11 眞言宗 大木宗藏 1 大木商店 2 店主 3 製油、小問物、化粧品、雜貨卸 4 香取郡佐原町一四八 七 5 同 7 明治元年十一月二十八日 10 号道 11 淨土宗 尾高朝治郎 1 萬鐘堂尾高藥局 2 店主 3 化粧品、卸小賣

安房郡鴨川町前原五五 5 同 7 明治三十四年十月十日 8 千葉縣安房郡北條町 10 スホーッ 一般 11 淨土宗 大塚平藏 1 救愛堂藥局 2 店主 3 藥品、化粧品販賣 4 千葉縣檢見川町檢見川四九一 5 同 7 明治三十二年九月十五日 10 芝居 金井龜太郎 1 油津洋品店 3 洋品、小問物、化粧品、雜貨 4 勝浦町出水 5 同 7 明治十七年九月十五日 8 千葉縣 11 法華宗 菊池新一郎 1 新盛堂藥局 2 店主 3 藥品、化粧品、度量衡 4 山武郡成東町二四六七 5 同 7 明治十七年六月二十五日 10 旅行、書畫 11 日蓮宗 九鬼又三郎 1 ハグロヤ商店 2 店主 3 小問物、化粧品、雜貨卸 4 山武郡成東町 5 同 7 明治二十一年七月八日 8 千葉縣公平村堀島區 9 前千葉市九鬼商店支配人 10 店務 國代爲次 1 田中屋小問物店 2 店主 3 小問物、化粧品、雜貨卸小賣 4 長生郡茂原町本町一 5 同 7 明治五年十一月八日 8 千葉縣長生郡東村 9 元綾屋商店支配人 11 日蓮宗 淺谷八郎 1 淺谷八郎商店 3 ヨシヅ、荒物、化粧品 4 行徳町 5 同 7 明治三十五年三月十三日 8 千葉縣 11 日本古來よりの傳統的宗教 島崎 操 1 新藥堂藥局 3 藥品、賣藥、化粧品其他 4 東葛飾郡八幡町八幡一六五六 5 同 7 明治二十七年六月二十三

日 10 開基 庄司英二 1 榮成堂藥局 2 店主 3 藥業 4 鴨川町濱清六 九一 5 同 7 明治二十九年七月十一日 8 千葉縣和町 10 旅行 立達捷五郎 1 大膳屋立達商店 2 店主 3 砂糖、石油、荒物、雜貨 4 東葛飾郡松戸町松戸一八五〇 5 同 6 松戸商工會長、松戸郵便局長 7 明治二十年十月五日 8 松戸町 11 眞言宗 行木徳二郎 1 行木商店 2 店主 3 化粧品、小問物 4 大網町三八一 5 同 7 明治三年一月十五日 8 千葉縣 10 開基 益谷川竹三郎 1 長谷川小問物店 2 店主 4 東金町東金 5 同 7 元治元年二月九日 8 千葉縣東金町 9 先代遺業繼承 10 讀書 11 日蓮宗 兼内忠藏 1 天心堂分店兼内藥局 2 店主 3 化粧品卸 4 印旛郡八街町三三七 5 同 7 一一一五 6 天心堂製藥事務取締 7 明治二十年十一月一日 8 東京市 9 前日東製藥支配人 10 開基 11 日蓮宗 星野 保 1 星野藥局 2 店主 4 市原郡五井町五井二八八 二 5 同 6 市原藥業會長、元五井消防組頭、元五井在郷軍人分會長 7 明治十五年七月二十七日 8 千葉縣長生郡藤南町長南二五七四 9 明治四十一年開業 10 營業 11 成田山 山崎新藏 1 山崎雜貨店 2 店主 3 化粧品、小問物、藥、雜貨 4 四街道町 5 同 7 明治二十七年七月一日 8 渡邊菊次 1 渡邊商店 2 店主 3 小問物、化粧品 4 印旛郡安食町 5 同 7 明治八年六月十三日 8 茨城縣稻敷郡生板村 渡邊誠一 1 三共藥局 2 店主 3 藥局、化粧品 4 安房郡保田町本郷六六 5 同 7 明治十七年四月二十三日 會川賢三 1 株式會社高橋東洋堂 2 常務取締役 3 アイデア化粧品本舖 4 牛込區東五軒町三五 5 足立區千住三の六五 7 明治二十二年十一月十日 8 東京市 10 讀書 11 神道 青木勇雄 1 和樂堂 2 店主 3 雷形製造卸、かもし類 4 神田區和泉町一番地一號 5 同 7 明治二十一年五月二十五日 8 山口縣 11 神徒 青川金市郎 1 青山商舖 3 頭飾品卸 4 本所區東兩國三の七 5 同 7 明治三十四年一月七日 8 栃木縣 9 元萬家本舖 10 讀書 11 日蓮宗 青山鐵三郎 1 青山商店 2 店主 3 小問物、雜貨製造卸 4 日本橋區人形町三の三 5 同 7 明治十四年十二月一日 8 東京市 10 義太夫 11 道會 秋山芳藏 1 秋山芳藏商店 2 店主 3 小問物雜貨 4 日本橋區馬喰町三の三 5 同 7 明治三年三月十日 8 千葉縣東金町 秋本市松 1 コマ商會 2 店主 3 化粧品製造 4 本郷區湯島新花町三〇 5 同 7 明治十八年四月二十二日 8 千葉縣 10 讀書 11 成田山 秋元 直 1 花王石鹼株式會社社長 2 取締役 3 石鹼其他 4 日本橋區馬喰町二の一の五 5 本郷區駒込上富土前町九一 7 明治十九年七月三十日 8 長野縣 10 開基 11 基督教 朝井清輔 1 朝井清輔商店 2 店主 3 びん附、すき油、化粧品製造 4 下谷區竹町一七 5 同 7 明治二十三年三月二十日 8 青森市 9 元池田商店勤務 10 釣 11 淨土宗 朝倉敏一 1 朝倉敏一商店 2 店主 3 籠甲小問物卸 4 淺草區淺草橋三の一九の一 5 同 7 明治三十八年三月八日 8 豐橋市 9 木原傳兵衛商店店員 11 眞宗 淺倉吉三郎 1 淺倉セルロイド商店 2 店主 3 セルロイド、櫛、櫛櫛製造販賣 4 下谷區入谷町一三九 5 同 7 明治二十五年十二月十四日 8 埼玉縣北足立郡各務村字東橋馬 10 讀書 淺野總造 1 淺野商店 2 店主 3 化粧品雜貨 4 下谷區金杉町一三二 5 同 7 明治九年三月二十三日 8 新潟縣南蒲原 郡三條町四之町 費川秋次郎 1 大洋商會 3 化粧品、藥品製造 4 芝區二本榎二の三〇 5 同 7 明治十四年八月十五日 8 東京府 11 曹洞宗 費澤成吉 1 費澤商店 2 店主 3 小問物製造卸 4 淺草區小島町の一五 5 同 7 明治十八年十一月二十五日 8 東京 10 魚釣、植木 11 淨土宗 費澤佑吉 1 費澤商店 2 店主 3 防水布製品、レリス製品 4 淺草區向原町一の三 八 5 同 6 アイオン製造株式會社重役 7 明治二十五年十二月二十日 8 長野縣松本市 9 荻村商店支配人 10 スホーッ 11 天理神道修徳會會員 阿部 鏡 1 東京堂 3 小問物雜貨卸 4 日本橋區馬喰町三の二五 5 同 7 文久三年五月二十三日 8 名古屋 阿部東治 1 阿部貿易商會 2 店主 3 製藥業 4 芝區高輪南町五三 5 同 7 明治十年六月十三日 8 仙臺市 9 明治廿八年より米國に於て日本及支那品雜貨輸出入業を營む 10 發明品研究事業 11 神教 阿部實之助 1 關商店 2 店主 3 酸性白土 4 京橋區橋町一の一 5 芝區日暮里町三の七〇九 7 明治三十六年五月二日 8 東京市 天笠賢司 1 天笠商店 2 店主 3 籠甲製造 4 淺草區藏前一の九 5 同 7 明治二十八年六月五日 8 群馬縣太田町 10 ヒンボン、野球 11 禪宗

天野寛 5 日本橋區橋町一
三番地八 6 東京小間物商同業
組合主事、東京小間物月報編輯
長 7 明治三十二年七月二十日
8 群馬縣 9 群馬新聞記者 10
佛句、讀曲 11 神道、明照教
天野源七 1 近源商店 2 店
主 3 小間物雜貨、化粧品製造
卸商 4 日本橋區橫山町七番地一
小石川區原町一六 7 明治三十
九年一月六日 8 東京市 10 寫
眞、讀曲 11 淨土眞宗
天野半次郎 1 合資會社近源
商店 2 代表社員 3 石鹼製造
卸 4 日本橋區橫山町七番地一
二 5 同 7 明治三十七年七月
十三日 8 東京市 10 寫眞 11
眞宗
天野利助 1 近利商店 2 店
主 4 日本橋區橫山町五番地九
5 同 7 明治三十年二月十五日
8 東京市 10 讀曲 11 眞宗
尼子敏止 1 東京小間物化粧
品商社 4 日本橋區馬喰町三
の三 5 中野區大和町二の一九
七 7 明治三十二年五月六日
8 京都市 10 旅行 11 淨土宗
甘利耕吉 1 甘利商店 2 店
主 3 小間物製造 4 神田區東
神田十番地四 5 同 7 明治四
十年九月二十五日 8 東京市
9 父業を繼ぐ 10 旅行 11 淨土
宗
新井小三郎 1 新井小三郎商
店 2 店主 3 袋物卸商 4 淺
草區南柳町一の二七 5 同
7 明治十七年四月二日 8 埼玉
縣北葛飾郡西關宿
荒川真吉 1 丸見屋商店工業
部マツロ化学研究所 2 藥劑科

長 3 石鹼、化粧品、藥劑、酸
藥品 4 向島區寺島町八の二〇
四 5 同 7 明治二十年一月二
日 8 埼玉縣小川町 10 花卉園
藝
荒木好三 1 荒木商店 2 店
主 3 化粧品卸 4 淺草區西大
久保二の二六一 5 同 7 明治
三十三年十月七日 8 淺草區
三十三丁目 11 曹洞宗
安達武彦 1 陸屋商店 2 店
主 3 化粧品、化粧パフ製造
4 目黒區上目黒五の二六一二
5 同 7 明治三十二年六月一日
8 東京府 10 運動、自動車 11
眞宗
安達勇三 1 ヲイエ化粧品
研究所安達勇三商店 2 店主
3 化粧品製造 4 目黒區上目黒
八の二四九 5 同 7 明治三十
五年二月二十日 8 東京市銀座
10 スボ 11 淨土眞宗
安藤金平 1 株式會社安藤金
筒堂 2 事務取締役 3 化粧品
製造 4 日本橋區錦町二の四
5 本郷區駒込林町一 7 明治
二十一年四月十八日 8 埼玉縣
入間郡南高野村 11 佛敎
安藤精之助 1 アンドウ本店
2 店主 3 造花裝飾材料卸輸出
4 淺草區藏前二の五 5 同 7
明治十六年五月一日 8 大垣市
10 讀曲 11 西新井大佛、信音
宗
安藤藤藏 1 株式會社安藤藤
筒堂 2 事務取締役 3 賣藥、
化粧品製造 4 日本橋區錦町二
の四 5 大阪市南區周防町二
二 7 明治二十三年三月二十八
日 8 岐阜縣高山町 10 俳句

役 7 明治二十七年二月三日
8 兵庫縣 9 前理容館宣傳部長
10 音樂、舞踊 11 佛立講
井上政夏 1 井上製作所 2
所主 3 化粧品製造機械 4 品
川區東品川四の六 5 神奈川縣
高座郡藤澤町鶴沼海岸 7 明治
二十二年十二月九日 8 東京
10 ヲル
井上健太郎 1 井上雅徳商店
2 店主 3 石鹼、化粧品製造卸
4 下谷區竹町一〇 5 同 7
明治二十三年十一月四日 8 東
京市
井上小三郎 1 井上小四郎商
店 2 營業部長 3 小間物製造
4 淺草區淺草橋一の八 5 同 7
明治元年三月二十八日 8 和歌
山縣田邊町 10 關西 11 佛敎
井上太兵衛 1 井上商店 2
店主 3 オッドリ化粧料製造卸
商 4 日本橋區室町四の二の一
5 淺草區櫻丘九〇 7 明治元年
十月十一日 8 埼玉縣川越市
9 藥劑師 10 弓道、乘馬 11 陶
宮
井上鐵五郎 1 日乃出屋 2
店主 3 化粧品、石鹼卸 4 四
谷區龜町一の一五 5 同 7
明治五年四月二十八日 8 埼玉
縣秩父町 11 日蓮宗
井上得次郎 1 井上商店 2
副店主 3 オッドリ化粧料製造
卸商 4 日本橋區室町四の二の

一 5 淺草區櫻丘九〇 7 明治
二十七年十月二十八日 8 東京
府下野村町 10 弓道、小唄 11
陶宮
井上 1 ヒースペン本舖
2 店主 3 ヲッドリ化粧料製
造卸商 4 日本橋區室町四の二
の二 5 淺草區櫻丘八〇 7 明
治三十三年四月二十四日 8 東
京
井原忠齋 1 井原商店 2 店
主 3 化粧品卸 4 本所區東
國二の七 5 同 7 明治三十二
年五月十二日 8 靜岡縣伊東町
9 山德商店支配人 10 圓基 11
眞宗
井村善吉 1 株式會社井村善
興社 2 取締役支配人 3 石鹼
製造業 4 城東區龜戸町一の七
九 5 同 7 明治十二年十月十
五日 8 栃木縣 11 日蓮宗
石井啓三郎 1 石井商店 4
日本橋區馬喰町四の二 5 同
7 明治二十六年八月七日
石井安次郎 1 榎木屋 3 化
粧品製造 4 下谷區入谷町三五
五 5 同 7 明治十九年三月七
日 8 栃木縣栃木町 11 天台宗
石川一郎 1 合同油脂株式會
社 2 常任監査役 4 麹町區丸
の内一の八の一日本興業銀行七
階 5 淺野川區西ヶ原町三五七
階 6 大日本人造肥料株式會社常
務取締役 7 明治十八年十一月

イ

伊東 1 伊東胡蝶園 2
店主 3 御園化粧品、御園石鹼
製造販賣 4 麻布區本村町一四
五 5 同 7 明治三十九年七月
三十日 8 東京市 10 讀書、ス
ボ
伊東敏之 1 伊東商店 2
店主 3 化粧品、雜物雜貨卸
4 在野區小山町六二 5 同 6
三共印紙製造株式會社、三
共社監査役 7 明治二十三年六
月二十八日 8 神奈川縣足柄下
郡湯本町 10 將棋、籠馬 11 日
蓮宗
伊藤市太郎 1 大阪屋 4 四
谷區香樂町三三 5 同 7 明治
二十九年五月 8 小石川區關口
水道町
伊藤三三 1 花玉石鹼株式會
社社長 2 取締役入社部長
3 石鹼クリセリン、食用脂製造
4 日本橋區馬喰町二の一の五
5 本郷區駒込町二一 7 明治
三十五年十二月二日 8 岐阜縣
中津町 10 登山
伊藤慶治郎 1 合資會社伊藤
製油場 2 代表社員 3 カスト

イ、椰子油製造業 4 販賣部京
橋區銀座八の五 5 三重縣桑名
町驛前 7 明治三十二年 8 三
重縣桑名町 10 野球、馬術 11
眞宗、秋葉山大權現
伊藤善治 1 三友商會 2 店
主 3 化粧品製造 4 深川區新
大橋三の七 5 同 7 明治十五
年十月二日 8 埼玉縣 10 圓基
伊藤文一 1 伊藤文一商店
2 店主 3 小間物、臘革、雜貨
製造卸 4 淺草區西三筋町五八
5 同 6 みのる會員 7 明治二
十四年一月十二日 8 愛知縣中
島郡大里村井の口 10 讀曲、旅
行 11 法華宗
伊藤秀次郎 1 株式會社今與
商店東京支店 2 支店長 3 裝
身具、頭飾品問屋 4 淺草區左
衛門町一 5 千葉縣市川市眞間
下 7 明治三十一年二月十六日
8 鎌倉縣大津市 11 淨土眞宗
伊丹登太郎 1 伊丹商店 2
店主 3 寶石卸商 4 假營業所
荒川區尾久町九の二八一 5
同 6 前關東町々會理事、新潟
縣人會役員 7 明治十九年二月
一日 8 新潟縣古志郡黒條高見
9 前清川商店 10 旅行社寺參拜
11 淨土宗
井浦宗信 1 塚田合名會社
2 支配人 3 化粧品卸 4 本郷
區湯島天神町三の一 5 淺草
區百人町三の三六六 6 養生堂
販賣會社監査役 7 明治二十三
年四月十三日 8 東京市淺草區
井口區 1 株式會社小林商
店 2 事務取締役 3 ヲイオン
商店 4 本所區板橋一丁目 5
牛込區二丁町二六 6 フライオ

谷區羽根木町一八三五 7 明治
二十四年五月 8 熊本 10 ヲル
今井孝三郎 1 立花屋商店
2 店主 4 牛込區早稲田鶴巻町
四四〇 5 同 7 明治三十年四
月十日 8 秋田縣 9 東京化粧
品同業會社 11 キリスト敎
今井波次郎 1 花陽堂 2 店
主 3 化粧品卸 4 本所區藏前
三の一 5 同 7 明治二十五年
十一月十七日 8 長野縣上伊那
郡高遠町 9 神田アラザス商
會支配人 11 淨土宗
今井 信 1 永廣堂支店 2
店主 3 香料 4 日本橋區本町
二の二 5 芝區白金猿町七〇
7 明治六年二月 8 大阪 11 キ
リスト敎
今井藤雄 1 今井藤雄商店
2 店主 3 小間物雜貨 4 本所
區東兩國三の一六 5 同 7 明
治十二年五月十六日 8 長野縣
11 日蓮宗
今關鐵太郎 1 糸伊商店 2
店主 3 高級日用雜貨、拾錢均
一品卸 4 日本橋區橫山町六
五 同 7 明治三十六年十月十五
日 8 日本橋區橋町 9 高等小
學卒業後直ちに父の業たる現在
の營業に従事す 10 自己の營業
以外に特に趣味と申すほどのも
のなし 11 神佛は深く尊崇すれ
共別にきまりたる宗教をもた
ず
今西數治 1 今西金屬製作所
2 店主 4 本所區太平町一の一
六 5 同 7 明治三十年十一月
十三日 8 滋賀縣 10 寫眞 11
佛敎

歌

令村元一 1 株式会社安藤井... 磯野吉雄 1 合名会社磯野化...

ウ

工場部長 3 ヘチマ化粧品製... 五十嵐きみ 1 福井屋 2 店...

内山勲 1 内山からし店... 梅田彦太郎 1 梅田商店 2...

大内田勲 1 合名会社藤田... 大久保誠致 1 日本ワイエス...

大島龜吉 1 大島龜吉商店... 大野源三 1 大野源三商店...

大野源三 1 大野源三商店... 大野源三 1 大野源三商店...

大野源三 1 大野源三商店... 大野源三 1 大野源三商店...

工

才

江尻宗三郎 1 株式会社ムツ... 江尻宗三郎 1 株式会社ムツ...

大内田勲 1 合名会社藤田... 大久保誠致 1 日本ワイエス...

大島龜吉 1 大島龜吉商店... 大野源三 1 大野源三商店...

大野源三 1 大野源三商店... 大野源三 1 大野源三商店...

大野源三 1 大野源三商店... 大野源三 1 大野源三商店...

小川和一郎 1 株式會社大和
 商店 2 社長 3 化粧品代理
 4 日本橋區橋本町三番地八
 5 同
 6 小川和一郎商店主、株式會社モ
 ンドパフューリー取締役 7
 明治三十三年五月一日 8 日本
 橋 10 嶺、旅行 11 天台宗
 小倉林吉 1 株式會社小倉商
 店出資所 2 專務取締役 3 化
 粧品製造 4 牛込區早稲田鶴巻
 町二八六 5 同 7 明治二十六
 年十二月二十二日 8 鳥取縣倉
 吉町 9 元山掛義實商店支配人
 小黒澤二郎 1 明美堂 2 店
 主 3 化粧品卸 4 豊島區長崎
 町二の六九〇 5 同 7 明治
 三十六年八月二十五日 8 新潟
 縣 9 前官吏 10 音楽(長唄、
 琵琶、尺八)旅行、讀書 11 基
 督教
 小口みち子 1 小口美容研究
 所小口美容室 2 店主 3 美容
 院 4 京橋區京橋一の七 5 赤
 坂區青山町六の一四七 7 明
 治十六年二月八日 8 兵庫縣加
 東郡社町 10 和歌、旅行、園藝
 11 眞言宗
 小田切清十郎 1 小田切商店
 2 店主 3 小間物製造卸 4 本
 所區石原一の二五 5 同 7 明
 治二十年十月五日 8 長野縣
 10 將棋 11 眞宗
 小平 勲 1 丸見屋商店 2
 工場長 3 石橋、化粧品 4 日
 本橋區兩國二〇番地一 5 牛込
 區袋町二六 7 明治二十年三月
 二十六日 8 栃木縣 9 山口縣
 小野田合資株式會社技師 10 釣
 テニス
 小室新之助 1 株式會社釜屋
 商店 2 取締役社長 3 化粧品
 製造販賣 4 淺草區鳥越一の四
 5 東京府武藏野町吉祥寺本町
 南二五五四 7 明治十九年二月
 二十三日 8 茨城縣 10 書畫骨
 董 11 眞宗
 小野澤省二 1 株式會社小林
 商店 2 販賣部長 3 ライオン
 賣場本舖 4 本所區橋本一丁目
 5 牛込區拂方町二五 7 明治十
 六年二月十六日 8 群馬縣澁川
 町 10 園藝、盆栽 11 基督教
 小野虎之助 1 大阪屋 2 店
 主 3 靴物、石橋、化粧品卸
 4 豊島區雜司谷町五の七〇六
 5 同 7 明治三十二年一月十九
 日 8 秋田縣 9 前大長商店支
 配人 10 多趣味 11 佛教
 奧任源藏 1 株式會社奧任住商
 店 2 社長 3 化粧品製造 4
 澁橋區橋本一の八三 5 澁橋區
 澁橋七二九 7 明治三十五年五
 月二十一日 8 澁橋區澁橋七二
 九 10 野球、角力 11 眞宗
 奧田時藏 1 奧田龍宮堂 2
 店主 3 化粧品製造 4 京橋區
 越前堀一の一八 5 同 6 自動
 車部分品販賣 7 明治二十一年
 六月二十二日 8 京府府 9 機械
 工場主 11 クリスマス
 奧野順生 1 奧野順生商店
 2 店主 3 かもじ製造、結髮用
 品卸 4 荒川區三河島町五の二
 九〇 5 同 7 明治十八年五月
 二十日 8 東京市神田區 9 前
 代源藏より繼承 11 法華宗
 奧村三郎 1 合資會社奧村商
 店 2 代表社員 3 化粧品製造
 卸 4 足立區千住町五五六 5
 同 7 明治十八年十月十五日
 8 高崎市 10 商賣 11 眞宗
 奧村正三郎 1 板橋百花堂
 2 取締役社長 3 美人髮洗粉
 4 淺草區淺草橋三の二五の一
 5 澁川區田端町五三一 6 東
 京廣告工取締役 7 明治二十
 九年十一月十四日 8 東京 10
 スポーツなら何でも 11 まご
 る主義
 奥山友治郎 1 奥山石橋工場
 東京出張所 2 店主 3 石橋製
 造販賣 4 大阪市旭區野町七
 二四 5 京橋區京橋二の一
 網崎明則 1 株式會社大和護
 謨製作所 2 廣告部 3 ビクト
 リヤ本舖 4 神田區東神田一
 5 下谷區中根一〇三 7 明治
 三十六年二月二十六日 8 福井
 縣三國町 10 旅行 11 眞宗
 岡島善助 1 岡島商店 2 店
 主 3 ヨホン手柄、時計バンド
 4 日本區馬喰町四一九 5
 同 7 明治二十六年十一月二十
 一日 8 東京市 10 歌 11 天理教
 岡田改造 1 岡田印刷紙工所
 2 店主 3 美術印刷並化粧品用
 既製レツセル卸 4 神田區元久
 右衛門町一の〇 5 同 7 明
 治三十年一月十日 8 大阪府
 10 園藝、釣 11 金光教
 岡三郎 1 柳屋本店 2
 店員 3 化粧品 4 日本橋區通
 二の二の一 5 牛込區上宮比町
 7 明治二十年六月十八日
 8 滋賀縣蒲生郡川村 11 眞宗
 岡部高 1 株式會社高橋東
 洋堂 2 副社長 3 アイデア
 化粧品本舖 4 牛込區東五軒町
 三五 5 牛込區若松町七七
 明治三十八年十月二十五日 8
 東京市 10 讀書 11 神道護教
 岡本信太郎 1 岡本信太郎商
 店 2 店主 3 輸入化粧品卸商
 4 京橋區寶町二の七 5 横濱市
 鶴見區東寺尾二七〇三 7 明治
 二十二年五月八日 8 東京 10
 音楽、旅行 11 曹洞宗
 岡本善七 1 岡本商店 2 店
 主 3 小間物雜貨製造卸 4 日
 本橋區濱町三の三 5 同 7 明
 治十八年三月十日 8 愛知縣
 9 前宮本庄七商店員 11 眞宗
 荻村龍太郎 1 合名會社荻村
 龜太郎商店 2 代表社員 3 小
 間物製造 4 淺草區柳橋二の二
 一の二 5 同 6 東京セルロイ
 F株式會社取締役 7 明治八年
 九月十五日 8 長野縣 10 園藝
 11 眞宗
 荻村彰 1 荻村商店 2 店
 主 3 小間物製造 4 本所區吾
 妻橋一の〇 5 同 7 明治四
 十一年二月二十日 8 長野縣木
 曾奈良井 9 三浦商店店員
 太田次郎 2 店主 3 小間物
 卸商 4 本所區根津宮永町三五
 5 同 7 明治三十四年一月二十
 五日 8 東京市 11 眞宗
 太田清 1 尙美堂 2 支配
 人 3 化粧品製造 4 麻布區霞
 町一 5 同 6 各地マスタリ香
 粧品株式會社監査役 7 明治三
 十五年十月二十一日 8 和歌山
 市 11 眞宗
 太田實 1 香林化粧品店
 2 店主 3 化粧品卸 4 下谷區
 車坂町七一 5 同 7 明治三十
 六年三月十一日 8 長野縣更級
 郡鹽崎村 9 增田貿易天津出張
 員 11 眞宗
 及川留吉 1 及川商店 2 店
 主 4 神田區同朋町一二 5 同
 7 明治二十四年六月三十日 8
 岩手縣土澤町 10 園藝 11 曹洞
 宗
 尾澤四郎 1 三和屋商店 2
 店主 4 牛込區神樂町二の二
 5 同 7 明治二十六年十二月九
 日 8 東京市 10 旅行 11 眞宗
 オキスト、ゲラー 1 パリ
 ホテリ(美容院) 2 店主 3
 化粧品製造及美容術營業 4 芝
 區田村町四の六の一 5 同 7
 一九九八年二月二日 8 フラン
 ス、マルセイユ 9 パリにて美
 容術業に従事し後アトリスに所
 屬 10 釣 11 ローマンカトリッ
 ク
 甲斐莊精香 1 高砂香料株式
 會社 2 社長 3 香料製造販賣
 4 本社 蒲田區新宿町九九 日
 本橋出資所 日本橋區室町三の
 四の九 5 横濱市中區御所山町
 七二 7 明治十三年五月二十一
 日 8 京府府 9 前三輪化學研究
 所技師 10 太公望 11 眞言宗
 海渡由緒 1 海渡本店 2 店
 主 3 金屬小間物、裝身具卸
 4 日本橋區兩國三八 5 同 7
 明治二年五月十九日 8 和歌山
 縣 10 讀書、植木 11 眞宗
 垣野武馬 1 ビルマ化粧品
 2 店主 3 化粧品製造 4 荒川
 區日暮里町三の九四二 5 同

力

房部主基村南小町 10 觀劇
 耶蘇教
 神戶進衛 1 東京早稻田商會
 2 店主 3 小間物製造 4 澁橋
 區戶塚町一の九〇 5 同 7 明
 治十一年十二月三十日 8 東京
 市芝區松本町 10 神社、佛閣、
 參拜旅行 11 眞宗
 龜岡好司 1 合資會社龜岡龜
 王堂 2 代表社員 3 化粧品卸
 4 日本橋區馬喰町四の二三 5
 同 7 明治三十五年八月十五日
 8 日本橋區馬喰町 10 弓道 11
 法華宗
 川上徳四郎 1 川上商店 2
 店主 3 盤形製造小間物雜貨卸
 4 淺草區北三筋町二八 5 同
 6 盤形組合役員 7 明治三年十
 一月十四日 8 新潟縣 9 前小
 學校教員 10 友人と郊外散步
 11 眞宗
 川上八十太 1 花王石橋株式
 會社社長兼商會 2 研究部長 4
 日本橋區馬喰町二丁目 5 澁川
 區原宿三の二八七 7 明治三十
 四年三月二十日 8 大阪府西區
 南堀江 11 眞言宗
 川勝富三郎 1 株式會社淺井
 石橋店 2 專務取締役 3 石橋
 製造 4 城東區龜戸町四の三三
 5 豊島區長崎町仲町一の二九七
 〇 7 明治二十四年四月三十日
 8 京都 9 合同油臘株式會社
 10 酒
 川崎平 1 川崎商店 2 店
 主 4 本所區駒込千駄木町五〇
 5 同 7 明治二三年五月二十
 七日 8 新潟縣 11 眞宗
 川島吉治 1 川島化粧品研究
 所 2 店主 3 化粧品 4 澁野

7 明治三十二年十二月二十日
 8 奈良縣吉野郡津川村 9 前
 オノノ商會技師 11 御嶽教
 風間五十八 1 風間五十八商
 店 2 店主 3 頭飾品、裝身具
 製造 4 本所區橋本一の二二
 5 同 7 明治二十三年二月二十
 五日 8 長野縣更級郡鹽崎村
 10 讀書、狩獵 11 眞宗
 風間三三 1 風間九榮堂 2
 店主 3 化粧品製造 4 淺草區
 森下町三三 5 同 7 明治三十
 三年九月十五日 8 京都市 10
 全殿 11 眞宗
 風間佐五郎 1 風間金龜堂
 2 店主 3 化粧品製造卸 4 城
 東區北砂町二の二〇 5 同
 7 明治三十五年一月十五日 8
 長野縣更級郡鹽崎村 9 元龜岡
 龜王堂店員 10 釣 11 法華宗
 風間文治郎 1 風間文治郎商
 店 3 化粧品卸 4 澁橋區角管
 一の八六八 5 同 7 明治二十
 六年一月二十五日 8 新潟縣中
 頸城郡
 笠松聖二 1 ラブミー化粧品
 本舖株式會社奥住商店 2 宣傳
 部主任 3 化粧品 4 澁橋區橋
 本一の八三 5 中野區本町通三
 の一七 7 明治三十五年十一月
 二十六日 8 金澤市 10 映畫、
 旅行
 櫻川治三郎 1 龍雲堂本店
 2 店主 3 寶物化粧品卸 4 日
 本橋區箱崎町二の二九 5 同
 7 明治十一年十二月一日 8 愛
 知縣 10 茶、生花 11 眞宗
 知縣 10 茶、生花 11 眞宗
 柏村惣次郎 1 大徳商店 3
 石橋卸 5 下谷區二長町一九一
 7 明治二十八年十月二十六日
 業界人名辭典
 8 瀧島縣岩瀬郡長沼町 9 明治
 四十年板橋百花堂入店 10 觀世
 流讀書
 片田要松 1 德登屋商店 2
 店主 3 寶物化粧品卸 4 荒川
 區南千住町五の一三〇 5 同
 7 明治十八年十月二十三日 8
 石川縣 10 釣
 方波見辰雄 1 株式會社淺井
 石橋店 2 取締役 3 石橋製造
 4 城東區龜戸町四の三三 5 澁
 川區代々木初臺町五三六 7 明
 治四十年一月八日 10 スポーツ各
 種 11 眞宗
 勝田仁康 1 勝田製藥所 2
 工場主 3 工業藥品製造 4 向
 島區吾妻町東一の一 5 同
 6 合名會社仁工合代表社員、合
 資會社東洋精油所代表社員、株
 式會社小原商店取締役 7 明治
 十六年六月八日 8 東京市向島
 區 10 園藝、讀書
 角口外吉 1 松本屋商店 2
 店主 3 化粧品卸 4 荒川區尾
 久町二の二九五 5 同 7 明治
 三十四年十一月七日 8 富山縣
 永見町 9 雜貨商店在店十四年
 10 讀書 11 眞宗
 門橋三郎 1 門橋藥堂
 3 香臭化粧品本舖、化粧品製造
 5 淺草區豐天町六四 7 明治二
 十九年一月十七日 8 埼玉縣北
 足立郡大谷村字埋崎 9 柳榮三
 商店
 金井五郎兵衛 1 丹波屋本店
 2 店主 3 喫煙具、齒刷子卸
 4 日本橋區橫山町七番地九 5
 同 7 明治三十五年一月十七日
 8 埼玉縣 10 讀書 11 眞宗
 金藤孝雄 1 金森商店 2 店
 主 3 小間物製造卸 4 淺草區
 西三筋町一二 5 同 7 明治二
 十八年六月十四日 8 岐阜縣高
 田町 10 讀書大弓 11 眞宗
 金藤克次 1 金森商店 2 店
 主 3 婦人頭飾品、雜貨製造卸
 並輸出 4 日本橋區兩國三四番
 地一六 5 同 7 明治十一年七
 月十六日 8 岐阜縣 10 園藝、
 將棋、演說 11 眞宗
 金子善太郎 1 伊東胡蝶園
 2 市內主任 3 御園化粧品本舖
 4 麻布區本村町一四五 7 明治
 十八年十一月十五日 8 東京市
 丸見屋商店工業部ミツロ化學研
 究所香粧品科長 3 石橋香粧品
 藥劑製造員 4 日本橋區兩國二
 〇番地一 5 本所區駒込助坂町
 一〇五 7 明治二十年二月二十日
 8 東京市 10 俳句、香道 11 眞
 言宗
 金澤繁次郎 1 株式會社播金
 商店 2 專務取締役 3 化粧品
 製造販賣 4 日本橋區橋本七番
 地七 5 同 6 株式會社誠香社
 精巧メッキ社各取締役 7
 明治二十一年十二月三十日 8
 東京市 10 旅行、讀書 11 日
 蓮宗
 金高夏助 1 合資會社柳下商
 店 2 代表社員 3 化粧品卸商
 4 日本橋區橫山町九 5 神田區
 淡路町二の一 6 クラブ特定
 品販賣株式會社、マスタリ東京
 販賣株式會社取締役 7 明治十
 年四月十五日 8 埼玉縣入間郡
 南畑村 9 合名會社柳下商店支
 配人 10 將棋、讀書 11 眞宗
 加藤寛次郎 1 月の友化粧品
 三三 5 牛込區若松町七七
 明治三十八年十月二十五日 8
 東京市 10 讀書 11 神道護教
 岡本信太郎 1 岡本信太郎商
 店 2 店主 3 輸入化粧品卸商
 4 京橋區寶町二の七 5 横濱市
 鶴見區東寺尾二七〇三 7 明治
 二十二年五月八日 8 東京 10
 音楽、旅行 11 曹洞宗
 岡本善七 1 岡本商店 2 店
 主 3 小間物雜貨製造卸 4 日
 本橋區濱町三の三 5 同 7 明
 治十八年三月十日 8 愛知縣
 9 前宮本庄七商店員 11 眞宗
 荻村龍太郎 1 合名會社荻村
 龜太郎商店 2 代表社員 3 小
 間物製造 4 淺草區柳橋二の二
 一の二 5 同 6 東京セルロイ
 F株式會社取締役 7 明治八年
 九月十五日 8 長野縣 10 園藝
 11 眞宗
 荻村彰 1 荻村商店 2 店
 主 3 小間物製造 4 本所區吾
 妻橋一の〇 5 同 7 明治四
 十一年二月二十日 8 長野縣木
 曾奈良井 9 三浦商店店員
 太田次郎 2 店主 3 小間物
 卸商 4 本所區根津宮永町三五
 5 同 7 明治三十四年一月二十
 五日 8 東京市 11 眞宗
 太田清 1 尙美堂 2 支配
 人 3 化粧品製造 4 麻布區霞
 町一 5 同 6 各地マスタリ香
 粧品株式會社監査役 7 明治三
 十五年十月二十一日 8 和歌山
 市 11 眞宗
 太田實 1 香林化粧品店
 2 店主 3 化粧品卸 4 下谷區
 車坂町七一 5 同 7 明治三十
 六年三月十一日 8 長野縣更級
 郡鹽崎村 9 增田貿易天津出張
 員 11 眞宗
 及川留吉 1 及川商店 2 店
 主 4 神田區同朋町一二 5 同
 7 明治二十四年六月三十日 8
 岩手縣土澤町 10 園藝 11 曹洞
 宗
 尾澤四郎 1 三和屋商店 2
 店主 4 牛込區神樂町二の二
 5 同 7 明治二十六年十二月九
 日 8 東京市 10 旅行 11 眞宗
 オキスト、ゲラー 1 パリ
 ホテリ(美容院) 2 店主 3
 化粧品製造及美容術營業 4 芝
 區田村町四の六の一 5 同 7
 一九九八年二月二日 8 フラン
 ス、マルセイユ 9 パリにて美
 容術業に従事し後アトリスに所
 屬 10 釣 11 ローマンカトリッ
 ク
 甲斐莊精香 1 高砂香料株式
 會社 2 社長 3 香料製造販賣
 4 本社 蒲田區新宿町九九 日
 本橋出資所 日本橋區室町三の
 四の九 5 横濱市中區御所山町
 七二 7 明治十三年五月二十一
 日 8 京府府 9 前三輪化學研究
 所技師 10 太公望 11 眞言宗
 海渡由緒 1 海渡本店 2 店
 主 3 金屬小間物、裝身具卸
 4 日本橋區兩國三八 5 同 7
 明治二年五月十九日 8 和歌山
 縣 10 讀書、植木 11 眞宗
 垣野武馬 1 ビルマ化粧品
 2 店主 3 化粧品製造 4 荒川
 區日暮里町三の九四二 5 同

川西原町五九三 5同 7
 明治二十四年九月二十六日 8
 深川區富岡町一の二三 10 小島
 11 眞宗
 川名光三 1 藤人止本舖 2
 店主 3 ハガネ田保止、ビ止
 小女横止類 4 淺草區北富坂町
 二四 5同 7 明治二十二年十
 二月五日 8 千葉縣安房郡江見
 町 10 繪畫 11 眞宗
 川野喜四郎 1 川野立志堂
 2 店主 3 化粧品、石鹼雜貨卸
 4 深川區清澄町一の三 5同
 6 東京金島販賣株式會社取締役
 7 明治二十七年六月十日 8 日
 本橋區 10 旅行 11 眞宗
 川原宇藏 1 川原香油店 2
 店主 3 化粧品製造卸 4 淺草
 區小島町一の三 5同 7 明治
 三十六年五月二十日 8 眞宗
 野洲郡 10 將棋 11 眞宗
 川又二郎 1 花山堂 4 日本
 橋區兩國二番地四 5同 7 明
 治二十五年十一月十四日 8 水
 戸市
 河口俊五 1 下カミ屋香粧品
 部藥品部 2 店主 3 化粧品、
 染毛美容材料製造 4 本所區
 練町三の六 5同 7 明治二十
 七年二月十五日 8 眞宗
 郡廣村 9 前淺草區福井町堀越
 淺次郎商店支配人 10 讀書、郊
 外散步 11 眞宗
 河田清真 1 スチールマンフレ
 ヲクル本舖河田商店 2 店主
 3 化粧品輸入並製造販賣 4
 麹町區有樂町一の二 5同 7 明
 治三十三年九月二十一日 8 東
 京市 9 大和貿易商會代表社員
 10 圖書、ドライブ 11 眞宗

河津廣三郎 1 ほうれんや
 2 店主 3 小間物、化粧品、裝
 身具雜貨小賣 4 日本橋區人形
 町二の三の二 5同 7 明治十
 六年五月二十三日 8 東京市
 10 旅行、讀書 11 神道修成派
 河野德平 1 河野兄弟商會
 2 店主 3 頭飾品、雜貨製造卸
 4 淺草區淺草橋三の八の一 5
 同 7 明治二十四年十月七日
 8 德島縣阿波郡 11 眞宗
 河野佛路 1 河野化學研究所
 2 店主 3 化粧品製造 4 澁谷
 區中通三の三八 5同 7 明治
 二十三年十月十九日 8 長野縣
 河原龜彌 1 良年堂 2 店主
 3 化粧品製造 4 荒川區尾久町
 九の三一六八 5同 7 明治二
 十五年十月一日 8 神奈川縣高
 座郡長濱
 河村正隆 1 丸見屋商店 2
 工業部香料科科長、ミソ研究所
 3 石鹼、香粧品、藥劑、洗滌品
 4 日本橋區兩國二番地一 5
 澁野川區田端町一五三 7 明治
 二十七年四月十五日 8 東京
 市
 河合照之 1 照香堂 2 店主
 3 化粧品製造 4 芝區南佐久間
 町一の二 植松藥局内 5 中野
 區住吉町三 7 明治二十五年四
 月十七日 8 甲府市綠町三二
 10 讀書 11 眞宗
 河合仁平 1 河合商店 2 店
 主 3 化粧品製造 4 板橋區
 板橋町二の五五四 5同 7 明
 治三十四年十一月三日 8 川越
 市 9 日本橋越前商店店員 10
 菊栽培 11 伊勢太神宮
 河合政四郎 1 榎本商店 2

キ

氣賀澤啓治郎 1 アサ啓商店
 2 店主 3 丈長根掛製造卸 4
 日本橋區馬喰町四の一七 5同
 7 明治二十二年五月十日 8 長
 野縣赤穂村 9 元信長商店 10
 讀書 11 神佛
 菊地長五郎 1 菊島商店 2
 代表者 3 石鹼化粧品卸 4 淺
 草區小島町二の二一 5同 7
 明治二十九年九月十五日 8 足
 利市 9 酒井喜市商店勤務
 岸田至弘(欣介) 1 岸田化
 學研究所 2 所長 3 化粧品製
 造 4 赤坂區青山町五の五
 5同 7 明治二十六年十一月三
 日 8 和歌山市
 北岡道藏 1 榮久堂 2 店主
 3 化粧品雜貨 4 本所區龜澤町
 一の三五 5同 7 明治二十四
 年八月八日 8 本所區 9 元油
 類商 10 圖書 11 成田山
 北田正吉 1 タカカ1堂 2
 代表者 3 化粧品製造 4 澁谷
 區戶塚町一の五五七 5同 7
 明治十七年五月十日 8 千葉縣
 山武郡增穂村 9 前菊水商會代
 表者 11 眞宗
 北原五郎 1 長野屋本店 2
 店主 3 小間物化粧品卸 4 在
 原區中延町五一八 5同 7 明
 治十三年四月二十三日 8 長野
 縣飯田町 10 圖書 11 眞宗
 北村秀夫 1 伊東胡蝶園 2

ク

久保博輔 1 久保八貫堂 2
 店主 3 特殊印刷、石鹼、香水
 紙、白粉紙製造 4 四谷區新宿
 一の六八 5同 7 明治二十五
 年五月二十五日 8 京都府相
 模郡笠置町 10 工藥品製作 11 眞
 宗
 久保政吉 1 久保政吉商店
 2 店主 3 化粧品製造 4 本郷
 區本郷二の四の五 5同 7 明
 治二十四年十二月十三日 8 福
 岡縣 10 商業 11 天理教
 久保田金七 1 久保金商店
 3 香油製造 4 淺草區吉野町一
 の一四 5同 7 明治十七年
 七月九日 8 東京市淺草區田島
 町 10 芝居 11 不動尊
 久保田欽也 1 久保田製作所
 2 店主 3 煉香水及特殊化粧品
 4 神田區松永町一 5同 7 明
 治三十六年三月十六日 8 宮城
 縣氣仙沼町 10 考案 11 眞宗
 久保田四郎 1 合同油脂株式
 會社 2 取締役總務部長 3 油
 脂、石鹼 4 麹町區丸の内興銀

ビル七階 5 澁野川區西ヶ原町
 六七 7 明治二十一年二月二日
 8 東京
 久保伸 1 久保政吉商店
 2 店主 3 化粧品製造 4
 本郷區本郷二の四の五 5 世田
 谷區北澤五の八二五 7 明治
 三十七年十二月二十四日 8 福
 岡縣 10 映畫野球(但見るだけ)
 久能本宇兵衛 1 久能本本店
 2 店主 3 久能本石鹼本舖 4
 日本橋區室町二の二 5同 7
 明治二十四年九月十五日 8
 東京府
 熊井寛一郎 1 川越屋本店
 2 店主 2 荳物石鹼雜貨卸 5
 芝區白金三光町一九七 7 明治
 二十三年一月五日 8 埼玉縣川
 越市 11 眞宗
 熊谷左衛門 1 油脂石鹼工
 業株式會社熊谷商店 2 代表取
 締役 3 各種油脂石鹼製造 4
 京橋區月島四仲通九の八 5同
 7 明治三十二年八月二十六日
 8 仙臺市南嶺治町 10 將棋
 眞宗
 熊澤文吾 1 相國屋支店 2
 店主 3 化粧品雜貨卸 4 在
 原區中延町一三五 5同 7 明
 治三十五年九月七日 8 神奈川
 縣
 熊澤松次 1 相國屋本店 2
 店主 3 化粧品雜貨卸 4 麻布
 區飯倉町五の二四 5同 7 明
 治二十五年十二月二日 8 神奈
 川縣東甲郡 10 現在營業の他な
 し
 倉上康次郎 1 花鳥會倉上商
 店 2 店主 3 化粧品卸 4 本
 所區東駒形一の三四 5同 7

コ

明治四十年九月十三日 8 秋田
 縣 11 眞宗
 倉澤三郎 1 倉澤商店 2
 支配人 3 化粧品製造 4 本所
 區橫町八 5同 7 大正六年
 五月十五日 8 本所區 9
 ヲラ商店店員 11 眞宗
 倉橋藤藏 1 倉橋藤藏商店
 2 店主 2 石鹼化粧品製造 4
 豊島區巢鴨四の五 5同 6 宗
 教幹事 7 明治二十七年二月
 十八日 8 京都府與謝郡宮津町瀧
 馬 10 宗教法話 11 眞宗
 粟木昇一 1 宮本庄七商店
 2 支配人 3 小間物製造 4 日
 本橋區馬喰町三の四の一 5同
 7 明治二十八年十月三十日 8
 愛知縣海部郡 11 眞宗
 粟田珠郎 1 粟田商店 2 店
 主 3 袋物化粧品類 4 日本橋
 區橫山町五番地八 5同 7 明
 治十七年四月十二日 8 岐阜縣
 9 森本東京支店 10 義太夫書畫
 黒川兼吉 1 黒川商店 2 店
 主 3 ハラシ各種、雜貨卸商
 4 日本橋區馬喰町四の二 5
 同 7 明治二十年一月二日 8
 愛知縣 10 讀書仕舞 11 眞宗
 桑原隆造 1 桑原花生堂 2
 店主 3 内外化粧品石鹼問屋
 4 日本橋區橫山町七番地一二
 5同 6 クラ特定品販賣株式
 會社取締役 7 明治三十一年八
 月十日 8 東京市 11 眞宗
 桑原孝吉 1 桑原孝吉商店
 2 店主 3 化粧品卸 4 京橋區
 西八丁堀二の六一 5同 7 明
 治三十年六月二十五日 8 鳥根
 縣松江市中原町 10 魚釣り 11
 日蓮宗